夕刊 滿洲日報 五月十四日

特別議會の閉院式

徳川議長勅語書を拜受して 諸員最敬禮裡に恭しく捧讀

けさ十一時貴族院で

【東京十四日發電】濱口內閣が初めて施政の手續を試した第五十八特別議會は會期三週間を盡し絶對多數の威力で波瀾重疊の難關を大した怪我もなく踏破して五月晴れの十四日午前十一時貴族院において閉院式が行はれた、この日聖上陛下親臨あらせられず兩院議員は通常禮裝にて午前十時頃より續々登院、連日の論戰に疲れた模樣もなく歳費三千圓の日割と旅費が貰へるので敵も味方も晴れやかな顔に喜色を漂はせて何となくなごやかな氣分が廊下に溢れた、定刻振鈴を合圖に各議員は貴族院の式場に參入、濱口首相以下各大臣徳川、藤澤、蜂須賀、小山の兩院正副議長等整列、濱口首相は徐ろに正面玉座に參進勅命を奉じ茲に勅語を捧讀するの光榮を擔ひますと宣し諸員最敬禮裡にいとも謹嚴な態度を以て恭しく勅語を捧讀終ると徳川議長參進勅語書を拜受滿場最敬禮裡に閉院式を終つた

閉院式勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併テ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉賞ス

議會の結果を委曲伏奏

【東京十四日發電】濱口首相は十四日閉院式終了後午前十一時半宮中に參內表御座所において天皇陛下に拜謁仰付けられ天機奉伺の後特別議會閉院式滯りなく終了の旨を奏上し且つ同議會における各法令案の審議協贊の結果につき委曲伏奏御下問に奉答して退下した

府委員等出席首相の挨拶に對し徳川議長謝辭を述べ呉越同舟で歡を盡した

矢吹次官門司まで出迎

【東京十四日發電】財部海相は途中京城において齋藤朝鮮總督と會見の後十九日頃歸京する豫定であるので矢吹海軍政務次官は之が出迎へのため十四日夜東京驛發途中大阪に一、二泊して門司に向ふことゝなつた、矢吹次官の任務は政府の命を受けて海相に對し全權の請訓に對する政府の回訓發送當時並びにその後における政府と軍令部との關係及び議會中における政府の對軍縮態度等を詳細報告して海相歸京後行はるべき加藤軍令部長との會見に對する豫智識を與へるものである

海軍條約は斷じて國防不安を來さず

米國案に屈服したものではない

けさ東上の左近司中將語る

【ハルビン特電十四日發】財部全權と共に十四日內地へ向つた軍縮隨員左近司中將は語る
財部全權の當地滯在は全く靜養のためであつて、直ぐ歸京しても一週間位病臥せねばならぬから先づ當地に滯在してゐたといふ程度で別に態度を決定するといふやうなことはない、財部全權は歸京すれば閣議及び軍部元帥、參議官に會議の經過を

報告する ことは當然である、條約の內容は批准を經た後でないと發表出來ぬが決して米國案に全部屈服したものではないことは何れ判明する時があるが、日本の國際的位置及び國防に重大なる結果を來すとは全然思はれぬ、日本の態度は飽まで頑張ることも、一つの方法であるが其點の可否は誰も斷言することは出來まい、佛、伊が本條約に參加せぬことは遺憾で兩國とも不利であるから近き將來において參加するものと信ずる、然し、假令參加しなかつたとしても

三國條約 には影響はない 一九三五年後の會議に主力艦全廢が提案されるかも知れぬが全廢は不可能だ、海軍の本體が主力艦である限り之を廢するとせば根本から改革せねばならぬ英米とも之は出來なからう、幾分變化することだけは悟せねばならぬ、京城には十日一泊十六日齋藤總督と會見豫定、若槻全權は印度洋を經六月十八日神戸着の豫定である

五年度豫算確定

十六億八百六十三萬圓

【東京十四日發電】政府が今期議會に提出した追加豫算は十三日貴族院を通過して愈々確定するに至つたが、その結果昭和五年度一般會計實行豫算總額は(單位千圓)

當初實行豫算總額	一、五六三、三四〇
第一號追加豫算額	三六、九一九
同上實行追加額	[illegible]
第二號追加豫算額	一、七九二
同上實行追加額	一、二六一
合計	一、六〇八、六三八

となり昭和四年度成立豫算 一、七七三、五六六 に比し一億六千四百九十二萬八千圓の減額に當り又同年度實行豫算額十六億八千百六萬圓に比しても七千二百四十二萬一千圓の減額に

議場混亂の責任者

政民兩黨聲明

【東京十四日發電】民政黨並びに政友會は十三日夜議會散會後それぞれ議場混亂の責任は反對黨に有る旨の聲明書を發表した

濱口首相の議員招待

【東京十四日發電】濱口首相は十四日正午首相官邸に徳川、蜂須賀、藤澤、小山兩院正副議長以下兩院議員、書記官長以下關係官約七百名を招待して慰勞の午餐會を催し主人側からは濱口首相以下各大臣鈴木書記官長以下各省政務官、政

請訓理由に疑義

軍令部首腦部の態度

【東京十四日發電】軍令部首腦者は十三日午前、午後に亘り同日朝歸朝した中村大佐の報告を聽取し更に十四日も引續き聽取することゝなつたが、十三日の報告に依り會議一般の詳細なる經過は大體明瞭となつたが、全權が七割を缺ぐ案を以て請訓した政治的理由には釋然たらざるものあり、この點何か重大事件潛み居るのではないかと見られてゐる

支那內亂插話

中央軍の募兵

通行人に効能を吹聽 手數料一人に付五弗

◆…閻錫山氏との戰爭に躍氣になつてゐる中央軍では兵士の不足を感じて最近上海の中國街到るところで志願兵募集を始めた、街角や廣場の隅に白布に「招集、志願兵、中央軍官學校教導團」と書いた三角の旗を立て、鼠色の汚い服を着た兵が一人宛ボンヤリと街を眺めたり或は大道商人のやうに通行人を集めて志願兵の効能を吹聽してゐる、募集係りは一人の志願兵を得ると五弗になる由であるから、一日に一人や二人を集めれば至極結構な商賣となる、

◆…志願兵の應募規則は十八歳以上三十歳以下、無嗜好者、初等中學或は同等の學力を有する者、勞苦に堪へ得る者等の條項があり六ケ月間軍官學校で教育を受けて一人前の教導團員となることになつてゐるが、これ等は勿論表面だけの話、實際は體のいゝ拉夫である、應募したが最後殆ど教育は受けずに戰爭の最前線に送られるとのことだが、それでも志願兵とか教導團とかの名目に吊られて應募する無職者や野心家が相當澤山ある、

◆…寫眞班は閘北の公興路で募集官が盛んに誘惑してゐる情景を發見して無斷でシヤツターをきつたところ、該募集官即ち中央軍官學校志願兵募集官李劍氏は眞赤になつて怒り出した、名刺を出して辯解しても聞かばこそ警察に訴へると大聲で騷ぎ出した、寫眞を撮つて訴へられるのは初めてだから面白からうと寫眞班は該募集官と巡警に護衛されながら上海特別市公安局第二分處に出頭した、

◆…訴への趣きを聞いた警察の係官は「寫眞に撮つてゐるかどうか寫眞機を見せろ」といふ、サツクから出して見せると寫眞機のレンズに眼をくつつけて「何にも見えないではないか、寫眞は何處にあるんだ」といふ、恰も百年も前の人間と話してゐるやうで、こちらが面喰つたが「撮りはしたんだ」と頑硬に主張した、係官も手古摺つてとう〳〵處長に持込んだ、

◆…處長はさすがに珍訴に驚いた模樣だが係官を通じて「寫眞は撮るのには覗いただけでは撮れないんだ、いろ〳〵細い技術が要るから相當の時間がかゝる、君が撮られたと思つたのは間違ひで日本人の主張するやうに撮つてゐないのが本當だ」と原告應募官に諄々と説明したら「彼はさうですか」と納得して歸つた、後で係官は「若し撮つてあるにしろ新聞には出さぬやうに願ます」と處長の意志を寫眞班に傳達した、

【寫眞(上)志願兵募集旗(中)寫眞を撮つたからと訴出た現代離れのした募集官李氏の誘惑振り(下)近所の喧嘩面白がつてゐる募集官】【上海特信】

日比谷座特別興行

泥試合で終幕

傍聽人だけは眞面目

◆…【東京特電十三日發】「せめて最終日だけは紳士らしくやるだらう」さう考へるのは常識判斷だ、今の衆議院は却々どうしてそんな生やさしい常識などでは判斷出來るどころでない、第五十七議會最終の幕もその例に洩れず午前中一寸院內の空氣緩和を見たのも束の間午後にいたり空氣は俄然惡化し壇上壇下の醜態目もあてられず懲罰の續出、野次の應酬、お互にあばきあひ、傷つけあひ、毆りあひ取組合ふ位はまだしも果ては肉彈と肉彈の鬪體的鬪爭ラグビー戰もかくやの壯觀さへ演じるんだから物凄い

◆…眞に掉尾の泥試合である曰く土屋、曰く牛方曰く藤田曰く津雲、曰く原、曰く工藤、これ等の諸君が或ひは小橋事件、或ひは越鐵疑獄、或ひは議事進行或ひは一身上の辯明等々で交々壇互に敵派を罵り自己辯護にこれ力め、毒舌の奔流は有實無實な罪惡のなすり合ひ惡口雜言果ては家庭の秘事まであばき出さうといふ有樣これが昭和聖代議政壇上での實情だからやり切れない

◆…與黨の橫暴、野黨の狂暴、それがこの日は與黨も狂暴、野黨も橫暴だからやり切れない、狂暴と橫暴のこんがり合ひはどう考へても正氣の沙汰とは思へない「馬鹿ッ畜生ッ動物ッ、默れッなぐるぞ踏み殺すぞ」なんとこれが選良樣達のお言葉だ、それにしても俗に議會ファンと稱する傍聽人の群の熱心には驚く、朝から飲まず食はず小便にも行かず長い休憩時間も身じろぎもせず頑張つてゐる人さへある、傍聽席は夜に入るもギッシリ滿員、更に院外にも依然列を作つて百名以上の人が入れ代りの機會を待つてゐる、その根氣よさそんなにまでしても見たい聞きたい衆議院の本態がこれだとすると世にはなんと興行價値の多い亂鬪劇もあるものだ、實に日比谷座の名に背かずか

ニコ〳〵議員

悲哀の守衛 けふは歳費デー

◆…【東京特電十四日發】選れ天下の選良もチャンバラ役者と相近い醜態をさらけ出した衆議院も一夜明ければ歳費デー、院內會計課には閉院式の禮裝諸君が今日ばかりは呉越同舟前夜の騷ぎもケロリと忘れニコ〳〵顔を並べる眞ッ先きに金千二百五十圓の特別議會分歳費を受け取つたのが島田俊雄氏で午前八時半とある

◆…歳費受取所出口には院內食堂が出張して網を張つてゐるが最高セイ〳〵五十圓、平均十圓で不景氣ですとコボしてゐる、受取つたばかりの歳費を早くも差押へを食つたのが降旗元太郎氏を筆頭に十數名、民政黨の某君もこの悲運に遭つて食堂の支拂も出來ぬ、ヤツと友人から二十圓を借りて貧乏人の悲哀を喞つてゐる

◆…哀れを止めたのは臨時守衛の五十四名、けふ限りクビになるといふので昨日までの威勢はどこへやらションボリしてゐる院內は嵐の後の靜けさである

財部全權、けさ歸朝の途につく

東京着は廿二日頃

【ハルビン十四日發電】財部夫妻一行十二名は十四日午前九時十五分二百餘名の日支官民の盛大なる見送り裡に特別列車にて愈々歸朝の途についた財部全權は途中京城に一、二日間滯在齋藤總督と會見し當面の重要問題につき協議する筈で東京着は二十二日頃の豫定である

石炭交渉は遂に決裂

川上日魯社長談

【ハルビン特電十四日發】日魯漁業社長川上俊彦氏は語る
今回の北樺太における石炭採掘權の對露交渉は不幸にして決裂した、漁業問題は田中大使を通じて目下ロシア政府と交渉中

天津出入船舶臨檢

【上海十三日發電】國民政府は各國に對し十二日附公文書を以て左の如き通告をなしたが、日本へは上村南京領事を通じ送附して來た
國民政府は國內紛爭の折柄和平維持の見地から東北艦隊司令沈鴻烈に命じ天津港出入の內外船舶の臨檢を嚴重にし若し國民政府發給の護照なき武器彈藥を發見せる場合は戰時禁制品として沒收しその積載船舶は法律に徵し處理するに決せり、貴國關係業者にその旨傳達されたし

南軍猛烈に總攻擊

隴海、津浦兩線とも北軍を壓迫

北軍は立ち遲れの觀

【天津特電十三日發】南は去る十日夜より總攻擊に移り津浦・平漢、隴海各線において猛なる攻擊を加へ隴海線では亳州鹿邑に在つた孫殿英軍は顧祝同、陳繼承劉峙等の南軍の精銳から包圍され潰滅の情勢に陷つたので鄭州の鹿鍾麟氏に援兵の急派を求め四苦八苦の防戰に努めてゐる、平漢線では漢口方面に在つた蔣鼎文、夏斗寅、趙觀濤等の南軍大擧して北上し十一日の郾城を陷いれ非常な意氣込で北軍を壓迫し津浦線では徐州の主力軍續々北上を開始すると共に飛行隊は開封、鄭州等の北軍司令部に連日爆彈を投下し氣勢を揚げ、蔣介石氏は徐州で全軍を指揮し士氣頗る旺盛、之に反して北軍は各軍の集結未だに終了せず、山東の占領を放棄してゐた爲め姿勢逆轉し南軍は外戰の姿勢に變つた、今日の戰況によれば北軍立遲れの觀がある、しかし馮玉祥氏は南軍勝つとしても黄河を渡ることは不可能であるとて前途を樂觀してゐる

阮肇昌軍寢返る

山東の中央軍に不利

【北平十三日發電】確實なる消息によれば濟寧にあつた陳調元氏部下の第五十五師阮肇昌軍は最近石友三軍に寢返り全軍を擧げて曹州に赴き石友三軍に合したそのため中央軍の山東における形勢は不利となつた

歐洲經聯の覺書

來十八日一般に公表

【パリー十四日發電】關稅休止の歐洲經濟聯盟に關するブリアン氏の覺書は十四日又は十六日或は十八日に米政府、聯盟加入の歐洲の二十六國政府に送達され同時に一般にも公表せらるるはずである

反英總罷市

【カラチ十三日發電】反英運動の指導者チアビジ氏が逮捕されたゝめカラチ市でも十三日總罷業開始され、ヒンヅー人の商店市場は全部閉店してゐる、十三日朝市中に反英示威行進が行はれたが何等騷擾は起らなかつた

全部禁錮言渡

【ジャラルポーア十三日發電】當地裁判所はガンヂー氏の後繼者として反英運動の指揮に當れるアッバス、チャビジ氏に對し三ケ月の禁錮を申し渡し部下の有力者ジャガトラム氏に六ケ月の重禁錮その他には全部三ケ月の重禁錮を言渡した

各種禁止令發布

【ショラプール十四日發電】戒嚴令下にあるショラプールにおいては午後七時より午前六時まで消燈する事、印度國民協議會々旗揭揚を禁ずる事、四名以上の集會を禁止する事等の禁止令が發布された當地商店の大部分は十四日より各工場は十五日よりそれ〴〵開業す

見込みである

全印度會議に絶緣聲明

【ボンベイ十三日發電】ボンベイ省內二十六地方よりの代表者會議はインド總督の發表せる來る十月二十日よりロンドンに開催の全印度會議に對し絶緣を聲明した

シ市に戒嚴令

【ショラプール十三日發電】反英運動惡化の爲め十三日朝より當市に戒嚴令が布かれた

兩教徒衝突

【カルカッタ十三日發電】去る九日以來印度の東北アッサム州一帶に亘つて催された祭禮にて印度教徒と回教徒との間に衝突起り死者三名、負傷者九十餘名を出した

小切手手形法統一基礎案

國際聯盟で審議

【ジュネーヴ十三日發電】小切手及び爲替手形法統一に關する國際會議は十三日より開かれ國際聯盟專任の各國專門委員が十數ケ月に亘つて研究作製した基礎案につき審議を開始した

日支關稅協定は王正廷氏の成功

新任漢口領事坂根準三氏談

新任漢口領事坂根準三氏は十四日入港のばいかる丸で赴任の途來連したが語る
赴任前歐州に行つてゐた關係で暫らく見なかつた滿洲を見て置かうと思つてこちらに迂回して來たので、支那に椅子を求めたのは今度が初めてだが本省に居る間こちらの方をやつてゐたので兩三回視察に來た事がある、奉天まで行つてそこから北平に拔け天津、濟南、青島を見て上海經由漢口に行くのであるが桑島現領事とは自分があちらに着いてから事務の引繼をやる事になつてゐる、丁度最近にいたり支那人の對日感情も柔らぎ關稅問題の調印も濟んだので仕事はやり易くなるだらう、一部支那人間では王正廷氏の今度の協定に關する非難も聞くが大勢から考へ好い結果を得たと思ふ、まあウルさい土地だが出來るだけやるつもりだ【寫眞は坂根氏】

京都一中生歡迎會

京都府立第一中學校職員三名引率のもとに生徒一九五名十四日朝七時來連、三日間滯在の豫定にて在連同校關係者は十五日午後六時より老虎灘千勝館にて歡迎會を開く出席申込は電話八六四六岡本に

人事

▲坂根準三氏(漢口駐在領事)十四日入港のばいかる丸にて來連
▲福田貞助氏(共保生命重役)同上
▲佐島仁左氏(住友伸銅所員)同上
▲志田文雄氏(同)同上
▲稻垣長止郎氏(長崎造船所參事)同上
▲佐藤惣一氏(滿鐵工作課長)同上歸連
▲原正平氏(大連醫院婦人科醫長)同法事のため歸國中のところ夫人同伴にて同上歸連
▲熊本阿蘇農學校生徒一行四十四名 同上來連
▲宮崎中學校生徒一行八十四名 同上
▲八幡商業學校生徒一行五十名 同上

大觀小觀

十四日、閉院式、勅語を拜す。
◇
勵精克く協贊の任を竭せるの勞を御嘉賞あらせられたるに對し、兩院議員、果して恐懼せざるものありや。われわれ國民も、帝國議會の光榮を展望し、恐懼の至りに堪へざるものあり。
◇
武勇傳は遂に告發事件をさへ惹起するに至つた。
◇
而して問題は、統治權の一[illegible]る。
◇
この問題、樞密院あたりを焚きつけるに都合よく、結局は、犬養老の言の如く、法規の改正か、または運用上に特例を開くより外あるまい。
◇
財部全權、けさハルビンを出發京城に向ふ。
◇
出でゝ外國に使する、すくなくとも二重の難關あり。外にありては對外交渉、國に歸らんとすれば統帥權問題などに引つ懸かる。また難い哉か。

走馬燈

記事輻輳につき本日休載

天氣豫報

十五日(南西の風)晴一時曇
滿潮 午前十一時四十五分 午後十一時五十分
干潮 午前五時五分 午後六時二十五分

强風吹き荒む中に奉天會戰の御研究

◇―城外の曠野に拜す颯爽たる御乘馬姿の秩父宮

【奉天特電十四日發】昨日沙河奉天の兩會戰の戰史を御研究あつた秩父宮殿下には、今十四日も奉天會戰の戰蹟御研究の爲め午前八時奉天驛御發、特別列車の車窓より西方遙かに北陵の甍を御望見あらせられつゝ八時二十分文官屯驛御着、御徒歩にて同三十五分、驛より西十丁の御講話場の小丘に立たせられ我が第三軍が迂回して敵の退路を斷ち、多數の敵部隊を降伏せしめクロパトキン將軍をして戰爭の前途に絶望させ露軍に致命傷を與へた有名な文官屯追擊戰の戰史につき栗屋砲兵大佐の講話を御熱心に御聽取あつた、本日も風强きため御豫定より早く御講話場を立たせられ颯爽たる御乘馬姿を奉天城外の曠野に拜し奉つた、驛にて牛島少將の御講話を再び聞召され十一時三十分文官屯驛御發、特別列車にて奉天驛に向はせられ十一時四十五分奉天驛御着、ヤマトホテルに入らせられた

各團體御親閲の後壯烈な分列式台覽

醫大で御興深く各種説明を御傾聽

奉天に御滯在中の秩父宮殿下の御機嫌益々麗しく十四日は午前六時三十分に御起床、御假泊所ヤマトホテルを御出發、浪速通りを奉天驛に向はせられた、驛には鈴木少將、村田聯隊長、高木守備隊長、三谷憲兵分隊長、太田關東長官、森島領事、立川奉天署長事務取扱、小倉地方事務所長、鈴木鐵道事務所長、木下在鄕軍人分會長ら奉送裡に午前八時御發車一路

文官屯へ向はせられ、別項の如く文官屯における會戰の跡を御研究の後午前十一時二十分文官屯御發車、同十一時三十五分奉天驛御着、驛構內停車中の裝甲車について草葉中佐の説明を聞こしめされた、同十一時五十七分奉天驛御出發、浪速通りを經てヤマトホテルに入らせられた、正午ホテルで御晝食を攝らせられた殿下には午後一時御出發奉天、醫大の傍らなる御親閲場に一同の

敬禮裡に御到着遊ばされた、こゝにおいて殿下には直に石鋒（鹿毛）に御乘馬、此の日の風速十六米突奉天名物の黄塵をも御厭ひなく村田聯隊長御先導、本間御附武官、高木守備隊長、鈴木少將等扈從で總指揮官秋川大佐の指揮する在鄕軍人、消防隊、醫大、教專、奉中、青年訓練所生少年團の順に御親閲終つて在鄕軍人、消防隊、醫大、教專、奉中、青年訓練所、少年團約千三百名の學生々徒の

莊嚴な分列式が行はれた、かくて再び一同の敬禮裡に同一時二十分、殿下には醫大本館玄關より御休憩所へ入らせられ、稻葉學長より三階應接室にて大學の狀況等につき御説明申上げ、終つて二階參考品室に御案內、御待受けの守田教授は內科について、豐田教授は生物學について、都留助教授は衞生學について、寺田助教授は微生物について、阿部講師は榮養學について詳細御説明申上げた、この間殿下にはいと御興味深く御傾聽遊ばされ、かくて競技場へ向はせられた

太田長官赴奉

太田關東長官は秩父宮殿下奉送のため十三日廿一時三十分發急行で小林秘書官佐藤理事官を帶同して赴奉したが、十五日夜大連着の急行で歸旅の豫定

大巡「高尾」の進水式に行啓の皇后陛下

皇后陛下には十二日午後一時十分東京驛御發、橫須賀工廠において起工中の世界に誇るわが海軍の新威力大形巡洋艦「高尾」の進水式に行啓遊ばされた【寫眞は東京驛御發の皇后陛下】

毆られた賴母木代議士

自邸に歸る

【東京十四日發電】衆議院醫務室で手當を加へた賴母木桂吉氏は十四日午前二時ごろ夫人並びに細野主治醫等附添ひの下に寢臺自動車で淺草の自邸に歸つた

檢事院內檢證

【東京十四日發電】賴母木氏を毆打した志賀和多利氏を民政黨が告發したので東京地方檢事局では十三日夜松坂檢事院內に出張して實地檢證を行つたが、檢事局としては先づ十四日告發人を訊問したるうへ志賀氏を召喚取調べることゝなつた、なほ志賀氏は議會散會まで政友會幹部室に閉ぢ籠り午後十二時秋田清、土倉宗明、小野寺章氏その他數名に護衞され自動車で自宅に歸つた

東、庄司兩氏を

民政黨が告發

【東京十四日發電】民政黨の懲罰委員長土屋清三郎氏は十三日深更政友會の東、庄司兩氏を公務執行妨害として東京地方裁判所に告發した

英波蘭に全勝

デ盃歐洲ゾーン

【ターキー十三日發電】デ盃歐洲ゾーン第二回戰英對ポーランドは英三勝の後を受けて第三日はシングルスを續行、結局五對〇で英國が全勝した

リー（英）　六―四、六―二、八―六　ストラロー（波）
シャープ（英）　六―一、六―二、六―一　ツロツインスキー（波）

日本大相撲

初日の取組

【東京十四日發電】日本大相撲夏場所はいよ〳〵十五日から興行するが、初日取組左の如し

綾ノ浪―吉野山　若常陸―太郎山　駒錦―若瀨川
[illegible]ノ里―晴ノ海　大島―劍嶽　荒熊―伊勢濱
常陸嶽―池田川　常陸嶽―沖ツ海　和歌島―幡瀨川
信夫山―朝汐　玉碇―清水川　山錦―若葉山
武藏山―眞鶴　綾櫻―能代潟　天龍―寶川
新海―玉錦　常陸岩―雷ノ峰　出羽嶽―豐國
大ノ里―鏡岩　外ケ濱―宮城山　常ノ花―古賀浦

休場力士　大蛇山、錦洋、星甲

拳銃密輸發覺

高松丸水夫長周管德（四三）が十二日午後人目をさけて埠頭構內に入らんとするのを水上署員に發見され逮捕されたが、身邊よりダントン拳銃一挺、彈丸二百發が飛び出した取調べにより同人は市內山縣通り市場二十八岩井新一郎といふものより芝罘の出口幸四郎なるものに便つて行く樣に命ぜられたと自白したので取敢ず關係者に就き取調中

映畫小說

日活撮影臺本から『この母を見よ』

興味ある場面のスチール

明日から本紙連載

本社連載の次回新小說に就き本社にては內容の充實と興味の刷新を圖り讀者に奉仕すべく種々講究の結果滿鮮新聞界の最初の試みとして優秀なる映畫小說を掲載すべく計畫し、今回日活が田阪具隆監督瀧久子主演で現代劇部特作品として製作した未封切の新映畫「この母を見よ」の撮影終ると同時に日活より特に實際に使用した撮影臺本を得て、これを畸面座同人の手にてシナリオ風映畫小說に構成し且つ日活が本社のために特に撮影したスチールと共にいよ〳〵明十五日夕刊より本紙上に連載することゝなつた、この本社の新しき試みは一般讀者と共に全滿の映畫ファンから必ずや大喝采を博するであらう

けふ入港のばいかる丸から

ボロ船では競爭出來ぬ時代

大汽が注文の新造船打合せに稻垣三菱造船所參事來連

大汽の新造貨物船のうち二隻の註文を請負つた長崎の三菱造船所ではその後の打合せのため參事稻垣長止郎氏を大汽本社に向はしめたが、稻垣氏は十四日のばいかる丸にて來連サロンで語る

用件は 都合よく大汽の新造船を造る事となつたので細い打合せに來たのである即ちデーゼルの四千五百噸級二隻といふのみで內容に關してはよく解つてゐないから船型その他についてまあ研究がてら來たもので一週間位で歸る、長崎も今は不景氣に祟られ困つてゐる、今やつてゐるのは大阪商船の南米航路のリオデジヤネロの一萬噸級でこれは

姉妹船 ベノスヤアレス丸が評判が好いので氣持よくやつてゐる、これは同社のアトラスサントス丸の上のクラスで造船所でも馬力をかけてゐる、更に郵船の方では歐洲航路に就航する照國丸（一萬噸）がこの十五日に引渡すことになつてゐるし、引續き姉妹船靖國丸を建造しつゝある、そして更に米國航路に常る貨物船四隻をつくる事になつてゐる何れにしても今後は

優秀な 船を持たなけりや駄目だ、外國の古船を買つてゐる樣じあ競爭には打勝てない、不景氣といひながら船を造るなら今で、不景氣で困つてゐる造船所では少し位の無理も聞くと云ふものだ、七、八千の工を遊ばしておいては可哀想ですからなあ、この際大阪商船も香港丸の代船を造る樣に運しているよ、大汽の新造船は年六月引渡す事になつてゐる

突然、高勇吉氏けふ來連

我がセロ界の權威高勇吉氏何の前ぶれもなくけふのばいかる丸で愛用のセロを大事さうに抱て來連した

いや突然來ましたよ、今は靑島、天津の方で演奏會をその目的でそんな準備も要るので一ケ月位大連に居ります、その間に一度位集りを開きたいと思つてゐます、何れにしてもどこにもだまつて來たので驚かれたでせう

氣の毒な位不景氣

內地の車輛工場

佐藤恕一氏歸任

豫て上京中だつた滿鐵鐵道部工作課長佐藤恕一氏は社用を濟ませ同船で歸任したが語る

自分は社命により鐵道省で每年開催される車輛研究會に出席が主な用件で上京したもので、今度は四月廿二日より廿四日まで臺灣朝鮮等からも集り製造所の人達、本省の專門家等約百餘名集り車輛に關する極く專門的な部分々々の研究をなした、例へば塗料に關するとか車軸に關するもの、車床に關するもの等々詳細に亘つて行はれた、富士號と云ふ

超特急 にも乘つたがかなり震動の劇しいもので滿鐵線に比較して驚かされた、然しレールが百ポンドと七五ポンドの違ひがあるのだから無理もいへまい、一體に內地の車輛は造り方が簡單で滿鐵の如く底を二重にするなんていふところまで手を入れてゐない樣だ、自分が上京するとき葫蘆島と問題に關しペラ〳〵しやべつた樣な事が出てゐたがそんなに詳しくいつた覺えはない、なほ自分は各地の製作所や工場を見て廻つたが氣の毒な位不景氣だ、何んと云つても製作能力のあることにおいて滿鐵の車輛工場は世界一ですよ

船疲れも手傳ひ思はぬ不覺

遠征の滿洲柔道軍に別れて急遽歸連した櫻井氏談

我滿洲軍の意氣を示すべく內地遠征を企てた全滿洲柔道軍は全福岡軍との一戰に不幸不戰二勝を殘し敗れたが、一行に離れ急用のため歸連した消費組合の櫻井弘之氏は語る

殘念でした、福岡軍はかねてより强いと聞いてゐましたが、こちらに今少し

頑張る 餘裕があればよかつたのに船疲れも手傳つて思はぬ不覺をとりました、こちらで引分けを取るのだつたらそのつもりで作戰したのでせうが點を取らうとしたのでむざ〳〵勝てる試合に負けたものもありました、來年は滿洲に是非呼ますがその時はウンとやるつもりです、今度の試合では皆よくやりましたが殊に淺見君が足挫いてゐたのにかゝはらず奮鬪したのは愉快でした、それにこちらは何といつても

滿洲軍 の樣に仕事片手の人が少いだけ勝味があるわけです、一行は京都に上りましたがウマくやつてくれゝばと希つてゐます

鯛漁期に入る

龍口沖に日支漁船

入り亂れて漁撈に從事

龍口沖に漁船保護のため出動したる水上署逕海丸より十四日午前本署に入つた無電によると今や同方面は鯛漁期を目指して日支漁船の殺到を見つゝあるが未だなほ早いうらみがあり龍口沖の北方十海里の地點に日支漁船が十四組、芝罘沖に五十組それ〳〵漁撈に從事してゐる、なほ同方面には農林省の飛隼丸といふのが現場の保護旁々來てゐる、この月の末が眞實の漁期に入るらしい、しかし支那軍艦が日本船の引揚げを命じたとあつたが今のところ艦影を認めないと、ちなみに逕海丸は十四日夕歸還の豫定

朗かなさつき晴の下に

百花繚亂の美

參加女性實に六千餘名に達す

近づく五月祭り

輝かしい陽光に新綠映ゆる昨年の五月、在連の乙女達を集めていとも華やかに擧行された第一回の五月祭はさしもに廣い大連グラウンドを數多の觀衆と參加者とを以て立錐の餘地なきまでに埋め盡し＝白熱的＝盛況裡に大連婦女子の旺なる意氣を示したのであつたが、本年はその第二回をいよ〳〵來る十八日の陽春酣なる第三日曜を選び大連市役所主催、我社後援の下に昨年にも增して華々しく擧行されることゝなつた場所は昨年と同じ大連グラウンド、集る婦人乙女達は先づ市內各小學校の尋常五年以上高等科に至るまでのいらしい女生徒約三千名を始めとして各女學校生徒約二千名、特別出場の中華女學生五十名、それに多數の一般婦人を加へて參實に六千有餘名、當日午前の演技

＝**種目は**＝ 先づ全員の五月祭合唱隊に始まり、次に小學女生徒の目も綾なる旗體操、それに次いでは女學校生徒の晴れやかな五月をどり、續いて中華青年會女學生五十名の珍しい支那の踊り、そのあとで小學生徒達のかあいらしい五月をどりがあつて樂しい晝食に移り、午後は昨年觀衆を完全に魅了したメーポールダンスよりも遙かに

＝**美しい**＝ 女學生のツウインクルダンス、その次は出場の一般婦人連が手具體操いて待構へてゐた五月をどり、續いて昨年熱狂的大喝采を博した渦卷行進類似の矩形的旋回行進を婦人生徒達參加者全部それに觀覽者中の希望者をも加へて華々しく行ひ、最後に一同君が代を奉唱して樂しい會を閉ぢることになつてゐる、當日は日曜でもあり花見の季節も過ぎ各種團體の家族會なども大てい終りをつげた時期であるからピクニツクを兼ねた家族連れの

＝**觀覽者**＝ は大連グラウンド目がけて潮の如く殺到すべく、場內に演ぜられる演技はいづれも小學生女學生、さては一般婦人達が練習に練習を重ね練りに練つたものであるから當日の大連グラウンドは朗かな五月晴れの空の下に百花繚亂の美を現出するであらう

遭難の支那船員着連

十四日入港ばいかる丸によつて遭難支那船員四名が送還されて來た右は去る九日大連を出帆したる第六原田丸が門司への航行中、午後九時半ごろ山東角附近において濃霧のため折柄出漁中の支那汽船李鎭順號と衝突これを沈沒せしめたが、その際同船は船長張應五ほか四名を救ひ上げ門司に入港し船側の依賴により定期船ばいかる丸にてとり敢ず大連まで連れて來たものだと、因に船長は未だ門司で「この始末をどうしてくれる」と頑張つてゐるといふ

吉村に絡る官有土地疑獄

昨十四日付夕刊官有土地疑獄事件記事中、田中大連市長らに波及か云々とあつたが吉村らが日華土地株式會社を設立するに當り當時の大連民政署長田中千吉氏の許に來り斯く〳〵の如く諒解出來たのであるからとのことに田中署長も然らば土地貸下げの手續として相當の順序を踏むが宜しかるべく地元の有力者を聯ね適法に出願せよといふ意味のことを述べたるに對し吉村は署長の言の如く願書を整へて提出したるものにて田中氏は當時、商會社にてもよろしいから有力者の名を聯ねよなどゝはいはなかつたとのことであり手續きも適法に取扱つたものだといふてゐる

極地探險家ナンセン氏逝く

【オスロー十三日發電】極地探險家として有名なフリツトヨーフ、ナンセン氏は十三日當地において死亡した、享年六十八歲、氏は一千八百八十一年以來數回の北極航海を試み地文學上種々の貢獻あり又クリスチヤニア大學動物學教授に任ぜられ、ノルウエイ大使にも就任し、一千九百二十二年にはノーベル平和賞を授與された

自轉車電車に衝突

市內永樂街五義祥燒鍋店員張裕欽（二九）は十四日午前七時半ごろ市內西崗街一八八番地先で沙河口方面より來た四號系電車の前方を自轉車で橫切らんとして跳飛ばされ、得意先きに配達する酒の一斗樽を破壞し、足部に擦過傷を負ふた

艶色生膽祕譚（111）

伊藤松雄作
河原塚鎗太郎畫

憂鬱症（一）

左近は憂鬱だつた。

三藏の言葉もあてにはならない――この幾日それとなし待つてゐた「お仙の在所」――つきとめることも叶はず、唯鐵誠庵の一室、だらけきつた身體をもてあましてゐるのみである。

カラツと晴れあがつた日が暮れかかると、何故かおちついてはゐられなかつた。

「どれ、久しぶりで歩いてくるか」

懐手して畦道を辿れば宵空に散らばる星、ポツと暈げた三日月、何もかもが淋しかつた。

「こんな時だな、亮之助めが口癖の辻斬り、さうした心持になるは……」

左近はニタリと笑つた。

「無理もない、俺でさへもそんな氣がされる、ああ何事か起つてくれぬものかなア」

山下に出ると、雑沓の刻限はとうに過ぎたと見え、廣小路の兩側に建並んだ香具師の天幕小屋も、おちかたはヒツソリとしてゐた。

薄暗い灯にすかせば、曲獨樂、人形芝居、因果娘、水藝の俗悪な繪看板が、土埃を浴びたまゝションボリとしてゐる。

「ええ、いつそ薩摩屋敷まで伸すかな、相樂總三先生の御消息も知れてゐやう」

左近は乗物をさがす氣になつたその途端、向ふから急いで來る駕籠、ヒヨイと眼をつけるや、その背後につき纏ふ人影、三つ、四つ、捕吏らしい身拵へ。

「ハテ」

左近はとつさの思ひつき、陽除け葭簀、その蔭へ身をかはした瞬間である。

「御用！」

「御用！」

喚き叫ぶ聲々。

「ワツ！」

息杖なげだして、逃げ足だつた駕籠屋。と、垂をかゝげて、

「なんだねえ、騒々しい！」

宵暗に浮く白い顔。

「あツ！」

左近は思はずも聲をあげた。

「お仙――ではあるまいか？」

「御用！」

「御用！」

手先の一人がパツととびついたが、

「あツ！」

顔を押へてのけぞつた。

と、女は血に染んだあひくちかざして、セセラ笑ふ。

空に三日月、女は色も香も爛熟しきつた年頃、凄艶緋牡丹の精にも似て、冴へた瞳、剃りあと生々しい眉のあたりには一抹の殺氣が籠つてゐる。

「ソレツ！」

長太の聲に四囲の權三きほいたつて銀棒ふり、その内懐へ……

が、女はサツと膝をおとすや、仙愛もなく權三の身體はドツと泳ぐ。

そこをすかさず逆すくひの腰車軽い氣合とともに、

「えいツ！」

モンドリうつて土埃の中へ叩きつけられた。

「うぬツ、お仙御用だ！」

左近はハツとした。

「おツ、お仙か！」

この時長太はすかさず手にした捕繩、三日月輪にサツと繰だせばスウツとのびてあひくちかざしたお仙の右腕へ、繩先の鉛丸、グルグルと搦みつく。

「しめたツ、ソレツ、押へろ！」

餓えた狼群が餌食に競ひかゝるが如く、ドツと御用聲あげて迫るそらどけした帶、燃える緋縮緬の裾先亂してグーツとひきよせられるを、身悶えしてふりほどからとあせるお仙、さすがに息も亂れて、疲れて來たらしい。

「うーむ！」

左近は突如として叫んだ。

「お仙どの、助勢いたすぞ！」

キネマと演藝

昇之助一行　四、五日目出し物

連日滿員の盛況を呈して居る、歌舞伎座の女義太夫及び浪曲、豊竹昇之助、東家燕太夫一行の本四日目及び明五日目の讀み物、語り物は左の如くである

▲四日目（十四日）　御祝儀寶の入舟（昇若）戀女房十段目三吉子別れの段（昇華）大岡政談續（燕若）忠臣藏六ツ目（昇光）阿波鳴門巡禮歌の段（小登昇）籔井玄意續（放駒）先代萩御殿政岡忠義の段（昇之助、新六）義士外傳梶川大力の粗忽（燕太夫）

▲五日目（十五日）　御祝儀入舟（昇若）由良港千軒長者（昇華）大岡政談「續」（燕若）花雲佐倉曙宗五郎子別の段（昇光）三勝半七酒屋の段（小登昇）籔井玄意續（放駒）天の網島時雨の炬燵紙治内の段（昇之助、新六）天野屋利兵衛（燕太夫）

初夏の樂界を飾る　名手名人の訪れ　四家文子孃を皮切りに

藤原、伊庭、關谷、平間と續々樂壇の巨人を迎へて、大いに惠まれ初めた大連の音樂界は、又復ハイドの杉山長谷夫氏及びアルトの四家文子孃を皮切りに其の初夏を飾る可き數名の音樂家を迎へると傳へられて居る。

杉山氏及び四家孃は伴奏者木村氏を伴ひ本紙既報の如く、來る二十日入港の定期船にて來連二十一日夜大連音樂學校主催の下に協和會館に於て音樂會を開催する事に決定してゐるが、其の他にもマンドリンの大家伊藤重五郎氏、琴の名手宮城道雄、聲音家二村定一、佐藤美子、佐藤千夜子の諸氏で、伊藤氏は滿鐵音樂會が目下盛に盡力中で、來る二十六日協和會館に於て公演の豫定である。宮城氏は村岡樂童氏が交渉中であるが、來連の時期は未だ未定である。

二村氏佐藤兩孃等の來連の噂は久しく傳へられて居るものであるが目下某方面諸氏の手によつて交渉が續けられて居るとの事で近日中に確實なる發表がある筈であるともかくも惠まれ初めた大連樂界の初夏をファンは期待してよからう

協和會館の改増築延期　六月中旬に着手

かねて本月早々改増築に着手する豫定であつた社員倶樂部協和會館は、其の後秩父宮殿下の御來連、その他の理由のため、約一ケ月間延期し六月中旬より工事に着手する豫定となつた、なほ外部の工事を先にする關係上、工事着手後も約一ケ月間は從來通り一般公開をなし得ると

◇◇この母を見よ◇◇

エリイザ、オルゼシユコ女史作・淸見陸郎氏譯改造社文庫の「寡婦マルタ」より脚色した日活の現代劇撮影臺本より嶋面座同人が潤成して本紙に連載する映畫「この母を見よ」に於て、街の女祥女に扮する入江たか子

協和會館映畫會

中等學生デーをかねて

滿鐵會員倶樂部に於ては、明十五日より協和會館に於て三日間左の日割によつて、中等學生映畫デー及び一般映畫會を兼ねて、日活春季超特作時代劇「大忠臣藏」全二十卷を上映する事に決したが、日割及び會費は次の如くである

▲日割　五月十五日（木）午後六時（商業、一中）十七日（土）午後一時半（女學校）同午後六時（一中其他）以上の外十六日（金）午後七時十五分より一般の爲開催保護者同伴の女學生の入場を認む映寫時間約三時間半

▲會費　學生二十錢十六日の分大人倶樂部會員五十錢、一般九十錢、女學生同伴の保護者五十錢

最近洋畫に進出して大いに新らしい所も見せて居る帝國館では、此の六月で南興行部開始滿一ケ年になるので、松竹映畫か、洋畫か、とにかく大物を入れて華々しく記念興行をしやうと目下計畫中であるが▲其打合せの爲南館主は本月末内地におもむくとの事▲忠臣藏は多分日延される模樣である▲此興行中に宣傳して居たテンビの割引券の發行高約一萬▲ドロンの名人と名をもつて演藝館の東家が又飛んだ▲と同時に帝國館ボックスの西村も一緒にドロンしたが長春の森氏の下へ走つたとの說もある▲其かわりと云ふわけでもないが、常盤座の長谷川櫻邦が突然演藝館に入ることになり▲「泣くな小春」より新興キネ現代劇の解說を引受けるとの事

演藝日記

▲五月十二日、三業組合慰安日花街はひつそりして居たが、街頭へ現はれたネエさん方が各常設館、歌舞伎座等の特等席にズラリと居並んで時ならぬ華やかさを呈して居た▲演藝館の竹井昌二郎「踊る幻影」解說中に客の下らぬヤジを舞臺でうまくヒニクル、客がむきになつてヤジればヤジル程竹井、あつさり皮肉を云ふ、客はとう〳〵默つてしまつた。竹昌の意氣やサカンなり

ラヂオ

大連　JQAK

五月十五日午後七時

▲浪花節「召集令」京山愛三

▲尺八都山流秘曲「岩淸水」草崎主山

▲常磐津「春舞寡嚴猿曳」（靱猿）彈語り山下千代

▲支那唱坐「宮」唱陳錦子、師付王振泉

▲料理獻立

▲天氣豫報

▲ラヂオ體操

東京　JOAK

五月十五日午後六時廿五分

▲講演「麗埃の辯護」工學博士細木松之介

▲琵琶「伊藤公」神谷秀嶺

▲新内「彌次喜多道中膝栗毛市子口寄の段」淨瑠璃富士松富士太夫、同寫太夫、三味線同佐交、上調子同右太夫

▲放送映畫劇「江戸城總攻」帝國キネマ時代劇部、嵐璃德、其の他

第六回滿日勝繼碁戰（林氏三回勝　四回目）

二段　林　仁作　二子　井上　太市氏

—【6】—

○一〇一ヨ九　●一〇二カ九　○一〇三タ三　●一〇四ヌ十三
○一〇五ル十三　●一〇六ワ十一　○一〇七リ十二　●一〇八ヌ十二
○一〇九ヌ十一　●一一〇ル十二　○一一一チ十一　●一一二リ十
○一一三チ十　●一一四チ九　○一一五リ九　●一一六ヌ十
○一一七ル十一　●一一八ヲ十二　○一一九ヲ十一　●一二〇ヲ十三

非常に便利な稅關金單位
當地輸入商間でも實施希望者が多い

輸入稅金單位支拂ひに關し上海海關にては五月四日附告示にて從來通り金單位と銀價換算率を發表する外に、五月十六日から中央銀行の稅關金單位小切手の受付を開始する旨を發表した、これが爲め邦人會社では去る五月六日より中央銀行との間に稅關金單位當座勘定を設定せるものあり、右により商人側としては先物取引に對し豫じめ稅金支拂に必要なる額の稅關金單位を購入し得るわけであつて輸入商にとつては非常に便利となつてゐる、そこで吾が大連海關に於てもこれが實施されれば當地の輸入商にとつても多大の便益を齎すものと觀られるが、右に關し各方面の意見を徵せば左の如くである

非常な便宜
東洋棉花 奧田支店長談

稅關金單位購入の方法が大連に於ても行はれるとになれば吾々の方としては非常な便利を蒙るわけです、該方法の實施により先物取引上に於ける危險を防止し得ることは先づ僅少だと思ひますが、現在の如く銀價換算率が其の日々の相場によつて異りために稅金支拂に當つて二重の手數を要することは吾々は全くその煩に堪えないのです、從つて上海海關が稅關金單位購入の便法を設けんといふことは單に銀價の動きによる損得の問題よりも便利といふことを主眼としたものだと考へられるわけです

大して……期待せぬ
三井物產支店當事者談

該方法が大連海關に於て實施さるゝことゝなれば稅金支拂に當つて豫て稅關金單位を購入し置くことによつて銀價の低落による危險を免れ得ることになる、即ち先物取引に於て何等の危險を考慮することなく、安全なる取引が出來るわけである、然しながら滿洲輸入雜貨は大體高が知れて居るので吾々の方としては該方法の實施については大して考慮の中に入れてゐないし、期待もしてゐないわけである、即ち麥粉の如きは食糧品として無稅となつて居り影響あるものとしては綿糸、綿織物の類であらう。兎に角該方法が大連海關で實施され得るとすれば寔に結構なことには違ひない

當地では不可能
上海と事情が異る
北代大連海關長談

稅關金單位購入の便法を設けるなどについては何等の沙汰はないし且又當地に於ては銀價の動きによる危險を誰が負擔するかゞ先づ問題であらう、正金銀行でもやつて呉れるのであれば格別であるが上海とは事情が異るからそんなわけには行くまいと考へられる、但し現在の稅金支拂方法が複雜であつて、輸入商が非常な不便を蒙つて居るといふのは果してどんなものであらう、或は資本力の乏しい小さい輸入商にはその點があるかも知れぬが然らざる限り大したことはないではあるまいか、即ち豫め銀行と關つて供託金を納め置き、海關の稅金納入告知書を受けると共に當該銀行に於てその額だけ捺印せしめる方法を講じておけば後に銀行と海關とで精算し得るのであるから、何等の不便はないわけである、現に埠頭國際なぞ此の方法を以て行つて居るのである

日本英貨債切賣れ
僅か二時間足らずで

【ロンドン十三日發電】當地で發行された年利率五分五厘の日本政府の英貨借替公債千二百五十萬磅の受附は今朝九時より始まつたが僅か一時間四十五分で賣切れとなり、午前十時四十五分受附を締切つた

商品信託の臨時總會
重役改選を附議

大連商品信託會社では十五日午後三時から同社において臨時株主總會を開き昭和四年十二月以降營業經過報告及將來の方針を報告し役員總辭職に付全員選任の件及び定款變更の件につき附議承認を求むる筈

豆信業務規定變更
關東廳に申請

豆信專務田中取引所副所長森田兩氏は昨十三日午後關東廳を訪問し滿鐵の米突法實施につき既報の如く現在一車四萬九千斤三百五十袋を四萬九千二百八十斤三百五十二袋に變更され、又賣買單位は從前の通りであるが、過剩斤たる二百八十斤は受渡し標準値段に於て受渡の際決濟されることに變更されたので、業務規定變更方を申請した

油房振興への科學的研究の輪廓
最近に於る業績 (二)

前回述ぶるところは現在の豆粕に對する用途發見と豆油抽出法の根本的改良に就いてゞあるが、次に考へねばならぬ問題は右の改良抽出法による豆粕と豆油をどういふ方面に使用し有用化するかといふことである、これについては豆粕や豆油が如何なる化學的構成をなしてゐるかを學術的に明にすることが先決問題であることはいふまでもない。

◇

先づ豆粕の利用法より述ぶれば各方面に於て大豆蛋白質を食料、醫藥品、調味料や更に進んでは化學工業の原料として利用することが熱心に研究されてゐる、假へばこれをメリケン粉の代用品として食料に使ひ、或は部分的に加水分解して味の素のやうな調味料として使ふやうなことは餘程研究が進んで相當の成績をあげてゐる、その他工業原料とする研究も熱心に行はれてをり、その中二三の例を示せば滿洲ペイント會社で現に製造してゐるピースとか、中央試驗所で曾て鈴木庸生氏によつて發明されたソーライトとかいふやうなものがある、これ等は大豆中の蛋白質を利用する一種の水性塗料である、更に進んでは大豆蛋白質にホルマリンやうのものが作用させて一種の不燃性セルロイドを作る研究もあり、例へば佐藤定吉博士の發明にかゝるサトウライトの如きものは餘程工業的に研究されたものであるが採算關係上未だ工業化するところまで至らない、とにかく豆粕を化學工業の原料にしやうといふ研究は今日のところ十分進んでゐるといへないが恐らく此の方面の研究にこそ油房振興のみならず汎く大豆の價値增加を爲し得る鍵が藏はれてゐる樣に思はれる

◇

次に大豆の他の主要成分たる油が現在どういふ方面に使用されつゝあり、且つ將來はどうであるかといふことに言及してみやう、大豆油は古くから色々な車軸に使ふ減磨油とか燈油に一部分用ひられてゐることはいふまでもない、近年はこれを精製して天ぷら用の油として我々の食膳にのぼり、更に精製してサラダ油のやうなものにすることも相當行はれてゐる、殊に歐米諸國では早くからかやうな方面に於ける用途が尠くない。

◇

又大豆油に水素瓦斯を作用させると凝固して眞白な硬化油になるが(油脂工業會社では既に生產を行つてゐる)硬化油は石鹼、バター、ラードの如きものゝ代用品、詰り人造ラードや人造バターの原料となる、この硬化油を分解すれば蠟燭の原料となるステアリンを製造することも出來れば爆藥の原料として必要なグリセリンを作ることも出來る、これらの生產は既に滿洲では一部分工業的に行てゐる。

◇

次に豆油はペンキやワニス料に用ふることも出來、この工業は滿洲でも相當實際化されてゐる、元來ペイントの油として亞麻仁油や滿洲產の蘇子油のな乾燥性のものが一般に使用されてゐるが大豆油はこれらに較べ乾きが遲い缺點はあるも一部用として使ふことは容易であるとされてゐる、又經濟的であるとされてゐる、米諸國でも滿洲大豆はこの方面に相當澤山用ひられてゐる、殊に米は特殊方法により少し易い優良な油とすることが出來るやうに思はれるから代用品とのみでなく大豆油單獨でペンキスを作れる時代が來るかもない。

低落また低落 鈔票新安値
今朝安値は六圓十錢
金本位制採用入電に

頃日來地場鈔票は底知れぬ低落を重ねてゐた氣先、昨十三日後場安値は遂に六十六圓六十五錢と當市場開始以來の新安値へ辿り、今朝は六十六圓六十錢と弱氣配に寄り安値は六圓十錢を入れ、六圓四十五錢と止め、新安値を演出した、之れは海外材料として銀塊は別項の如く一齊に安値を入れ、又上海標金は別項の如く「國民政府財政部では十三日金本位制法律案を發表した」を材料として、これも亦市場開始以來の新高値五百二十六兩臺まで昂騰したこと等を材料とし、これに華商側の仕手關係も亦大いに影響したこと等が原因とされてゐる、倫銀は現在印度が少し買ひ進んでゐるが、これとて永く續く道理はなく、支那は銀の洪水に苦み、支那時局はかへつて、銀弱材料と見る向きが多く、爲替、標金共買ひ戾し多く、銀行の標金買ひ持ち相當多く、乘換鞘を大きく取るか、現物を取るか、又滙豐建値によるといふ態度を示して居るから內標金は高見込みと報ぜられてゐる、從つて地場鈔票は目先き依然弱氣配と一般に觀測され、一部華商では五十八圓臺までの暴落がありはしないかと觀てゐる程である

誤電か
低落は仕手關係
裕泰公司 加藤常務談

この暴落は大部分仕手關係に影響されてゐると思ふ、商通の入電たる國民政府の金本制發表云々は眞實とは思へない、もし眞に發表されたのなら、標金はもつと暴騰しなければならず、又滙豐の建値から考へても五百三十三兩に上伸せねばならない筈である、この電報は何かの誤電ではないだらうか、この六月一日が舊の五月五日即ち決濟期に當るから滙申はもつと下り、六月一日までは地場鈔票は弱氣配に推移するものと思ふ

金本位制案を發表

商通の入電によれば國民政府財政部では十三日金本位制法律案を發表したと

標金は此邊天井か
三井銀行出張所長 松本文彥氏談

銀價の暴落は勿論仕手關係である「金本位制云々」の入電は私の方には入らないが、市中で一寸耳にした、しかしもしこれが眞であつたら標金はこの位の急騰ではすむまい、しかしたゞ發表したといふだけなら差したる材料とはならないと思ふ、上海では標金現物が各銀行で搔波つて行き、拂底しきつてゐるから、賣方のオプションだとは云へ、賣方もさして強く出られないから、この邊が天井ではなからうか、滙豐の建値からいへば標金はもつと高くならなければならない筈だらうが、上海では滙豐の建値なんか、だれも當にしてゐる人はない常に一兩位の差はある

仕手關係
目先回復難
正金支店長 西山勉氏談

今日の暴落はこれといふ材料もなく、華商側の仕手關係によるものである、銀價の回復は、世界的不況が回復されなければ、不可能である、從つて到底目先き回復されさうにもないと思ふ

滿鐵收入四月激減
前年同期より百十萬圓

四月中に於ける滿鐵の鐵道收入は八百二十二萬二千四百八十四圓で之を前年同期の九百四十一萬五千六百七十九圓に比し百十九萬三千百九十五圓の減收である、收入別に示せば左の如くである(單位圓×印減)

	四月分	前年比
客車	一、四四、八二〇	×四六一、一〇五
貨車	六、三四、一七一	×六〇三、三六九
倉庫	三六、一四三	八、六〇五
港灣	九一、一五六	三七、八六七
諸口	一一三、〇九九	×一〇八、〇三三
技術	三、一〇五	三、〇九九

荷物輸送數量は乘車人員九十萬八千三百二十二人で前年同期より十萬八千五十七人を減じ、石炭五十五萬四百八十噸で前年同期より六萬四千五百二十二噸の減少、又その他貨物六十九萬八千三百八十四噸で前年同期に比し八萬八十四噸を減少した、更に收入は石炭二百三十五萬七千百八圓で前年同期に比し四十五萬八千三百二十八圓減、その他の貨物四百十八萬三千四百六十三圓で二十三萬四千九百六十一圓の減少を示した

朝鮮運送設立
臨時株主總會も終る
愈十六日から開業

朝鮮運送會社臨時株主總會は十二日午後三時より鐵道局食堂に開催、本岡取締役の開會の辭に次いで河合專務より株式募集に關する報告あり、立石、朴の兩監査役より監査の報告あつて之れで資本金二百二十萬圓の會社設立報告總會を完了した譯である、檢査役選任說もあつたが結局物にならず、更に馬山の米田氏より定款變更要旨に關する說明を求めたが當時者にあつては上說明を避け四時半散會し爾後重役會に移り同問題につき種々懇談し愈々十六日から開業するので鐵道局より十五日には指定運送店として正式に指命がある筈

直轄店は四十一驛

朝鮮運送會社の直轄店は四十……で內支店は十二ケ所、營業所は十二ケ所、出張所並に支店は本社直屬とし營業所は支店及出張所の監督を受けることになつてゐる、而して支店長、營業所主任並に出張所主任は大體現在の各驛に於ける運合參加店作業組支部長を以て就任を見ることになつてゐる、因に目下の處支店所在地は

釜山、馬山、大邱、仁川、京城、平壤、新義州、群山、光州、元山、咸興、淸津

五年越して漸く實現
河合專務語る

朝鮮運送會社設立につき河合專務は語る

運合會社設立については過去五年滿三ケ年間に亘りて隨分曲折があり、種々なる難關を經、凡ゆる運合反對の宣傳、切り崩し運動も漸く切り拔けて終始一貫して運合に邁進した結果が今日愈々目的を達成して增資計畫も無事に總會を完了するに至つたのであるが、今後は更に實務の開始であるが之れとて今日迄に既に直轄店や各驛の作業組合支部に於て準備を進めてゐたので豫定通り十六日から支障なく營業は開始することになつてゐるのであるが、今日迄隨分苦心をなめた結果一致團結した、今後のこの會社は鐵道局の規定の方針に基き朝鮮の產業開發の爲め大に努力したいと思つてゐる

露領沿黑州の銀行ご統一

露領沿黑龍州地方の銀行を統一しコルホーズ聯合銀行としてハバロフスク市に開設することになつたが、主として對外關係の金融と地方コルホーズの機關となつて活躍する由

油房聯合委員會

大連油房聯合會では十四日午後二時半より取引所樓上會議室に於て耳付粕規定變更につき委員會を開催すると

高橋正隆常務

上京中の高橋正隆常務は來る二十三日着ほんこん丸にて歸連の豫定なりと

東邦配當据置き

【東京十四日發電】東邦電力は十三日の重役會議にて當期配當年一割据置きを查定した

手形交換(十四日)

	枚數	金額
金	一、二二〇枚	三、八〇七、六四二圓
銀	三六一枚	二、一〇三、九四三圓

黃塵

◇…當地油坊業は近來科學肥料硫安に壓迫され不況のドン底に低迷してゐたが最近內地における豆粕の需要が次第に擡頭しつゝあると傳へらる。

◇…これは母國農村において硫安が漸次飽かれ氣味となる一方豆粕宣傳の效果著るしく需要を喚起したためであるが滿洲としては何としても福音である。

◇…久しきに亘り豆の都の大連で油坊の爆薄れて市民の疲弊が喚かれたが或は復活が出來る前兆かも知れない。

◇…ソコデだ當業者はこの機會を失はず油坊工業を合理化し化學的製產の工風を加へ輸出原價を引下ぐべく努力することが肝要だ。

◇…滿鐵會社としても內地における豆粕需要の增加は大豆輸送の運賃增加といふ間接的利益を齎すことであるから油坊工業に對しては一層の保護援助を與ふべきであらう

市況

今日の相場

▲五品 先物七圓安
▲雜糸 新豆錢鈔共
▲綿布 十限一六〇
▲綿糸 氣乘薄く見
▲麻袋 銀安で買氣
▲大豆 五圓限五錢
▲豆粕 現物强定期
▲豆油 出來不申の
▲高粱 出廻りなく
▲鈔票 六十六圓四
▲大洋 九十七圓八
▲小洋 百八十三圓

特產

銀暴落に大豆昂騰

大豆は銀安に昂騰を示し現物は邦商の買ものあり强調、豆油は出來不申、高粱は出廻りなく保合、呈し大引

◇定期前場(銀建)

◇現物前場(銀建)

定期喰合高(十三日帳入)

		前日對比(△印減)
大豆	二八七〇車	△四軍
高粱	二二八車	一〇車
豆粕	一四一千枚	△六一千枚
豆油	一七八五百箱	△六〇百箱

錢鈔

銀塊安標金高で鈔票新安値

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の三と(十六分の一安)先物は十九片八分の一と(十六分の一安)紐育は四十一留比八分の一と(二分の一安)孟買は五十四留比八分の七と(八分の一安)滙申は七十一兩四五、滙烟は七十二兩七〇、大洋は九十七圓八十五錢日米は四十九弗八分の三と(同事)米日は四十九弗十六分の七と(同事)米英は八十五仙八分の七と(同事)米支は四十五弗二分の一と(四分の一安)上海標金は五百二十二兩二と寄り二十三兩八と止め當市の銀價は新安值へ暴落した

◇定期取引(單位錢)

◇現物取引(單位錢)

銀

地場鈔票は昨後場六十六圓六十五錢の新安値へ低落したが▲今朝は海外材料としての銀塊は一齊安を入れ、又上海標金は國民政府財政部では十三日金本位制法律案を發表したとかで標金は有史以來の新高値五百二十六兩まで暴騰した▲地場鈔票は以上の銀安材料を眺め又仕手關係も手傳ひて市場開始以來の新安値六十六圓六十錢と寄り一氣に急落し六圓十錢と安値を入れ六圓四十五錢で大引▲倫敦は印度も永の買みもなかるべく支那は却つて銀の洪水に苦しみ時局も却つて銀弱材料と見られ▲標金は現物薄に目先き騰りと見られてゐる從つて地場鈔票も見先き依然弱氣配と觀られてゐる▲國民政府は金本位制法律案を發表したそうだが實施はとても出來そうもないことだなる▲引け一圓五六十錢安を入れ地場銀票安に賣買双方共不氣乘閑散裡に散會した

商品

前場

株式

地場株變らず 平凡納會

市場電報

銀塊及爲替

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戶豆粕

橫濱生糸

印度麻袋

爲替相場(十四日)

上海標金

奧地市況(十四日)

上海爲替情報

債券賣買相場

滿洲日報

勞働者農民の代議士 大山郁夫 は斯く叫ぶ

飢餓線上を往く百萬の失業者！ 六十億の借金に苦しむ三千萬の農民！ 馘首、賃銀不拂、賃銀値下げに脅かされてゐる四百萬の勞働者！ 疾風に舞ふ木の葉の如く街頭に投げ出されたサラリーマンの群！

かくして今や、全國を蔽ふ灰色の不安は、加速度的にその濃度を增してゐる。見よ！ 無產者の團結は高らかに叫ばれ、大衆鬪爭は嵐の如く捲き起されてゐる！

この時だ！ 全國の勞働者、農民、無產市民の信望と期待とを一身に集めて、單身議會に乘り込んだ勞農黨首大山郁夫氏は、第五十八議會に於て何を叫んだか！ 一切の野次と嘲笑と漫罵とを蹴散らして、萬丈の氣を吐いた熱辯の內容がこれだ！

20戋

○四六判九十六頁○ ○送料四錢○

書店に品切の場合は直接本社へ

大山氏は絕叫した！ 百萬の失業者に一日一圓五拾錢を支給する失業問題への對策を、更にまたその財源捻出の爲に、恩給制度の廢止を、軍備費の半減を、機密費の徹廢を、資本利子稅の增徵を!! 斯くて議會開設以來の久しきに亘つて壓殺せられた全被壓迫大衆の政治的自由は、始めて白日の下に堂々と代辯されたのだ！ 聽け！ 大衆の眞の意思を代表せる我が議政壇上の劃期的大演說を!!

東京日本橋　振替東京二四八六二　電話日本橋二一六七・二二六八・二二六九

春秋社

三宅やす子著　長篇小說 〇〇強盜の暴露

定價一圓八十錢　送料十四錢　六〇〇頁

阿部金剛氏裝幀

金　金　金

人を活殺する絕大の力をもつて、「金」が大空で手をたゝいて笑つて居るのがきこえる。

三宅さんは何故この小說を書いたか?!

女史は〇〇强盜の母を探り兄妹を聞いて苦心慘憺この材料を集めた。小說か?! 事實か?! 現代人の興味は今やこの小說を取り卷いて渦を卷いてゐる。純情の青年松崎英吉を〇〇强盜たらしめたものは果して何か?! 金だ。金だ。そして裏切つた女だ。

先進社 大衆文庫

鮮麗・輕快 安價・五百頁で七十錢

國枝史郎(十日發賣) **生死卍巴** 價七十錢 送八錢

行友李風(目下大好評) **獄門首土藏**(ゴクモンクラ) 價七十錢 送八錢

大佛次郎著(講談倶樂部連載) **かげらふ噺** 價七十錢 送八錢

吉川英治著(富士連載) **女來也** 價七十錢 送八錢

三上於莵吉著(報知新聞連載) **淸川八郎** 價七十錢 送八錢

佐々木味津三著(時事新報連載) **影走馬燈** 價七十錢 送八錢

江戶川亂步著(探偵小說) 名探偵 **明智小五郎** 價七十錢 送八錢

甲賀三郎著(探偵小說) **神木の空洞** 價七十錢 送八錢

講談は俗惡で非尖端的だ。だが日本國民にはあの氣合が棄てられない。大衆文學は藝術だ。然も勇俠、怪奇、赤熱の情火、悲戀の氣合は講談以上だ。講談が沒落して大衆文庫が日本の隅々まで席捲するのです。大衆文庫は帝都、大阪の大新聞大雜誌に連載され、讀者を熱狂せしめた大作品のみ。然も單行本としては初めてのもの、讀者の滿足は正に百パーセント。

東京市本鄉駒込上富士前一〇九　振替東京二五八三・電話小石川二一〇四

先進社

自家製造 品質本位

カバン馬具

ゴルフバッグ　寫眞ケース　銃獵具　パッキング　滿圖袋

電話三三五二番

堀井商店

大連西通四八野津ビル

野球と極東大会

今春早稻田の敗因

用意ッ！ドン！ 決勝點は本屋！

○慶明戰の決勝は？ ○早稻田は何故敗れた？ 斯界の大權威たる飛田氏が妥當なる眼を以て批判された此の金玉の文字を見よ！ 四月三十日・五月一日の回顧

飛田穗洲

我が戰術

- 早大の陣營から……(早大監督)市岡忠男
- 敢て云はんには……(慶大監督)腰本壽
- 新たなる進軍……(明大監督)岡田源三郎
- あゝもしたい、こうもしたい……(立大監督)野田健吉
- ベンチの策戰……(帝大監督)蘆田公平
- 全力突進……(法大監督)藤田信夫

- リーグ戰生立ちの記……鷲田成男
- 早慶戰開始秘話……摺戶頑鐵
- 早慶試合復活の思ひ出……飛田穗洲
- リーグ戰新人論……橫澤三郎

三田稻門戰緣起　太田四洲

僕の審判(サツト下りたヴンパイヤーの腕)　天知俊一

怪投手レフテイ(ヤンキ軍秘話)　鈴木惣太郎

花形選手自敍傳

花形選手諸君の今日に至る迄の物語、敢えて御一讀をお奬め

(早)西村成敏　(慶)岡田貴佳　(明)鬼塚格三郎　(早)小川正太郎　(法)若林忠志　(法)吉田要　(明)田部武雄　(早)伊達正男　(慶)蔦石俊夫　(法)武田一義　(立)辻猛　(立)纐纈修三　(帝)野本進　(慶)山下實　(立)山城健三　(明)桝嘉一　(早)佐藤茂美　(明)吉相金三郎　(慶)宮武三郎　(早)三原修　(慶)水原茂　(法)島秀之助　(早)森茂雄　(明)角田隆良の廿四君の自敍傳！

早慶明の長所短所(早慶明各チームの痛い所を親切に爆露？)　廣瀨謙三

見物席から見た各監督の戰術　松村英一

全國中學野球界物語　春日俊吉

- 日・比・支花形選手……加賀一郎
- 日本陸上競技物語……弘田親輔
- パリーとアムステルダム……織田幹雄
- 僕の水泳史……高石勝男
- 我が戰勝……鶴田義行
- 陸の雄　女子競技略歷……人見絹枝
- 水の雄　水泳維新以後……松澤一鶴

自敍傳(斯界の雄七氏の自敍傳、本誌獨特の特輯篇を見よ)

——グラビヤ版、寫眞版數十頁此の他數十篇の記事

◇新青年グラビヤ版◇ 三十二頁に亘る大寫眞版編輯は本誌寫眞部の大努力になり絕對に他の追隨を許さざる逸品揃ひであります。

別册附錄

ファン大福帳

- 各種競技總記錄集
- 各選手百餘術
- 御幣かつぎ集
- 野球オラクル
- 堂々百廿頁！

新青年 特別增刊

特價七十錢(送料四錢半)

東京 博文館 振替東京二四〇

眼科 馬場醫院

ドクトル 馬場庄江

大連市常盤橋詰 電話八九七八番

內科 產科 婦人科

佐志醫院

大連市敷島町吾妻橋角

電話六八五〇二番

大連市大山通 **滿書堂書籍部**

最新刊

- 內山賢次譯 **グレートラブ** 賣價一圓五錢送料六錢
- 山中峯太郎著 **若き戀と放浪** 賣價一圓二十錢送料六錢
- 里見岸雄著 **日本前史を終る** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 頭山滿著 **幕末三舟傳** 賣價一圓八十九錢送料十二錢
- 湯河元光著 **世の母に答へて** 賣價一圓五十七錢送料十錢
- 市川宣譯 エス・コ・ウイツテ著 **されば** ロシヤは敗れたり 賣價一圓三十六錢送料八錢
- 原田實譯 リンゼ著 **友愛結婚** 賣價一圓八十九錢送料十二錢
- 群司次郎著 ミスニツポン **日本孃** 賣價一圓六十八錢送料十錢
- 小笠原長生著 **擊滅** 賣價一圓八十九錢送料十二錢
- 里見岸雄著 **國體に對する疑惑** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 三井甲之著 **手のひら療治** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 里見岸雄著 **天皇とプロレタリア** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 村田孜郎著 **支那の左翼戰線** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 須永滿著 **ガンヂーは叫ぶ** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 藤村作編 **日本文學聯講(第三期)(迎世下)** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 北尾鐐之助著 **小型映畫の研究** 賣價三圓六十七錢送料十六錢
- 關正ヲ著 **解剖學** 賣價六圓三十錢送料二十錢

最新刊

- 羽塚碧水著 **滿鮮趣味の旅** 賣價二圓十錢送料十錢
- 小林行昌著 **關稅と物價** 賣價二圓六十二錢送料十六錢
- カルグアン著 **處女なき國** 賣價一圓三十六錢送料六錢
- 山田義郎著 **面白い模型の設計と工作** 賣價一圓五十七錢送料八錢
- 野中雅士著 **鐘紡の解剖** 賣價一圓十錢送料八錢
- 小島八平著 **山東案內** 賣價一圓送料六錢
- 服部二郎著 **榮養と合理的療法** 賣價二圓九十四錢送料十錢
- 橋本良平著 **現代の株式會社** 賣價一圓八十九錢送料八錢
- 尾崎關太郎著 **生活の合理化** 賣價一圓送料六錢
- 藤森成吉著 **何が彼女をさうさせたか** 賣價一圓二十二錢送料四錢
- 山川默著 **色貝類圖** 賣價一圓七十八錢送料六錢
- 植田友合著 **榮養品の選擇及見方** 賣價一圓五十七錢送料六錢
- 小堺宇市著 **圖書の鑑識と教育** 賣價二圓四十一錢送料十四錢
- 北尾鐐之助著 **小型映畫の作り方** 賣價三圓六十七錢送料十四錢
- 小川榆軒著 **めでたき風景** 賣價一圓五十七錢送料六錢
- 鐵道省著 **日本案內記 東北篇** 賣價二圓六十二錢送料十錢
- 鐵道省著 **同 關東篇** 賣價一圓八十九錢送料六錢

日露英蘭 條約締結篇

蘇峰學人著 **近世日本國民史** 卅二卷

並製 定價二圓五十錢 送料十二錢
特製 定價五圓 送料十八錢

東京市銀座西八丁目 振替東京一三二〇〇

民友社

社說

支那中原の南北對峙 結局有耶無耶か

争身不隨意といふ病氣があるが支那の現狀と對照し果して如何。日支關稅協定の調印に對し四の五のといつてゐるかと思ふと一方、北方聯合軍は南京政府を根本から否認せんとしてゐる。蔣介石首席も例の奧の手を出し政治的に解決收せんとしたが每度のことに金の實は金錢を以て雜色軍その他を買收せんとしたが每度のことに金の才覺が思ふやうにならず故鄕の牽化へ歸つたり漢口へ出かけたり又は漸く徐州の戰線に出て來たものの果して幾許の戰意が存するのやら掛聲ばかり大にして實力の伴はぬは支那芝居そのままの感がないでもない。こんなことで一體、調印の六日から十日間を以て效力を生ずると日支關稅協定を明十六日に至つて何とするのであるか。胡漢民の敵本主義は兎に角として政府の首席が金の才覺や軍閥との抗爭のため首都に不在勝ちであつては政務の捗も思ひやらるる。

それは兎も角、中央政府軍は北方聯合軍に對して果して勝味があるであらうか。北方の閻錫山を中心とした馮、それに汪、李らの將に異にしつつ共同の反對目的のために政務は閻に黨務は汪に軍務は馮にと部下の策士連が勝手の宣傳、思想（そんなものがあるとして）を不快を懷ふてゐる連中が主義、それが如何の結束力、如何の團結力を發揮するや否や南方では早くも烏合の衆と評してゐる。勿論、南方政府軍といへども烏合の衆たることにおいて五十步百步。ただ少し金錢といふセメントの分量が多いといふ程度に過ぎぬのであるから一つ何かに躓けば瓦落々々と倒潰するのは先づ當然。そこで吾人は正邪順逆は問題でなく實力如何と睨めるのであるが南方に少し飛行機が多く北方の蒙昧兵が文明の利器として驚くぐらゐのもので南方が必ず勝つとも限らぬ。

尤も矢は絃上にあり緊張に緊張を告げ滿を持して放つかと思はせるが支那の戰爭、何時ぐづぐづに兩すくみ有耶無耶に屁古垂れるか知れたものでない。日本人が思ふやうな戰爭がテキパキ行はれたものなら今頃、大體の新舊軍閥は種子切れになつてゐたであらう。而して支那の統一、南北の統制といふことは遠い昔に實現せられてゐたかも知れない。が何事も右から左へと徹底せぬのが支那、愚圖愚圖してゐる裡に次ぎの時代へと形式だけは替へて行くから精神に至つては依然として舊態を保存することになり何時まで經つても統一どころか南北の對峙、軍閥の抗爭が年中の行事。靑天に霹靂、霹靂後の快晴といつたやうな痛快味を滿喫することは不可能である。

南も北も同じ孫文の三民主義とやらを遵奉するところの軍閥が河南の平野を中心として東西數百里に亙る戰線を張る。地方の民衆こそ迷惑千萬な話。苛斂誅求は年中のことながら尙かつ戰費、軍費と徵發され、その上に戰爭とあれば沒有法子で安き心もなく氣のきいたのは遠く北滿へ移住といふやうなことになるのである。それも乘るか反るかテキパキと戰つて勝敗をつけ戰爭を完了として國將かが眞に統制の主人公とでもあるなら格別、數百里に亙る戰線を張つたもの〻結局これも有耶無耶で雲散霧消するのではあるまいか。如何に沒有法子に訓練されては居るもの〻善良なる民衆こそイヽ面の皮といふものではないか。

そこで吾人は常に南北の融和を說き同じ孫文の三民主義とやらの傘下にあるものが勢力抗爭、私利私慾から血で血を洗ふのは愚の骨頂だといふが支那の抗爭は勢ひともいふべく理否を超越してゐるから或る意味では不可抗力。然らば思ひ切り爬羅剔抉し外科手術を施してと思ふが支那の國民性は五千年來の產物で帝力われに於て何かあらんやとダイオヂネスのやうに赤土の家の窓から差し込む天日に滿足するといふのであるから徹底味を缺ぐこと夥しい。民衆と軍閥とは世界が別であるから今日なほ內亂抗爭に餘念なきを得るのであらうが昨今のやうに南北對峙といふ風に戰爭を大仕掛にやられては民衆はたまつたものでなく近隣の迷惑またこの上なしといはねばならぬ。ただ支那のことであるから必ず眞劍勝負をやると限らず北が勝つても南が勝つても第二、第三の軍閥は發生すべく役者は替るにしても舞臺は變らず依然たる內亂抗爭の支那で推移するものと測觀するの外なく吾人は東三省の軍閥が中原の禍亂に走せ參ぜぬを關外の幸福を兎も角も味はひつゝあるを破壞せられざらんことに顧念し南北對峙の推移を眺むるより外に途のないことを遺憾とする。

特別議會に殘されたる各種重要政策の對策
先づ直面する軍縮問題につき政局の推移注目さる

【東京十四日發電】特別議會において政府はこれといふ手傷も負ふ事なく切り拔け得たが今後尙殘されてゐる色々の問題があり政府の行手は必ずしも平坦なりといふを得ない狀勢にある、これ等殘された諸問題と政府の方針を今一應吟味すれば左の如くである

軍縮協定問題

本問題は議會終了後政府が先づ直面せねばならぬ問題である、歸朝後の財部海相を中心に政府軍令部、陸軍、樞密院等の間に深刻な政治的葛藤が展開されるであらう而して一切の締め括りは條約御諮詢の際樞密院でなされるのであるから今後の政局は樞密院對政府關係を繞つて動き政府の對策も主としてこれに向けらるゝ譯である

兩院議員に午餐下賜

【東京十四日發電】畏き邊にては明十五日貴衆兩院議員に午餐を賜はる御豫定であるが一木宮相より兩院議長に對し起訴中の者は參內を遠慮せしむる樣通告があつたのでこれ等の者（全部で十六名）は議長の注意に依り明日の光榮を御遠慮申し上ぐる事となつた

財政々策

六年度豫算編成方針は六月始めの會議で決定されるがその根本方針は金解禁後の財界均衡が未だ常態に復せぬから從來の緊縮節約非募債主義を繼續し只失業救濟のため必要の範圍においてこれを緩和する事になつてゐる而して編成に當つて考慮すべく全議會で言明された事項は（一）行政整理（二）陸軍整理があるが從來の行懸りに顧みて餘り大した事は期待されぬその他稅制整理については近く稅制調査會を設置して調査の上來議會に提出する事となつて居り關稅改正については關稅審議會の咨申中今期議會で實現された以外のものは來議會に廻される譯であるが之れ等に就ては政府は實際の必要に迫られない限り見合せる方針である

經濟政策

景氣恢復のため政策を更新すべき事は各方面の輿望であるが政府としては兌換制度擁護のため飽くまでその所信を貫徹すると揚言してゐる、然し政府の努力に依り消費方面の合理化は大體その目的を達したと見られるので今後は生產分配の合理化卽ち主として經濟の根本的立て直しに全力を濺ぐ方針であつて國產愛用宣傳の如きその一つである

社會政策

失業問題に對する對策は政府においても途方に暮れた形で應急策を講ずると共に失業防止委員會を設けてこれから調査に着手するといつてゐるが通常議會までには果して成案が出來るかどうか疑問であり出來たにしても財界の不況と共に今後一層歲入減を來す事を知つてゐるから本問題は六年度豫算編成期に於ける政府の最大の苦難であらう勞働組合法、小作法等は既に調査を終了して居り來議會に提出する事になつてゐる

選擧革正

選擧革正は總選擧の終了に依り無用の長物となつた形で今日まで僅かに一回の革正審議會總會を開いただけであるが今後は選擧費の減少、投票買收、官憲の干涉壓迫の防遏の三點を中心として徐々に調査を進める事になつてゐる

重要政策の實現と遊說宣傳に着手
民政黨が政府を督勵

【東京十四日發電】民政黨では政府提出の豫算案、法律案が全部特別議會を通過したのは一大成功であると爲し今後は益々政府を督勵し腰を落つけて國產振興を始め幾されたる重要政策の遂行に着手することゝなつたが、これが爲め先づ近く政務調査會を開き至急これ等政策の具體化を圖ると共に全國的遊說並に文書宣傳に努むる筈

政友更生策
人材主義で幹部組織 總務は減員して連帶責任

【東京十四日發電】政友會は議會を終了したのでいよいよ來る十六日本部に議員總會を開き田中內閣以來の幹部を改選して犬養總裁の下における新陣容を整へ

黨の更生

を圖ることゝなつたが、その人選は犬養總裁の將來における人事行政の一半を察知し得るものとして黨の內外より注目されてゐる而して犬養總裁は複雜なる黨情に鑑み愼重な態度を持し何人にも意中を明かにせざるため目下黨の大勢は犬養總裁の意中を忖度する程度にとゞまつてゐるが、首腦部間の意嚮を綜合するに大體において從來の地方團體主義を改め人材本位となし有力な人物を以て幹部を組織する方針で殊に幹事長中心主義に依る幹部間の不平を緩和するため筆頭總務制を設け總務も五名ぐらゐに減じて實質的にも

連帶責任

を負はしめ同時に幹事長は事務幹事長として能力を發揮せしむる意嚮なるもの〻如くとすれば筆頭總務には久原房之助氏か山本條太郎氏の外なくその他の總務には人物と地方團體を併用して堀切善兵衞（東北）森恪（關東）秋田淸（中國四國）田邊熊一（北信東海近畿）松野鶴平又は山崎達之輔（九州）氏等有力な候補者と見られ幹事長としては松野、山崎兩氏が最も有力で兩者の內いづれかに決定すべく若松野氏が

幹事長に

なれば山崎氏は總務か政務調査會長重任となり、山崎氏が幹事長となれば松野氏は總務か少くとも黨務部長に推されるものと見られてゐる、なほ遊說部長、通信部長等の候補者としては砂田重政、山口義一、牧野良三、安藤正純氏等が有力視されてゐる

今後一層國利民福政策の實行を期す
きのふ民政黨議員總會に於ける
濱口總裁の演說要旨

【東京十四日發電】民政黨では十四日午後五時より丸の內東京會館に議員總會を開き濱口總裁以下黨出身の各閣僚並びに各幹部兩院議員等三百餘名出席、中村院內總務の挨拶あり濱口總裁より左の如き演說あり六時閉會引き續き同所に於て議員懇親會を開き大いに氣勢を揚げた

議會終了後の本議員總會席上一言する前に今議會における我黨幹部諸君議員諸君の勞を感謝する僅か三週間のこの議會において義務敎育費增額及び豫算案の通過せるは最も欣幸に堪へぬ

×

議會では軍縮及び經濟問題が主として貴衆兩院を通じて論議されたが軍縮問題に就いては條約實質論及び統帥形式論として囂々たる非難を受けた、實質論としては條約のため帝國の兵力量が國防の不安を來しはせぬかとの議論である我等の見解は若しこの條約が一九三六年以後も永久に持續するならば或は然らんも三十六年までの短期條約に過ぎぬから條約の許す限り國防の缺陷を來さぬと答へたが反對黨は反對の論をなした政府の見解ではこれ等は毫も取るに足らぬ卽ち政府は國防上の責任は飽くまでこれを負ふ旨を言明した、形式論としては統帥權問題も盛に繰返された政府軍部間の關係につき憲法第十一條、第十二條の解釋が論ぜられたが我等の立場は憲法論をなす必要を認めぬ依つて答辯はしなかつたが問題の要點結論と見て述べたるはロンドン條約調印に際し帝國の兵力量に就いては軍部專門家の意見を十二分に斟酌して政府はこれを決定した卽ち政府が責任を執るは勿論であり憲法論をなす暇は政府に無い、斯かる形式論が貴族院において起つたのは當然なるも衆議院が又これに會期全部を費したるは不可解である、卽ち反對黨は前半分は憲法形式論、後半分は小橋前文相問題に關する余の責任論で終始し國民の實生活に卽する政策論のなかりしは深く遺憾とする

×

經濟問題は金解禁問題の蒸し返しで景氣問題もあつたが反對黨には一定の主義方針は見えなかつた既に金解禁斷行は其善後策に向つて總ての經濟政策を集中せねばならぬ、卽ち兌換制の維持金本位擁護である、若し政友會のいふ如く今日緊縮方針を棄て公債濫發に依る事業を起さばその結果は推して知るべきである反對黨は金流出二億圓を非難するが我等はこれに驚かぬ若し彼等のいふ如く積極策を執らば決して金流出は二億圓では濟まぬ斯くして如何にして金本位制の維持が出來やう、若しさうならば我金利は騰貴し物價は激落し帝國產業の破壞を來すであらう

×

政友會は景氣恢復失業救濟を唱ふるも方法は公債濫發積極策に依り帝國產業を破壞せんとするものである、政府の產業振興發展等に就ての豫算金額を過少なりと評するものあるも政府の目的は國民的運動の口火をつけ導火線とならんとするもので我等はこの見地から國民の自覺心に僅寸をつけ一筋の解決を開くものである失業問題の解決は由來金の要るものであるが政府は相當の責任を以つて當るは勿論である而して財政事情の許す限り將來に向つて努力する事は兩院で言明せる通りである

×

今後我等は如何なる信念を以て行動すべきであらうかこの特別議會は我黨內閣の將來永く政治的活動をなすべき第一の關門に過ぎぬ依つて無事に濟んだ事に依り一瞬の緩みも來してはならぬ既に調印濟みのロンドン條約批准問題あり我々はこれが實施に全力を注がねばならぬ又綱紀肅正に就ては既に起つた處はこれを明確にして戒めとなし將來はこれを堅く嚴守せねばならぬ更に選擧革正問題に就ては速かにその實現を期せねばならぬ敎育費一千萬圓の國庫負擔に依り國民負擔を輕減し得たるも我等はこの程度で滿足せず更に將來は減稅に向つて努力せねばならぬ各種社會政策は各般の狀勢に鑑み協力一致之れを行ひたい、要するに二百七十名の威力に依つて國利民福政策の實行を期したい

鄭州邦人保護要求
南京政府は引揚を希望

【東京十四日發電】南京政府外交部は上村南京領事宛國民軍飛行機は近く鄭州を襲擊することゝなつたから同地における貴國人に對し危險を避くる爲め引揚方を電命され度しとの通告をして來た、この報告に接した外務省では協議の結果鄭州在住の邦人を直ちに引揚げしむることなく北平公使館主席書記官をして閻錫山及び馮玉祥氏に對し鄭州における邦人の保護を要求することになり既にその手續きを了した

廣東軍遂に桂平占領

【廣東十四日發電】蔣介石氏の最後的激勵に奮起した廣東軍は廣西軍が難攻不落と賴んだ桂平の要害に對し十一日來水、陸、空から總攻擊を爲し十三日之を占領した、廣西軍は武宣南寧方面に退却中なるも目下平樂方面の白崇禧軍を北江方面より廣東省に侵入させん爲めの作戰とも見られてゐる

閻軍財政處長 汪士元氏を任命

【天津特電十四日發】前財政次長汪士元氏は閻錫山氏から總司令部財政處長に任命された、氏は今後北軍の軍費捻出に努力するであらう因みに氏は孫傳芳氏と共に目下太原に在る（寫眞は汪氏）

關東廳の官有土地處分方針を樹立
新に調査委員會設置

關東廳では從來滿洲政治界の癌といはれたる土地拂下げ貸下げ其他官有財產の處分に關する方針を確立、その嚴正公平なる制度たる官有財產土地調査委員會を設けこれに關する一切の調査を遂げたる上長官の諮問に答申その決定をなすことゝなつたが關東廳では十三日附を以て左記關東廳關係首腦者を以て右委員に任命、本月廿四日第一回委員會を開會する筈であるが昨秋來の拂下げ貸下げ關係書類は全部で二百餘件に及んでゐる

△內務局長神田純一△事務官中谷政一△同日下辰太△同竹內德亥△同源田松三△同松田芳助（以上委員）△事務官源田松三△同米內山震作（以上幹事）△屬二浦靖△同中澤基一△同大槻將實（以上書記）

濟南事件の行賞
十四日附發表さる

【東京十四日發電】昭和三年支那事變功績者行賞は十四日天津部隊の分につき左の如く發令された

旭日重光章、一時賜金七百圓　陸軍中將　新井龜太郎
瑞三、賜金四百圓　步兵大佐　鷹津　鉎平
旭四、賜金三百三十圓　步兵少佐　河野悅次郎
金鵄勳章功五級旭六年金三百五十圓　步兵中尉　桑川　好春
功七級旭八年金百五十圓　步兵上等兵　鈴木　藤吉
一時賜金四百圓　一等主計　一宮　友一
瑞五賜金四百圓　三等軍醫正　西宮　啓吉

なほ金鵄勳章以外の勳章と一時賜金を下賜されたる尉官十七名、賜金のみのもの將校、同相當官七十五名准士官、下士叙勳者四十三名、賜金のみのもの百六十二名、兵卒叙勳者三百七十一名、賜金のみのもの一千七名、軍屬叙勳者二名、賜金のみの者十三名である

在滿同胞の元氣な顏は愉快
きのふ長春市中を見物後
財部全權元氣で語る

【長春特電十四日發】財部全權一行は十四日午後三時十七分長春着多數官民及び各小學校生徒の盛大な出迎へを受け健兒團の捧げる國杖をくゞり元氣よくヤマトホテルに入り、小憩の後、自動車を驅つて市中を巡觀、西公園に赴きこの程竣工した海軍記念碑に參拜し四時二十分破れるやうな萬歲聲裡に歸朝の途に就いた、財部全權は往訪の記者に對し統帥權問題其他政治的談話を一切さけて左の如く語つた

長いシベリア鐵道の旅行を續けて南に來るにつれて明るい氣分がする、殊に滿鐵附屬地に一步を印し同胞の元氣な顏を見て愉快だ、十六年前一度通過したことはあるが夜であつたから見られなかつたが、今度初めて附近の風景を見る譯である、聞けば一萬の同胞がゐるさうだが市中を見物しても到るところにテニスコートやグラウンドなどを散見するし、道ゆく人も活氣に滿ちてゐる、貴紙を通じて在滿同胞が益々元氣よく奮鬪されるやう告げて貰ひたい、私の健康も大分よくなつたので京城に一泊し直ちに歸京する豫定である

財部全權が各方面に寄附金

【ハルビン特電十四日發】財部全權一行は昨日來哈した山口多聞中佐、織田啓二、外務省溝口省一、吉田少佐、三藤書記官、馬世田重太郎大佐、豐田大佐等十三名で本日午前出發したが、隨員一行は京城に立寄るか否か未定である、尙全權は離哈に際し民會三〇〇圓、誠志會百五十圓、滿鐵俱樂部二百圓、警察署百圓、小學校三十圓を夫々寄附した

軍縮と日本の態度
遙に大なる稱讚の念を懷く
米全權ス氏の報告

【ワシントン十三日發電】スチムソン國務長官は本日上院外交委員會においてロンドン海軍會議の報告を行ひ日米關係につき左の如く述べた

日本は補助艦において對米七割を主張したが我等の仕事は日本以上の海軍力を建造するまで八年間日本は現狀維持を續けられたいと日本に要求する事であつた、六吋巡洋艦においては我等はアメリカが七萬五千噸から十四萬三千噸まで建造する間日本が實質的現狀を維持する事を要求した、日本の六吋巡洋艦は現在九萬八千噸なので今次の條約に依つてはこれに僅かに二千噸を加へ得る事になつたのみでこれに對しアメリカは二倍に增加する事となつた、我等は會議を終つて別離するに當り日本全權及び政府に對し以前よりは遙かに大なる稱讚の念を懷いた實に日本はその相手國が日本以上の海軍力を建造する時日本のみがその手を縛られる樣な條約にも參加する勇氣を有してゐたのである

奉天派の軍事會議

【吉林十三日發電】張作相副司令官は張學良長官より本月十五、六兩日時局軍務會議を開催するにつき出席すべしとの召電に接したるを以て十四日赴遼すべく吉海鐵路局に列車の準備を命じたと

天津附加稅差押問題
閻氏と交涉中

【天津十四日發電】天津海關の二分五厘附加稅差押へ問題につき海關側は右稅收を交通銀行に寄託するを止め香港上海銀行に預金し南北共之に手を染め得ずとの條件で閻錫山氏と交涉中であると

南軍爆彈投下に鄭州大混亂
西北軍の意氣は旺盛
滿鐵情報課新田氏の視察談

【北平特電十四日發】南京軍は蔣介石氏自ら戰線に出でいよいよ總攻擊を開始し隴海線、馬牧集間にて南北兩軍正面衝突し、隴海線が戰ひの中心となり北方軍もこれに對抗することとなつた、鄭州よりの歸途北平に立ち寄る滿鐵情報課員新田氏は戰線の狀況に就いて語る

今月四日鄭州に着いた、彼の地は既に混亂の眞最中で軍隊は七萬位入り込んでゐるが、六日以來、南京軍の飛行機も數臺飛來して停車場司令部に投彈し、六日などは鄭州の市街だけでも二十四名投彈により斃れた程で戰々兢々たる有樣です、住民は家を疊んで黃河の南岸にぞくぞく避難してゐる、北軍は東明、蘭封、開封各方面から續々前進をつゞけてゐる、軍隊は山西、西北、山西、西北と云つた順序で魚鱗の構へといつたやうな風に進んでゐる、軍隊の內容は西北軍が粒が揃つて意氣頗る盛んであるが軍器の點ではかなりひどいものがある、この點では南京軍に劣つてゐる、私は八日最後の列車だらうと思ふが、それに乘つて歸途についた、鄭州も石家莊も太原も宿屋は各派代表で滿員の光景で戰雲漲つてゐる

吳佩孚氏の通電
和平のため居中調停

【天津十三日發電】四川に在る吳佩孚氏は次の如き通電を全國に發した旨十二日當地にて江北招撫使齊燮元氏側から發表された

國民は今や戰亂に厭けり、余は地を川中に避くること四年、國事を問はざること久しきが各方敦促の情に感じ且つ匹夫責ありの義に從ひ默止するに忍びず卽日四川を出で居中調停の勞を取らんとす、戰爭を如何にして阻止すべきや、統一は如何にして完成すべきや、敎育は如何にして改進すべきや、政治法律は如何にして國情に適應すべきや、國民の生計を如何にして至善たらしむべきやに就て海內賢達の示敎を希ふ

齊、孫兩氏の起つた時、吳氏の右通電は各方面から非常に注目されてゐる

南軍來降續出
齊燮元氏の氣焰

【北平十四日發電】齊燮元氏は鄭州に江北招撫使署を設けたが語る　余は南方に在ること二十餘年江南は第二の故鄕で既に南軍中から投降を希望して來てゐる者が多い今回江北の招撫に努力するが閻馮兩氏を助けて速に戰事を終了せしめたいと考へてゐる孫傳芳氏極力余を援助することになつてゐる云々

州內公學堂長會議

關東州內公學堂長會議は來る十六日旅順水師營公學堂に於て開くと

見學本社

長春公學堂生徒一行三十名は北川教諭に引率され十四日午後本社を見學した

關東廳辭令（十三日附）

旅順工科大學教授　野田淸一郎
旅順工科大學普通試驗委員長ヲ命ス
同　小倉　勉
旅順工科大學同委員ヲ免ス
同　助手　內藤　傳一
旅順工科大學普通委員ヲ命ス
任旅順工科大學教授
敍高等官七等
九級俸下賜、職務俸四百圓下賜　從六位　瀨谷佐次郎
任關東州公立實業學校長
敍高等官五等八級俸下賜
補大連市立商工學校長
旅順工科大學豫科助教授　茂木　善作
兼任關東廳中學校教諭
敍高等官七等
旅順第一中學校勤務ヲ命ス
關東廳遞信技手　城　靖
依願免本官
簡易保險局書記兼關東廳遞信書記　多米　實
免兼官
關東廳技師　倉賀野　晋
岩手縣及東京市へ出張ヲ命ス

人事

▲山本滋雄氏（日本商業通信社副社長）十四日社務視察のため來連天滿屋ホテルに投宿したが、一兩日滯在の上奉天に赴く筈
▲建部永吉氏（丁字屋主人）十四日聯絡機で京城から來連
▲廣崎幾次郎氏　十四日連絡機で京城へ
▲齋藤貢氏　同上
▲末次喬氏　同上
▲山村寬氏　同平壤へ
▲大阪貿易學校一行六十名　佐々木教諭引率の下に十四日午前着列車にて來連

安眠箱子

飛ぶ鳥も落す程に勢威を振つた西太后の夏の宮殿といへば豪壯華麗、淸末宮廷史の有力な材料を提供するものだがその豪奢な宮殿に「かしや」札が貼られたとは如何に時勢の推移とはいへ正しく支那でなければ見られぬ事實▲その文面は貸邸、夏の宮殿內、周圍眺望絕佳、丘上に數軒、湖畔にも若干その他居住差支へなし、希望者は北平市政府に申込みを請ふ　西太后といへば四十餘年間顧政として實權を振つたが夏の宮殿は特に彼女が得意の鼻をうごめかした建築物▲それもその筈、時の政府が折角大海軍を建造すべく集めた莫大の金をスッカリこの宮殿の造營に費したのである▲これが爲めに支那は日本との戰爭に敗北したとさへ歷史家は傳へてゐる▲兎に角西太后がこの宮殿に夏を過ごし驕奢三昧の日を送つたことは有名な話

本日廳報を添ふ

特產

定期後場（銀建）

限月	寄付	高値	安値	大引
▲大豆（保合）單位屆				
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	六十七車			
▲普通大豆	出來不申			
▲豆粕（保合）單位屆				
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	一千枚			
▲豆油	出來不申			
▲高粱（軟調）單位屆				
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	十六車			
▲包米	出來不申			

現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	七〇七〇	七〇五〇
普通大豆（後物）	六九三〇	六九三〇
出來高	二十車	
豆粕	出來不申	
豆油	一九九〇	一九九〇
出來高	三千五百箱	
高粱	四五四〇	四五四〇
出來高	一車	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
出來高	期近百九十九萬圓			

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	六〇〇	一二三〇	一八〇〇
二時半	六〇〇	一二三〇	一八〇〇
三時半	六〇〇	一二三〇	一八〇〇
出來高	銀對金二萬五千圓	銀對洋七千圓	

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋（保合）			
綿絲	延五月末	二六、五	一〇
出來高	一萬枚		
綿布、綿糸、麥粉	出來不申		

神戶特產（十四日）

大豆現物	六一〇
大豆先物	五一五
豆粕現物	一六八
豆粕先物	三五八
滿洲小麥	五八〇
豆油現物	一九〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六三六〇	六三一〇
大新	四八四〇	四八三〇
鐘紡	一六八八〇	一六七三〇
鐘新	七六六〇	七六五〇
日糖	五〇六〇	不申
郵船	不申	四四〇〇
東新	九四〇〇	九四三〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇七八〇	一〇七八〇
東新	九四五〇	九四四〇
五品	七二〇〇	七二四〇
中先	七四〇	七四〇
信中	不申	不申
先	不申	不申
豆新	一一九〇	一一九〇
中	不申	不申
先	一一八〇	一一九〇

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
銘寄	不申	九三〇〇
引高	不申	九五四〇
安	不申	九五五〇
值	不申	九五五〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七七六	二七六七
六月	二七九二	二七八六
七月	二八二二	二〇一〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七五〇	二七四一
六月	二七六五	二七六二
七月	二七八六	二七八二

神戶期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七八九	二七七四
六月	二八〇八	二七九三
七月	二八三六	二八一六

滿日地方版

撫順

秩父宮殿下 けさ九時御着撫

炭礦を御視察、戰蹟を弔はせ給ふ

奉迎送者の心得事項

久しく撫順市民がお待ち申し上げた秩父宮殿下には今十五日午前九時十分撫順驛に御到着遊ばされ古城子露天掘、製油工場、孤家子戰蹟等を御視察遊ばされる御豫定であるが、當地における奉迎送者の心得は左の通りである

一、豫て通知を受けたる列立賜謁者は午前八時四十分（御召列車着三十分前）迄に奉送の場合は午後零時四十分迄に撫順驛「プラットホーム」各所定の位置に整列のこと

二、在鄉軍人分會員、中學校生徒青年訓練所生徒及工業實習所生徒は奉迎の場合は午前八時三十分（御召列車着四十分前）迄に奉送の場合は午後零時二十六分迄に驛前廣場所定の位置に參集し引率者及指揮者の指揮に依り整列すること

三、其の他一般奉迎送者は驛に向つて西側所定の位置（線ひ見きて示す筈）に整列すること、其の要領は東に向ひ最前線に丈低き幼稚園兒、小學校兒童等其の後口に女學校生徒其の他の團體其の後口一般奉迎送者と謂ふ如く整列のこと、尤も驛員は仕事上の都合もあるべきを以て柵外欄に面したる位置とす、右の內團體の參集は奉迎の場合は午前八時三十分迄に奉送の場合は午後零時廿六分迄に又一般者は遲くも奉迎の場合は午前八時五十分迄に奉送の場合は午後零時四十分迄には現場に到着のこと、（特別なる通知を發せず）

四、以上二、三項所載奉迎者は御召電車が中央大街に進入する迄は整列場所を移動せざること

五、舊市街の幼稚園兒、小學兒童普通學校兒童其の他の奉迎送者は露天掘事務所前に參集整列するを便とすべし其の要領は幼稚園兒小學校及普通學校兒童は車道の事務所に寄りたる側に其の他の一般奉迎送者は其の後口の步道に在りて高砂町停留所に面し整列すること、右の內團體は午前十時三十分迄に參集のこと其の他の一般奉迎送者も可成右時刻迄に參集のこと、然らざれば交通遮斷に遭遇することあり

午前十時三十三分御發の豫定なるを以てそれ迄待てば奉送申上ぐることを得べし

六、奉迎送は隨所に散亂孤立するは交通其他にも不便あるを以て成るべくは以上三、五の項に述べたる箇所に參集整列のこと、若し萬一時間等の關係にて已むを得ず沿道にて奉迎送をなすの外なき者は係員の指示に依り步道又は之に準ずる適當位置に集合整列すること

七、驛前より炭礦事務所前迄の間電車沿道は凡そ午前八時五十分より及午後零時四十分より、又榮橋より高砂町に到る間の電車線路に接する併行道路は凡そ午前十時前後より及午前十一時二十分前後より夫々二十分間交通停止さるべきに付其の際は他の道路によること、其の他御沿道を橫行する箇所も御召電車御通過前二十分間亦同じ

八、撫順驛御發着約四十分前より驛前廣場には諸車馬を停車又は乘入れざること、故に客待及來往者の爲に待つ諸車馬は一條通の東、西の差支なき位置又は永安大街、千金大街等の兩側に待避すること（御發着御通過の際車、馬上に居らざること）

三人組の强盜 把頭を襲ふ

拳銃を突きつけ威嚇

金品を强奪して逃走

十二日午後七時三十分頃撫順に於て亦も三人組强盜事件が突發した被害者は本籍河北省現撫順萬達屋四十三棟四號華工八百人位を使用する大把頭郭萬順（[illegible]）で同日午前九時老虎臺採炭事務所より賃銀金一千九十圓を受取つて來た事を嗅ぎつけた年齡二十七、八歲身長五尺五、六寸のモーゼル拳銃所持、三十七位五尺一寸のブローニング拳銃所持、三十歲丈五尺五寸位ローヤル拳銃所持、何れも山東訛りの三人組怪盜が襲ひ、郭萬順外家人に各拳銃をつきつけ高飛する旅費を貸せと强要するので、抽斗內より鮮銀十圓紙幣七枚を渡したるに、未だ大金がある筈だと强要したが晝頃苦力に賃銀を支拂つたからもうないと言ふや、衣類箱その他をかき廻し水晶眼鏡その他を强奪、被害者を日支境界線まで連行し、訴へると殺すぞと威嚇して逃走した、屆出と共に司法主任以下現場に急行したが犯罪後一時間十分を經過したる後なので何等手掛を得なかつた

奉天

稅捐局員が 亦も不法を働く

奉天署で一名を逮捕

支那側に嚴重抗議

十三日午後零時半頃宮島町丸一運送店取扱ひの角鐵馬車三臺を貨物ホームから信濃町三番地に運搬中北七條通りの境界道路に差掛つた際支那側稅捐局員二名が突然檢査要求をなし通行を阻止した爲め牛島同運送店主人がその筋へ屆け出たので、係官は現場にかけつけその不法局員を逮捕せんとした處、一名は逃走したが一名を逮捕の上本署に連行し目下取調中である、奉天署では行政權侵害として支那側に嚴重抗議をなす筈である

陸大生の動靜

秩父宮殿下と共に牛島少將に引率され來奉した陸大生五十一名は奉天驛に到着と共に別行動をとり市

吾等の町を語る

哈爾賓

更生に惱む人々

支人間に資本主義が瀰蔓

商工會議所會頭　加藤明氏談

現在の支那人は、封建的な思想、封建的な組織の堅殼を破つて資本主義的な思想の渦の中に、資本主義的な組織の流れに捲き込まれ、吾人の想像以上の惱みを續けて居る樣だ、嘗て見たことのない勞働爭議が此の哈爾賓にも偶に多くなつて來た、絕對的なりし主從の關係は單なる雇傭關係へと變りつゝある、彼等が堅守し來たつた家族に對する觀念も時代思潮に抗し難く遂に緩みを生じて來た、彼等を經濟戰場に於て强者たらしめた相互扶助的精神も崩壞の徵が見え、此の精神の下に生れ出でたる合記、號の組織にも龜裂を生じ始めた、斯くて新らしく現はれたる事實は資本主義的な思想と組織である、

◇

從來 家族中心なりし彼等は轉じて個人主義的傾向を帶て來た小規模なりし彼等の商賈は舊殼を脫して大資本大組織のものに變つて來た、同記、同發盛、公和利、恒順昌、双合盛、阜和親の如き大商社が出現し、中小商社は夫が壓迫に惱んで居る、油房の如き又製粉の如き企業も、小なるものより漸次大なるものへと轉移し、大資本家に獨占せらるゝ傾向顯著なるものがある、農村に於ては自作農減じ、小作農增加の傾向があり、大地主は年と共に增加して行く、支那人社會の主從關係は、頻發する勞働爭議は、彼等の誇りし商組織は、彼等の美德たる相互扶助的精神は、如何なる方向に、如何なる形態を以て進み且つ變つて行くか、

◇

それを知るは吾々にとつて興味深いものではあるが、彼等にとつては大きな惱みである、露人も亦別な意味に於て支那人以上の惱みを持つて居る、白系の露人は赤色化した東支鐵道との關係が從來の如く圓滑に運ばざるが爲めに東支鐵道を中心とする取引に於て企業に於て便宜を受け得なくなつた、一面支那人の侵出に依つて彼等の活動場面は押狹められて來た企業は壓迫され、勞働者は支那人苦力の爲に職を失ひ、手工業は支那人に奪はれて行く、赤の政治的壓迫の手は伸びて來る、斯くして彼等は精神的にも亦物質的にも惱みを續けて居る、

◇

赤系 露人の活動は露奉協定より東支鐵道問題を中心とする今回の露支事件の勃發までは目覺しいものがあつたが、爾後に於ては彼等自らが支那人との協調を叫ぶやうに、北滿侵出は困難となつた、彼等は既得權益の保持に、自國勢力の扶殖に努めては居るが、現下の一般情勢は彼等の努力を容るゝには餘りに地盤が堅い、彼等は伸び得ざる惱みを抱いて居るやうだ、歐米人は優秀なる商品と完備せる組織を以て日支兩國の商品を壓迫して來たが、日本品の向上支那商の進展により年と共に既設地盤を食ひ荒され、今は商品も蹤らぎ、組織の誇もなく、要するに彼等を特徵づけるものが少くなつた、彼等は今何處に新活路を求めるかに惱んでをるやうだ、

◇

日本 人も支那の政治的壓迫、支那人の排外運動、支那人の經濟的進出によつて活動力を殺がれ、手足が伸ばせない現狀にある、日本人も亦歐米人と等しく新活路を求むるが爲めに惱んで居る、斯くの如く哈爾賓の人々は夫々立場を異にして互に惱んで居る、即ち支那人は時代思潮の爲めに、白系露人は生存の爲めに、赤系露人は權益保持と再進出の爲めに、歐米人は新活路探求の爲めに、日本人は行詰打開の爲めに惱んで居る、かうした哈爾賓人の惱みを如何にして救ふべき乎は識者の考究を要することだと思ふ（寫眞は加藤氏）

公主嶺

兒童愛護デーの盛況

十三日の兒童デーには午前十時學校幼稚園でお伽噺會、午後一時校庭集合、旗行列、公園集合神社參拜、寶探し、男子相撲、女子ボール遊び、支那手品、高足をどり、おみやげもの分配等あり盛況を極めた

公取上旬狀況

公主嶺取引所の本月一日より十日に至る特產物先物取引狀況は依然硬軟の材料薄に相場は凡化し、就中大豆相場の灰汁拔けに惰氣滿々不振商狀を續け、唯高粱は小巾下押し安値狙ひの思惑筋の買浴びせ硬派の嫌氣投げの商內に軟弱氣配に在りしも、案外頭重く伸び惱みの商狀に推移、旬末は兩品共商狀釘付け鎮安を他所に先ボンヤリと越旬した、本期間中の取引高を示せば

大豆百八十七車、高粱八百三十六車の合計一千三十三車、大豆高粱公定相場最高最低調大洋建大豆五月十五日限最高二、一二二八、最低二、一〇二五（六月十五日限）最高二、一五〇〇、最低二、一一九一（七月十五日限）最高二、一七七五、最低二、一五三五、高粱大洋建五月十五日限最高一、三〇三五、最低一、二四八〇（六月十五日限）最高一、三三五〇、最低一、三二七七八（七月十五日限）最高一、三三五一八、最低一、三〇八四

加藤院長榮轉

公主嶺滿鐵病院長加藤榮氏は今回營口に榮轉、後任として瀋陽滿鐵病院醫長新井博士近く來任加藤院長は十五日赴任の豫定である

濱江雜俎

長春室町小學校で來る廿二日行はれる兵役關係者の壯丁體格檢査にハルビンからは十八名出所

◇

十七日午後一時から公會堂でハルビン輸入組合總會を開催するが、附議事項は昭和四年度の收支及組合の事業報告と本年度の計畫其他である

◇

軍人會館建築のため寄附した人々に對し十日一戶在鄉軍人會長からハルビン分會に褒狀と藥島、前田、廣瀨、楠市の三氏に木盃及感謝狀が到着した

松江餘滴

シベリー線で盜難に遭ふた財部全權の會計官湊少佐▲昨夜は十二時前に寢られると思ふたがまたそれを過ぎてネ▲と連日連夜の全權一行の公館會議を漏らした上▲僕は慾もとくもない、歸つたら三日程ブッ通して沸國を覺いた儘眠るばかりだ▲山高帽をふりかへつてみて「帽子まで盜れたのでこのカンカンを買つたのだが東京へはまさか冠つて行けまいネ」と山本浦さんに相談▲湊のやつヨーロッパへ行つたと思つてカンカンを冠つてやがると同僚から冷かされるだらうと今からカンカンの心配▲時計も一つは買はなければならぬがと言ふ▲山本さん懷中から時計を出して君これでよければどうかい▲英國で十圓で買つたのだが五年間のガランテーがすつかり金箔が剝げて眞鍮の地金でネとニタリ▲湊少佐紳士振り發揮であゝ急がしいこと

哈爾賓

發疹チブス 既に百九十餘名

約二割は死亡した

＝益々猖獗の模樣＝

發疹チブスの流行で本月に入つてからの隔離所に入院患者は百九十餘名に達し其のうち百名はロシヤ人であるが、この調子で盛夏に入ると病人は益々增加し死亡者も激增する危險あり、市の中央病院、市政局衞生課は消毒に努めてゐる然し隔離所に對する經費五千圓は既に消費し且つ財源は何處からも得られぬので十二分の豫備設備もできない狀態で非常に危險である死亡率は約二割見當になつてゐる

公園貸ボート

はけふから

昨今西公園の散步客がめつきり增加したので名物の貸ボートは去月十五日から開始すると、尙魚釣は六月早々からだと

人事

▲小倉地方事務所長　十三日遼陽往復
▲古仁所滿鐵奉天公所長　十二日夜歸奉
▲高柳本社々長　十二日來奉十三日歸連

四家孃獨唱會

廿五日高女で

奉天高等女學校同窓會では來る廿五日午後七時半から同校講堂に於て四家文子孃（杉山長谷夫氏ヴァイオリン伴奏）の獨唱會を同校講堂に於て開くことになつた、プログラムは近く決定、入場料大人一圓學生半額

町の便り

中見學の上午後二時からヤマトホテルで開かれた講演會に臨み、同夜は大丸、大星の兩旅館に投宿した

張學良氏の病氣はその後經過良好で九日省城內南門に出かけ初夏の散步氣分に浸り北陵の別邸に引揚げたと

◇

十一日西塔大街で逮捕された附屬地荒しの自動車强盜李明德（二二）は奉天署で取調べを終へ十二日支那側に引渡した

伊豆田巡査に謝電

警務局長から

既報、去る十一日日之出町に於て前科數犯の强賊と格鬪し逮捕した停車場派出所勤務伊豆田巡査に對して警務局から謝電を寄せて功績を表彰した

空巣狙が增えた

戶締其の他に御注意

昨今市民の戶外散策が多くなつたので例に依つて空巣狙ひがめつきり殖えた由であるから各自に注意が肝要である

長春

上海戲院の捕物 共產黨一味か

奉天方面と連絡の模樣

長春署に九名を引致

十一日午前八時に長春警察署高等係り井上警部始め特務刑事數名は日本橋通り上海戲院に踏み込み、楊經理外八名を引捕へ何事か取調べてゐたが、彼等は共產黨の一味らしく證據物件が擧がつたので調査した處、奉天方面の一味と連絡をとつて何事か畫策しつゝあつた形跡があるので引續き嚴重取調中

秋森助役着任

瓦房店保線區樽木助役は先般熊岳城に榮轉したが、其の後任として大連より秋森勇助役着任した

寸閑隨筆

落し文を拾ふて見れば「若葉青葉の時候となりました、此の次の日曜日には炎陽斜なる旭山公園あたりにてアナタ樣の眞白き腕をニギルのを樂みに致し參らせ候云々」變な手紙だ▲瓦房店の東三里のヶ所に東小古廟と云ふ結構壯麗を極めた神廟がある▲此處の廟主は當年取つて六十歲し老婆未だ嘗て穀類を食した事なく入封で精神を統一し幾多の病者を治する事限りなしと云ふ▲そこで鄕人相率ゐて此の大廟を建立したとの話

瓦房店

春季大祭協議

瓦房店神社春季大祭も旬日の間に迫りたるを以て之が方法に付十三日午後一時より社員俱樂部に於て各所屬長及び氏子總代等協議會を開いた

開原

財部全權一行

十四日通過

財部全權一行は十四日午後八時二十六分當驛通過南行した

兩視學挨拶

滿鐵の大久保、小田兩視學は新任挨拶の爲め十三日來開し地方事務所、小學校、公學堂、普通學校等を訪問し同日昌圖へ向け出發した

臨時列車

十四日から十七日まで

營口驛では十四日より十七日まで四日間大石橋娘々廟祭に際し臨時列車を運轉し割引乘車券を發行し乘客の便宜をはかると

吉林

警官語學試驗

成績は良好

吉林總領事館警察署では十二日午前九時より昭和五年度外務省警察官語學獎勵試驗を行つたが、受驗者は支那語六名、朝鮮語二名で何れも成績良好であつたと

人事

▲堀井覺太郎氏（吉林居留民會副會長）十二日大連に向ふ、同地より內地へ往復約三週間の豫定
▲峰旗良充氏（滿鐵囑託）十二日午前八時五分發大連に向ふ
▲久爾田孫兵衞氏（吉林辨事事務）歸省中の處十日歸任
▲細野喜市氏（吉林居留民會長）上京中の所十五日頃東京出發歸途に就く筈

安東

營林署員と結託し 木材を盜賣す

國際運輸の惡社員

檢擧されて取調中

新義州國際運輸の木材部員が元營林廠員と結託して營林署の木材を密賣せる事を新義州署で探知し嚴密裡に取調べ中である事は既報の通りなるが探聞するに、新義州國際運輸出張所の木材部係員根本清二、太田盛雄、伯正康、金時澤の四名何れも（假名）が營林署仕譯係員五十山仁男、看視古田某（何れも假名）と結託し營林署材の小割に共營木材會社の印を捺し工挪（營林署の拂下げの事）として賣拂利益を分配してゐたもので、檢擧の動機は右の小割の購買者が該捺印に不審を抱き同會社に照會したので同社から、警察署に取調方を依賴したものである、前記六名の外賣拂きを仲介した眞砂町元吉木材店員元英三（假名）も留置されてゐる、犯罪は本年一月頃よりで總額五千餘圓に上つてゐる模樣である

大石橋

けふは春祭り

神輿の渡御はないが

奉納試合を盛大に

今十五日は大石橋神社の春季大祭であるが、本年は娘々廟祭と同日となつた關係上、神輿の市中渡御を廢し、相撲、柔劍道、弓道等の奉納試合を盛に擧行する事となり既に準備に取りかゝつた、殊に北町の神社通りではしめ繩を張るやら幟を樹てるやら既に御祭氣分が溢つてゐる

湯崗子で兒童デー

小學校と社會課との主催で

◇十七日の朝出發◇

大石橋小學校並に社會課主催となり來る十七日は大石橋兒童デーとして湯崗子に赴き左記の通り實行する由

△期日十七日△場所湯崗子溫泉△出發及歸着午前七時十五分午後三時十分△行事入浴、宮殿下御居間拜觀、ドロ湯見學、水田見學、釣魚、寶探し

因に社員兒童の乘車券は學校で纏めて請求し、社員外兒童の乘車券は學校で用意してあるから各自に乘車賃銀を支拂ふ必要は無いと、又社員外父兄の方で同行希望者が二十名以上になる時は五割引となるから十四日午前中に社員外の方は金八十一錢を添へて主催者側に申出でられたしと

鐵嶺

罪の呵責から 警察で悶死す

國境を荒し廻つた

＝兇暴な不逞鮮人＝

去る七日鐵嶺署畔地警部補尹巡查張巡捕の三氏は午後八時頃鐵嶺縣下高家窩棚に赴き、潛伏中なりし不逞鮮人林元順（[illegible]）の所在搜查に着手せるも林は當日縣下小靑堆子金興鈔方に赴き不在と判明直ちに小靑堆子に赴き金方に踏み込んで難なく逮捕八日午前一時鐵嶺西方四十五支里双樹子に到着、同地公安局分所の一室を借受け

犯罪事實 訊問の結果同人は今より十年前興京縣の不逞鮮人團統義府の團員となり彰武揖安臨江吉林等國境附近に於て軍資金募集の爲め兇行を擅にしたもので、八年前彰武縣大靑溝に於て同樣軍資金募集に從事中同地居住の鮮農白炳賢（[illegible]）を絞殺し金二百圓を强奪し、同地池某を射擊負傷せしめて同人の妹を掠奪結婚し其他數々の罪を自白したが、旅細の儘休憩してゐる中午前四時頃突然

奇聲を發 し頻りに苦悶をはじめるので一同極力看護に努め手當を盡したが五時頃遂に絕命したので止むなく假埋葬に附し一先づ歸署し十一日醫師李識求氏を隨へ再び現場に出張屍體解剖の結果死因は腦溢血症と判明した、平素から罪の爲めに苦悶懊惱を續け居たる旨しみじみ述懷せるより見て自白後安堵の餘り急に異狀を呈したものと思はる

營口

營口、新民屯間の 直通貨物減稅案

あすから暫行辦法施行

營口の海關監督公署は營口新民屯間に於ける直通貨物に對して左の暫行的減稅辦法を制定し、十六日から施行する旨を布告した

一、貨物は種類の如何を問はず每噸の收稅を二元とす但一噸に滿たざるものは一噸として計算す
二、大豆豆粕は營瀋減稅法に準じて每噸收稅四角半とす
三、田莊臺より瀋陽通遼に至る直通雜穀は營口と同樣に辦理す
四、新民屯以東馬三家子、興隆店、巨流河各地より國有鐵道を以て輸送する雜穀の納稅辦法は新民屯と一律とす

春季競馬終る

豫想以上の大盛況

安東春季競馬大會最終日の十二日は高尾採公理事長カップ、宇佐美領事カップ並びに安東競馬俱樂部等の附加賞あるが爲人氣益々沸騰した、當日の成績は左の如くで、大盛裡に大會の幕を閉ぢた

第六日目

▲第一競馬　新抽千二百米、一着若駒二分二七秒三、二着俱力、三着雲閣、配當三圓二十錢
△第二競馬各抽千四百米、一着千兩一分五五秒二、二着扇城、三着勝姬、配當四圓
△第三競馬　新抽千四百米一着櫻島二分二八秒、二着老櫻、三着富士、配當五圓十錢
△第四競馬　新古呼馬千六百米一着紀伊二分一七秒三、二着稚美、三着白蓮、配當十一圓四十錢
△第五競馬　新抽千六百米一着鳴戶二分三八秒、二着滿天、三着神風、配當五圓八十錢
△第六競馬　各抽千八百米一着生駒二分二九秒、二着白駿、三着飛鳥
△第七競馬　新抽千八百米一着榮飛二分五五秒、二着放駒、三着清美、配當三圓四十錢
△第八競馬　新古呼馬二千米、一着觀覽山二分四六秒四、二着金剛、三着比叡、配當七圓八十錢
△第九競馬　各抽優勝競爭二千米一着津駒二分四七秒、二着三笠、三着淀、配當三十圓

二人殺の小野は 懲役十年の判決

被害者の實父から減刑願も出た

新義州府內旭町カフエー豐樂の二人殺し犯人小野正一（[illegible]）の判決は十二日新義州地方法院に於て言渡しがあつた、本件に就いては被害者の一人今田行夫の實父嘉吉氏は小野の爲めに減刑の嘆願書を裁判長に提出するなど淚ぐましい人情美の挿話が織込まれ其の成行は世間の注目する處となつたが檢事の十五年求刑に對し懲役十年を言渡され其の儘判決に服した

安東醫院の 屍室

七月未竣工

滿鐵安東醫院の屍室が從來其の規模狹小にして兎角批難の聲あり醫院當局に於ても之れが增改築を必要とし本社に申請中の處漸く認可となり目下起工中であるが、遲くも來る七月までには竣工の見込であると、尙工費約五萬圓を投じて新築される傳染病棟も近く起工の筈であるから、九月末には完成するであらう

軟式野球大會

廿日頃より

鴨江日報社主催の國境軟式野球大會は來る二十日頃より開催に決定したが具體的方法は近々主將會議を開き協議の結果決する筈で、尙本春よりは試合球を角ボールを廢し實體ボールを使用する事となつた

鞍山

鞍中の開校記念

けふ體育館で學藝會

鞍山中學校では十五日が開校記念日につき午前十時より體育館に於て學藝會を開催し一般の來觀を希望すると

海軍記念日

祝賀會の準備

安東縣在鄉軍人分會に於ては來る二十七日は恰も日本大海戰の二十五周年記念日に相當するを以て當日は陸軍記念日と同樣の祝賀會を開催すべく目下準備中である

昨年度變死者

平北の統計

平北保安課の調査したる昨年中管內變死者は內地人二十六人、朝鮮人九百六十九人、支那人二十七人合計一千二十二人の多數に上り、其のうち自殺者は內地人六人、朝鮮人百六十三人で、他は誤つて死亡したもの災害で死亡したもの殺人强盜の犯罪關係によるもので何んと言つても鮮人が第一位を示してゐる

印度の暴動は大部分は突發的

大都會に著しい反英思想

立法議會長は辭表提出

ガンヂーは遂に逮捕された、小規模の暴動が各所に續々と起つて居る、然し日本を十數倍したほどの大インドの事であり、所謂對英不服從運動に共鳴してゐる者が三億に餘るインド人全部といふわけでもなし、その上、精鋭な武器を携ふるイギリスの正規兵が駐屯してゐる事だし、今日の勢を以てしても將來大事に到るものとは、先づ考へられない

多くは突發的

暴動とはいへ、計畫的のものは殆どない、大抵は官憲や軍隊の彈壓行動に對する突發的反抗らしく見える、平素尊敬してゐる人々が逮捕された直後、或は官憲が團體示威運動を制止した場合などに起つたものが多い、最初に暴動、乃至反英行動の起つたのは、ボンベイ州、ベンゴール州と言つたやうな海に接近した地方であつた、その中でもボンベイ市とその附近、カルカッタ市とその附近などに起つたのが皮切りであつた、カルカッタは人口（百三十三萬）の點からいつてインド最大の都市である、ボンベイ（人口百十八萬）はこれに次ぐ大都會である、反英感情の鋭いものも比較的多い、然し今日では奥地の北西部から斜に東南部へかけて、點々と反英の火の手が揚げられた形になつてゐる、而して是等は何れも鐵道連絡のある、その地方々々の大都會である、尤も火の手が今猶盛に燃え立つてゐるのは外國綿布のボイコット位のものである、其他はいづれも勢が弱い、終熄したものもある、小競合は別として、最近暴動らしいものゝ起つた地方とその日時とを瞰次に列擧すれば左の如きものである

四月十一日ボンベイ（ボンベイ州）、十五日カルカッタ（ベンゴール州）、十六日カラチ（ボンベイ州）、十八日夜チッタゴング（カルカッタの附近）、二十三日ペシヤワール（北西國境州、アフガニスタンの東隣）等

飛行機で威嚇

右の中チッタゴングに起つたものは稍計畫的らしく、五六十名の暴徒が鐵道及び警察用の武器彈藥庫を襲ひ、イギリス人警部外巡査五名を射殺して、旋條銃一挺、短銃二十挺、歩兵銃五十五挺、彈藥若干を掠奪したといふ事である、而して一味の中逮捕されたのは十四五名、他の大部分は同地北方の密林の奥深く姿をくらましてゐる模様である、この事件はカルカッタ警察を極度に刺激し、その翌朝は全市に亘つて封鎖的警戒が行はれ、數臺の飛行機が絶えず市の上空を威嚇的に飛行した、シムラにあるインド政府は特別閣議を開き對策を凝らすといふ騷ぎであつた

ペシヤワールで起つたものは慘狀に於いて、今日までの中最も著るしいやうである、暴徒が警戒のため出動した裝甲自動車に石油を注いで放火し、イギリス兵二名を燒殺した、又一名のイギリス人警部をオートバイから引摺り卸して手斧で慘殺した、暴徒側では十二名の死者と多數の負傷者を出した右のやうなのは特別であるが普通暴徒の武器となつてゐるのは石片煉瓦片、石油などである、放火では去る十五日カルカッタで示威行列の一行が電車二臺を燒き拂つた事もある

インドの軍隊

インドの警察官は警視、警部といつた上役はいづれもイギリス人であるが、巡査は殆ど英印混血兒やインド人ばかりである、軍隊は總數の三分ノ一がイギリス人、三分ノ二がインド人といふ割合で、將校株は殆ど全部イギリス人である、インドには歩兵三、四十聯隊のほかに、騎兵、砲兵、航空兵などの聯隊も置いてある、而して是等はいづれも常に戰時編制となつてゐる、インド人の政治家は多年軍隊のインド化を主張してゐるがインド人にインドの國防は任せられないといふ口實の下に拒否されてゐる、インド人は今日でも砲兵隊や航空隊の將校に採用される事を絶對に許されてゐない、尚インド立法議會議長ヴイ・ジエー・パーテル氏は二十四日辭表を提出した、理由はインド政府の政治犯人に對する處置に關し政府と意見が合はないためらしい

廿一個條々約

無效論の再檢討

中華民國國恥記念日に當つて

法學士 渡邊龍策

【上】

廿一個條問題は既に充分討檢濟であるに拘らず、毎年今頃所謂國恥記念日前後になると大正四年の該日支條約無効論が蒸返される、條約問題に就ては何かと喧しい折角、國際法的秩序維持の一鎖として、この際該條約無效論を再吟味して見たいと思ふ

（一）無效論の第一理由

無效論の第一の理由とする所は大正四年の日支條約は支那の議會の協贊を經て居らぬが故に無效であると云ふのである。

併しこれは支那の現狀に於ては遺憾ながら、決して國際間に堂々として通用されるべき筋合のものではない。勿論、元首の條約締結權能に關する國內法上の制限、即ち議會の協贊を得べしとされてゐる國は多々ある。フランスにおいては講和條約及び通商財政等の一定の事項に關する條約は、議會の同意を得ざれば大統領は之を批准し得ないことゝなつて居るし、又ドイツに於ては、大統領が條約締結權を行ふも聯合國家の立法事項に關する條約はドイツ國議會の承諾を要するのである。アメリカ合衆國に於ては、總ての條約は大統領が出席議員の三分の二以上の表決を要する元老院の同意を經たる後に非ざれば締結する事を得ないのである。さうしてそれ等の國々に於ては、さうした事を規定した憲法は嚴然と國民を拘束し實施されて居るのである。然らば支那に於ても全く、アメリカの如くフランスの如くであると云ふ事が出來るであらうか。

假令支那に於ても憲法にさうした事が規定されて居やうとも、一般の國際的觀念を以て律せられることは不可能である。抑も元首の條約締結權能に對して國內法上の制限あるに拘らず、元首が勝手にその條約締結を爲した時は、その條約は國際法上無效であるとされるのは、國內法上の規定が當然國際法上に於て效力を有するが爲ではなくして、國際法が國內法規の規定を以て國際法上の事實と認むるが爲めである。支那の當時の憲法の規定が國際法上の事實として承認されるべきものなりや否やは、華府會議に於てイタリーの委員をして「支那とは何ぞや」と云ふ問を發せしめたといふ事を考へる時、思ひ半に過ぎるものがあらう。

元首の條約締結權に關して、支那當時の規定を探せば、民國三年五月一日公布の中華民國增修約法（所謂新約法）第二十五條「大總統は條約を締結するを得但し領土を變更し又は人民の負擔を增す時は立法院の同意を經るを要す」と云ふのに當らう。この新約法の成立經過をみると、それ以前の臨時約法（即ち舊約法）第五十四條「中華民國の憲法は國會にて制定す」の規定に基き、憲法制定の手續たる憲法起草委員會を組織せんとし、民國二年四月三十日起草委員の選擧を行つた結果、政府黨二十六名に對し反對黨三十三名、七月二日の補選による委員三十四名も大多數は國民黨に屬して居つたので、袁世凱は頻りに之を壓迫強要して十月五日大總統選擧法を公布に至らしめ、六日正式に大總統にされた。が更にクーデターを敢行し民國三年一月九日約法會議組織條例を公布し、この新約法を制定公布せしめたのである。だがこれも十二年憲法によつて代へられるに至つたのであるが、要するに斯の如くにして出來たものを、南北兩派共之を國家の基礎法として協力尊法の精神を發揮するなんてことは藥にしたくもないのである憲法の條文が如何に立派な文字に依つて綴られ、其の內容が如何に整備されて居つても、國民に憲法擁護の精神なく、爲政者亦その實施の誠意無ければ、それは一片の空文に等しい。ましてや國際法上の事實として認められることは望み得べくもない。

舊約法出でゝ間もなく廢され新約法之に代り、たゞ南北抗爭の下に蹂躪されるが如きものが、どうして儼然と國民の上に立つ國家の根本法而も國際法上の事實として認められ得べき憲法と云ふ事が出來ようか。それを議會の同意の有無を論じて、恰も往年國際聯盟加入問題で米國上院がウヰルソンを苦めたのと同樣の議論をなしてもそれは的はづれである。だが併し吾人は支那には永久に眞の意味の憲法なしと云ふのではない。今や五權憲法制定の機運漸く興りつゝある。法律尊重觀念の增進と相俟つて必ずや光輝ある制定の道を辿ることを望むものである。

反蔣標語

蔣中正正ならず 宋美齡美ならず

蔣介石反對の聲は全國的となつて來た、流石は文字の國、反對にもいろ〳〵の方法があつて最近次の樣な蔣介石側要人連を皮肉つた口頭禪が流行り出して來た

蔣皇帝（中正）正にして正ならず——中正は號
宋娘々（美齡）美にして美ならず——蔣介石夫人
胡大臣（漢民）民にして明ならず——民と明は同音
戴大臣（傳賢）賢にして賢ならず——戴天仇氏
王大臣（寵惠）寵にして寵されず

この外「賣國的蔣介石を打ち倒せ」「南京蔣家政府を打ち倒せ」「一切の蔣家走狗を掃除せよ」などといふ標語はザラに街頭に貼り出されてある

▲新刊批評▲

▲めでたき風景（小出楢重著）畫家楢重の隨筆集である、「めでたき風景」「グロテスク」「觀劇風景」「夏の都市風景」「秋の顏」「洋畫ではなぜ裸體畫を描くか」「やゝこしき漫筆」「現代美人風景」等々…何れも長くも數頁にまとめられた隨筆である、その觀察眼の古いやうでの新らしさ、畫家らしい感傷、さうしたものが言ひやうのない柔か味となつて溢れ出てゐる、所々に得意の谷崎か里見の文章を思はせるやうな筆端を加へてゐるは勿論、多方面な氏の面目が全面に躍如としてゐる、何れにしても最近また得難い好著たるを疑はない、裝幀、活字、用紙また本の內容の感を充分に現はしてゐる（定價一圓五十錢、四六版二百七十五頁、大阪西區靱上通一創元社發行）

海◇外◇消◇息

相手の顏が見える新發見の電話

米國で實驗に成功

テレヴイジヨンも段々進步して今日では電話をかけながら相手の顏が見えるやうにまでなつた、先日ニユーヨーク市で新聞記者が二哩離れた所からアメリカテレホーン・エンド・テレグラフ會社製のイコノホーンと稱する機械で實驗して見事に成功した、この機械には電話をかける時に薄暗いオレンヂ色の電燈をつけた電話室へ入り、青い光のさしてゐる所へ顏をもつてゆくと電話線を通して相手に顏が見えるやうになるのである、此の他色々な機械があるが專門家の話ではこれが實用化されるのはまだ遠い先のことであらうと

英宮內省でも大節約

宮殿奉仕者のお人減し

イギリス宮內省では最近節約の趣旨を以て漸次バッキンガム宮殿奉仕の宮內官の人減らしを斷行してゐる、此の淘汰は單に下々の召使たちだけに關してではなく、古來の典禮に依つて續いて來た上級官吏にも及ぼされ、現王朝の歷史上今日ほど宮內省內の人數が少くなつたことはない由である

家庭とコドモ

尊き母性愛
『母の日』の教訓 (中)
高崎能樹

[illegible]

母親は夢中

[illegible]

永遠不變の

[illegible]

母親の身に

[illegible]……が詩の種でありますがウォーヅウォースは特に註釋を加へて「…婦が白痴兒を探し得た喜びは世界を我子のものとした喜びよりもつと尊い喜びである」と申してゐます

即ち母親に　取つては白痴兒であつても、我が子は替へ難い寶であり已が望みであり、生命であるといふ様に申してゐるのであります、…きは親心で、たとへ子供より…感はなくとも、已が眞心のありたけを子供に注いで生きてゐるのであります、即ち報いらるゝ事無くも滿足し切つて、只子を愛する愛にのみ心を燃やしてゆくのであります。

[illegible]……務を離れて淡い光を照らしました。見れば瀧の落ちくる岩の上に一人の人影と一疋の馬の影とが見……

乳母車と搖籃
搖籃は癖になり易い

[illegible]……る事も好ましくないし、多の寒い風の吹く日や塵埃の多い時とか濕り氣の多い日、或ひは霧の深い日もよろしくありません、乳母車の構造としては窮屈なものを避けるべきであります、又通風の良いものを選ぶべき事、なほ時に内側をば掃除出來る樣に拵へたものゝ理想的と云へませう、乳母車に類するものとして搖籃に

＝赤ん坊＝ を乘せて搖すつて寢かせたりします、これは赤ん坊の發育の爲めに良くないと云ふ說が稱へられた事がありますが、その確實な證明はされて居りません、たゞ赤ん坊がはひ歩く時代になると、それが癖になり易いので、一寸面倒を感ずる場合があります、次に赤ん坊がはひ歩く時代になると手が埃のために汚れ、それがために傳染病に感染しやすいものであります、殊に結核に對する注意が肝要であります、西洋では這ひ歩く時代の

＝子供は＝ 柵の中に入れる事が行はれて居ります、柵の下部には車が付いて居り、赤ん坊が動く方面に移動するやうに出來て居ります、これは西洋風の屋内では當然必要でありませう

注意を要する
子供の食量

食事の時における食べ物の量についてはお母樣方は平生よく注意してゐて下さい、御飯の量の增減は子供の健康のバロメーターになります、身體の具合が惡くなりさうな時、運動不足なとき、心配事のあるときなど必ず御飯の量が減ります、これを放つておくと病氣になるものです、この時母親はよく注意して運動をすゝめたりする事にすればいつも子供の健康を保つてゐることが出來ます、病氣になつてしまつてからはもう手遲れです

新刊兒童教育書紹介

▲愛兒と家庭(五月號)　各小學校が一年生を迎へた月の編輯であるだけに一年生に關する記事が多い、「入學の日」を最も面白く讀んだ、尋常一年生の家庭への希望も一年生の兒童を持つ父兄の心得なければならぬ數々である、家庭で思ふの「入學後の長女を見る」は同じやうな思ひを持つ父兄が少くなからうと思ふ其の他讀むべき記事が多い、毎號のことであるが校長連がさつぱり筆を執らないのはどうしたことか、少壯教育家を啓發する上からも父兄を導く上からも、こうした自分達の言論發表機關を活用しないのは大いなる矛盾だ(二十五錢大連奬學會)

▲子供の教養(五月號)　母のための育兒雜誌として優秀なものである、母は職業が使命か、子供の運動について、兒童の宗教、子供の喧嘩の善導等いゝ記事が滿載されてゐる(三十錢東京市杉並町子供の教養社)

大チャンノ モウジウガリ (102)
ハルミチ作　ジラウ畫

「ウワバミダ!」ドジンドモノ ケタタマシイコヱニ 大チャンハ ナニゴコロナク ウシロヲフリカヘツテミルト セメントダルホドモ フドサノアル オホキナ ウワバミ ガ キ ノ ウヘカラ ジドウシヤ ノ マドヲ ノゾキコモウトシテキマス、

「アツ!」大チャン ハ ビツクリシテ テツパウ ヲモツタママ ジドウシヤノ ウヘ カラ トビオリマシタ、ヲヂサンモ ツヅイテ トビオリマシタ、ウワバミ ハ ナガイ シタヲ ペロペロ ダシナガラ ダンダン オリテキマス、

これは意外……
農村生活者は
都會住民より不健康
内務省衞生局調査

[illegible]……査中であつたが、その結果によると、從來農村は健康地であると一般に信ぜられてゐたのであるが、事實は全くこれを裏切つて

◇…不健康者が　寧ろ都市の住民のそれよりも多い事が判明した、即ちその健康診斷を行つた結果一人平均一・五五の疾病を持つてゐて、農民は誰しも一疾病以上の病氣を持つてゐると云つた狀態である、内務省が直接調査した靜岡縣宇刈村、山口縣平川村、福井縣栗田部村、秋田縣富根村、愛媛縣清水村、佐賀縣佐留志村、群馬縣鄕谷村の七ケ村のみの成績によつて見ても

◇…農村住民で　何等の異常疾病のないものは農村の約一割に過ぎず、他の七割强は不健康者であつた、就中農村民の病氣の最も多いのは寄生蟲で七割三分を占めてゐる、又口腔及咽喉の病氣も可なり多く四割二分がこれに冒されてゐる、その他トラホーム、呼吸器、消化器、皮膚、循環器、畸形不具癈疾、神經系統の疾患の順序であるが、此の外に花柳病、精神病等も相當多く農村民の大いに心すべきところである

カメラ遍歴
大連郵便局の巻
—その一—

「行く年よ京へとならば狀一つ」元祿以前の俳人北村湖春が思ふやうに便りも出來ないまゝならぬ世を嘲つたのも往時の夢、今はたつた一錢五厘で臺灣の果から樺太の果まで思ひのまゝの通信の出來る便利な世の中である、現在大連郵便局が日々呑吐してゐる郵便物は通常郵便物だけで其の數十數萬、其の他各種の郵便物を合せれば實に夥だしい數に上る、これら多數の郵便物が如何なる人々の手を經如何なる經路を辿つて發着しつゝあるかは我々文化人の知らねばならぬ常識の一つである

日本橋畔の一角に堂々たる巨軀を横たへて四邊を威壓してゐる四階建のモダーン新局舍は過般完全に工事を畢へ目下内部の設備を急いでゐるが、そのお隣にこれは赤煉瓦にも黒く煤けたロシヤ時代の遺物、これが今日まで滿洲に於ける通信機關の神經中樞であつた大連郵便局なのである

◆　◆

監部通りに面したトンネルのやうな入口を入つて左に折れ、お化けの出さうな薄暗い階段を上りつめると三階の一隅が局長の室である、早速和多野局長から郵便に關する話を聞く

◆　◆

先づ通常郵便物はポストからスタートを切る、現在市内には九十四個のポストがあるが九名の通信夫が夫々受持ち區域を定めて一日六回集めに行く、市外はぐつと回數が減つて一日僅に一回だから集めて行つたすぐあとにでも投函しやうものなら完全に二十四時間はポストの中に逗留せしめられる譯である、そこへ行くと局前のポストは一日三十回で流石に回數が多い、しかし今度出來た新局舍内のポストは絶えず回轉してゐるベルトによつて係員の机と連接し、投函と同時に手紙は自働的に係の手許に送られやうといふスピード時代にふさはしい施設である

◆　◆

さて大連局に蒐集された之等の郵便物は係員の手によつて重量、種別の認定、料金の適否、切手類の正否、封緘及包裝の適否、禁制品封入の有無等を一々檢査し、それが濟むと宛先によつて自局配達のものと他局に送るものとを區別し、それと同時に引受けの證として日附印を押す、從來は一々係員がコツ〳〵スタンプを手で押してゐたのであるが今はアウトマチックスタンプを用ひ自働的に一分間六百餘通の素晴らしいスピードで消印を押してしまふ、大連郵便局には此のアウトマチックスタンプが二臺備へられてゐるから年末年始のやうに通信が輻輳する時でも餘裕綽々たるものである、斯くて消印を終つた郵便物は宛先によつて内地は縣別に滿洲朝鮮は更に小區分されて所定の棚に一旦納められるのであるが、これからの仕事が大變だ

寫眞說明
ヒ＝自働的にスタンプを押すアウトマチックスタンプ器
下＝郵便物を縣別に區分けする棚
人物寫眞＝和多野大連郵便局長

探偵小說 女妖（89）

江戸川亂步作　横溝正史
伊藤幾久造畫

古塔の老婆（九）

その翌日瀧子は小夏を伴つて巴里へ歸ることとなつた。他に寄邊とてない小夏を、瀧子はこのまゝ捨て置ることが出來なかつた。殊にこの小さな少女も、河内兵部の子孫とあつては、何時、例の恐ろしい毒手が振りかざされて來ないものでもない。

さう考へると、瀧子は一層彼女をこの村に捨て行く事が出來なかつた。

村の人々は一も二もなく喜んだ。殊に當の本人小夏は、まだ幼いながらにも華やかな巴里へ行けると聞いて、有頂天になつて喜んでゐた。おかげでお利枝婆あんの死も、彼女には何でもないやうに見えた。

急に小夏を連れて行く事になつたので、瀧子の出發は何やかやと忙がしかつた。が、やがて、總ての打合せをすませて、愈々馬車に乘らうとした時である。

瀧子を始め一同は、ふと小夏の姿が見えない事に氣がついた。

「おや、小夏ちやんはどうしたのだらう？」

瀧子は他の人を振返つて訊ねた。

「小夏ちやん——小夏ちやん——もう行くんだぞ。巴里へ行くんだぞゥ」

側に居合せた人々は口を揃へて呼んで見た。然し、あどけない小夏の姿は何處からも出て來ない。

「どうしたんだらう。たつた今迄其處いらにゐたのに……」

「おかしいな。一寸待つてゐておくんなさい僕が探して來ませう」

宿屋の若い給仕はさう言ひ捨ると人々を蹴して表へ出て行つた。

瀧子等は暫くそれを待つてゐたが、仲々歸つて來る模樣はない。汽車の時間は刻々に迫つて來るし、この汽車を逃せば、又明日迄一晩この村に過さねばならないのだ。

瀧子はだん／＼と不安と焦燥にかられていら／＼して來た。

其處へ、給仕が郵便配達を伴つて歸つて來た。

「小夏ちやんはこの邊には見えませんよ。この郵便屋さんがつい今しがた街道の方で見かけましたつて？」

「え？街道の方で……？」

瀧子は思はず息を喘ませる。

「一體、何處へ行つたんだらう。一人でしたか？」

「いいえ、一人ぢやありません。若い、美しい紳士と二人でした。紳士は小夏ちやんの手を引いて、急ぎ足に河内莊の方へ歩いてゐましたよ」

「え？若い紳士と河内莊の方へ？」

瀧子はヘツと胸をつかれた。若い紳士と言へば、今日河内莊を訪れたあの紳士の事ではなからうか。お利枝婆さんの臨終の言葉によれば、彼女を殺したのもその若い紳士らしいのである。その紳士が、今小夏を引連れて河内莊の方へ急いでゐる——瀧子は急に恐ろしい戰慄を體内に感じた。

彼女は急いで馬車に飛乘るや否や大聲で叫んだ。

「河内莊へやつて下さい。一刻も愚圖々々してはゐられません。さアどなたでも勇氣のある方はこの馬車に乘つて下さい。小夏ちやんの身が危い。大變です！」

ぐるりに居合せた人々は、瀧子のその言葉をきくと、一瞬間ためらつた。が、例の宿屋の給仕が

「ぢや、僕が行きませう」

と飛びのつたのを最初に、數名の男がバラ／＼と馬車に飛びのつた。

馬に一鞭！

馬車は疾風のやうに河内莊さして急ぐ。

行く手は雨か風か？

瀧子は蒼白い、緊張し切つた顔で、凝つと前方に眼をすえてゐた。

砂塵吹き揚る中に陸上競技を御覽

きのふ午後滿洲醫大において

御滯奉中の秩父宮殿下

【奉天特電十四日發】十四日朝文官屯の御見學を終らせられ御歸奉遊ばされた殿下には御疲れを御厭ひもなくホテルで御晝食の上直ちに醫大における御親閲および全滿インターカレッヂ競技會に御臨場遊ばされた、この日朝來風吹き砂塵濛々と吹き揚げてゐたが拜觀の光榮に浴せんものと、正午すぎより小學校その他團體の人々つめかけ殿下の御來場を御待ち申し上げた、殿下には午後二時十分御臨場奥山醫大主事の御先導で右入口より御入場役員、教專、工專、醫大、小學生の各選手に御會釋を賜はり中央設けの席に御就きになれば十川彌市氏は醫大音樂隊の吹奏する君ケ代と共に御座前のポールに日章旗を揭げいよいよ競技を開始した、殿下には

突風を物 とも遊ばされず軍帽の顎紐をかけられ奥山主事の御說明で競技を御覽になり三時四十分御機嫌麗しく全員奉送の裡にホテルに御歸還遊ばされた

御道筋

一、ヤマトホテルより浪速通を經て奉天驛
二、公主嶺驛ホームにて御賜謁
三、公主嶺驛より北へ泰平通を一直線に試驗場へ
四、試驗場前より左折し更に溫室東側を左に畜産道路に出で又一直線に畜産課へ
五、畜産課より試驗場前に逆行し霞町に出で同町一、二丁目を經て將校集會所へ
六、集會所より武士道に出て右折して陸軍道路を經て守備隊へ
七、守備隊營門より陸軍道路を橫斷司令官官邸へ
八、司令官官邸より陸軍道路武士道を經て集會所へ
九、集會所より武士道陸軍道路を經て司令官官邸へ

台覽競技の成績

台覽競技の成績は左の如くである

▲棒高跳　一等久恒木隱(工專)三米六三A、二等西田良智(工專)三米四〇、三等宮田誠作(教專)三米三〇最初の高さ二米七〇で開始したが醫大二名は二米九〇で落ち久恒好調をつゞけて勝つ

▲千五百米競走　一着成毛侃治(醫大)四分四二秒八、二着江刺家鐵夫(醫大)三着森崎一郎(教專)成毛終始トップを切り六十米の差で勝つたがタイムとしては見る可きものではない

▲槍投　一等川野達也(教專)四九米八二、二等伊藤英策(醫大)四六米三一三、三等晴山昌邦(醫大)四二米一〇川野ラストに五十米ラインを越したがファウルす

▲小學生四百米リレー　一着彌生チーム(橋野亨、山川繁、山崎照男、星野邦彥)二着春日チーム、三着教專附屬チーム、四着敷島チーム、五着加茂チーム、彌生フライング一回の後出で、第二走者頑張つて敷島を拔き星野力走して各チームを引き放つて斷然勝つ

▲一千米メドレーリレー　一着醫大チーム、二着教專チーム、三着工專チーム百、二百、三百まで教專トップを切り醫大約四十米を離されてゐたが醫大の今井力走ストレートに入るころ前二者に迫りゴール三十米附近で教專を拔き約二米の差で勝つ

秩父宮、十六日に公主嶺を御視察

目下奉天御滯在中の秩父宮殿下には十六日奉天御發、公主嶺に赴かせられ各方面を御視察遊ばされる御豫定であるが、十六日の御日程は左の如くである

▲午前七時五十分ヤマトホテル御出發▲同八時奉天驛御出發▲午後零時五十分公主嶺驛御着賜謁(驛ホーム)▲同一時十分農事試驗場御成▲同三時五分將校集會所御着(寺內中將御講話)▲同三時四十分守備隊兵營御見學(守備隊司令官御誘導)▲同五時五十分將校集會所裏庭に於て守備隊司令官御招宴台臨

秩父宮に伺候

仙石總裁安東へ

星ヶ浦別莊にて靜養中の仙石滿鐵總裁は一兩日前より快方に向ひつゝあるが沿線御視察中にあらせられる秩父宮殿下に伺候のため來る二十一日頃大連出發安東へ赴く筈で鍋島秘書のほか山崎文書課長も多分隨行することにならう、尙總裁は殿下伺候後奉天、撫順、鞍山を視察の豫定だといふ

お待ちかねの滿鐵慰安車

愈よけふ大連を出發

娛樂物を滿載して

一切の都會的な娛樂機關と慰安の機會から遮斷されて荒凉たる沿線の中間驛に働いてゐる數萬の日、支鐵道現業員とその家族達を年に一回訪れる滿鐵社會課の慰安車……わけても現業員家族の少年、少女達が待ちこがれてゐる本年度春季の慰安車は十五日十三時四十五分大連驛を發して十六日文官屯を

振出し に約四十日間の豫定で全線中間驛現業員慰問の途に上ることゝなつた、慰安車はラヂオ、活動寫眞、蓄音機、圍碁、將棋その他の慰安、實用品を除いた一切の娛樂器具を滿載した娛樂車、日常生活品、食料、野菜、魚類まで積込んだ消費組合の販賣車、事務室を兼ねた子供服販賣車の三輛よりなり係員として社會課の慰藉係員は總動員で七名乘込みこれに消費組合員六名が加はり每日朝までに次の開催地に移動し八時頃から買物に殺到する現業員

家族達 と應接し、夜は十二時頃まで日、支人それぞれ向きの活動寫眞の映寫に奮闘するわけであるが、巡回中に賣切れた商品魚類等は電報で新鮮なのを次から〳〵補充する計畫で、映畫も本年から邦人向と中國人向と區別し中國人現業員並に家族達を出來るだけ多く觀覽せしむるため野外にスクリーンを張つて中國人向漫畫、喜劇等を見せる筈であると

大連神社月次祭

十五日午前十時より氏子代參當番町若狹町區の氏子役員等參列のうへ執行、當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し神酒供物を頒與すると

賀陽大妃宮 腦貧血

に罹らせらる

【東京十四日發電】賀陽宮大妃好子殿下には十四日朝天沼御別邸において輕い腦貧血に罹らせられ高木軍醫正の拜診を受けさせられたが午後は別狀あらせられず御心配申し上ぐる程ではない由午後三時宮內省より公式發表された

退職辭令の取り消しを訴願

小學教員が知事を相手取り

【東京十四日發電】東京府下王子第一尋常小學校の元訓導三名は牛塚東京府知事を相手取り田中文相に對し退職辭令取り消しの裁斷を要求する訴願を提出したこの種の訴願は今回が始めてゞこれに刺戟されて今後も續出するものと見られ判決の結果は非常に注目されてゐる

議院騷擾取調べ

檢事局活動を開始

【東京十四日發電】東京地方裁判所檢事局では十四日午後三時より代議士志賀和多利氏に係る傷害事件につき告發者たる原、小久江兩代議士並びに重要參考人として木暮代議士を召喚取り調べを行ふ處あり更に東、庄司兩氏の公務執行妨害の告發に對しては土屋、小山柵瀨、濱野氏等を參考人として取り調を行つた

愈よ取調開始

【東京十四日發電】民政黨の賴母木桂吉氏を毆打負傷せしめた志賀代議士に係る傷害事件につき、東京檢事局市原檢事から十三日鹽野檢事正に報告したので、鹽野檢事正は松坂次席檢事と協議の末松坂次席檢事を主任として取調べを開始するに決した

賴母木氏容體良好

【東京十四日發電】賴母木氏の容體は今朝は氣分やゝ良好で家人と對話してゐる

圖畫教科書原畫展覽會

來る十六日から十八日まで每日午前九時から午後五時まで市內敷島町商工會議所で圖畫教科書原畫展覽會が開らかれるが、會場には東京圖畫教育研究會所藏の圖畫教科書原畫とその高級印刷畫八十數點および石川寅治、南薰造畫伯等の水彩畫、鉛筆畫作品二十數點をも陳列すると

海軍記念日の色んな催し

海軍協會支部で決定

來る二十七日の海軍記念日に海軍協會大連支部では十四日午後三時から市役所で幹事會を開き協議の結果、當日午後一時五十五分から春日池の畔にゼット旗を揭揚し同二時から煙火を利用して軍艦を打ち揚げこれに二十五日旅順から廻航した驅逐艦「桑」の機關銃隊が參加し空中模擬戰を行ひ、同二時三十分からは池中の模擬軍艦二隻に對し水雷爆破を行ひ、樂隊を編成して行進曲その他を演奏、且つ驅逐隊は種々のラッパを吹奏、同四時からは特に青年訓練所入所生を「桑」に便乘させ海上で種々の諸技演習を爲し老虎灘沖から探照燈を照す事にした、尙二十五、二十六の兩夜は協會にて「桑」乘組員を市中の各活動寫眞館に招待しその勞を犒ふ事にした、因に「桑」は二十八日午後旅順に歸航の豫定である

ジヤズの影に狂ふカフエーの火の車

チップは驚く勿れ一晩二十錢也

電燈料も拂へない

ジヤズ狂燥時代とお手輕安直に享樂を追ふ社會的要求に煽られて、二三年來大連のカフエーは雨後の筍のやうに簇生し現在、婦人子供まで入れて人口九萬の大連市內に約七十のカフエーが三百人の女給を擁して夕闇に脂粉を漂はし酒とジャズのカクテルを歡樂の燈に吹き飛ばしてゐるが、表面の華やかさに比べて裏面の經營の困難は可成り甚だしく

お臺所は 火の車がジヤズと踊つてゐるのが多い、現に最近商賣に最も肝腎な電燈代が拂へず電燈會社から送電停止されやうとしてゐるカフエーが五、六軒ある普通のカフエーで一ケ月の電氣代は百八、九十圓で、不況の今日、賣上げが電氣代にも及ばぬところがあり、ビール代が支拂へず雜貨屋から差押へられたりする慘狀である、ソバ屋その他の飲食店が競つてカフエーに仕替へ

競爭者が 多くなつた結果今やカフエー凋落の悲境時代に入り、水商賣の字の如く次から次へと經營者が變り、店の名を變へて何かと切拔け策を講じてゐるが一向に目も吹かず、從つて女給の收入等もお話にならぬ程で、悲い時には一晩に三人の客を持つて漸くチップ二十錢といふこともあるとはカフエー女給の打明け話

一千八百年もたつた完全な古墳發掘

蓋平河で滿洲考古學會員が

斯界に得難い資料

◇…**滿洲** 考古學會では高麗古墳及び貝塚研究のため去る十一日、會員一行十六名が蓋平に赴き古墳發掘に從事したが、附屬地接壤地たる蓋平河の斷崖にて二つ發掘した古墳のうち、南側の一つには圖らずも埋葬せる狀態その儘の完全な古墳を發見した、同古墳は漢代なもので驚くとも千八百年以上經過せるものであるが、發掘せるものは

◇…**人間** の腰骨、大腿骨上下顎骨、及び齒、婦人十個、馬上盃、水甕二つ、石炭を彫刻した駒犬、素燒きで造つた木履の模型、香盒、陶棺の模型、家屋の屋根、その他鳥骨、獸骨もあつた、しかもすべてこれ等のものは埋葬狀態のまゝの位置を完全に持してゐたので當時の生活狀態を知るに得難い資料となり、家屋の屋根の狀態から當時の建築樣式も判明し、また當時木履を使用したことは

◇…**文獻** にはあつたが今回初めて木履の模型の發掘によつて右の事實が確められたほど考古學研究上、貢獻するところ大いなるものといはれてゐる、なほ同發掘物は全部、山城町の滿蒙資源館に藏せられてある、右について一行中の石田貞藏氏は語る

今回の發掘は鞍山中學の梅本教諭が主として當り綿密に寫眞もとりましたが滿鐵調査課囑託の八木氏の鑑定によつていよいよ貴重なものと判明しました、人骨は婦人のものらしいですが、とにかく埋葬したまゝあつたことは

◇…**當時** の生活樣式等の研究にとつて非常に益することがあり、こんな完全な古墳を發掘したのは初めてです、蓋平河のあの近所には未だ珍らしい古墳が澤山あるので今後時々發掘をやりたいと思ひますが、史蹟保存とかで喧しくいはれ仕事がやり難くゝて困ります

惠比須神社の緣日を定む

信濃町市場の繁榮策に

大連信濃町市場では敬神の念を喚起し併せて市場繁榮の目的から五月から十月まで每月二十日、二十一日の兩日を市場構內に祀る惠比須神社の緣日と定めこの兩日を特に現金廉賣デーとし現金買に限り一割引とし夜間は十時まで營業する事にしたが、また特價品その他割引出來難い商品は店頭に揭示し特價提供品は一定の場所に集めて販賣する事になつた、なほ露店の營業も許し餘興として喜劇曾我廼家五郞蝶勸を公開し、紅提灯百五十個と且つ日本麥酒會社から寄贈された岐阜提灯五百個を吊るし同緣日本麥酒會社より寄贈されたロール旗五百筋を市場內廊下店頭等に交叉し大いに景氣を添へやうと云ふ段取りで準備を進めてゐる、惠比須神社の緣日は滿洲で初めての催しであるから兩日は相當賑ふ事であらう

四平街驛貨物係きのふ遂に罷業

貨物連絡不能となる

【四平街十四日發電】四洮鐵路局四平街驛貨物係員全部十四日朝より罷業をなし連絡貨物の取扱ひ不能となつた、原因は十三日午後三時頃同驛貨物係員と荷主側店員との間に爭ひを生じ貨物係員一名警察に拘引されたのによる反感らしいと

愈よ三分時計沿線電話局に

遞信局で注文中の市外通話時間監視用の「テレホノメーター」俗に三分時計といはれてゐる時計百個がこの程納入になつたので旅順、普蘭店、大石橋、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、范家屯、長春、安東縣の各電話局市外交換臺に裝置することになつた、この三分時計は奉天局自働電話および大連中央電話局に使用されて好成績を擧げてゐるので、前記各局でも裝置完了のうへは通話時間の打切正確となり市外電話回線の能率にも好影響をもたらすであらうと期待されてゐる

金剛山ゆきの乘車賃割引

朝鮮および滿鐵兩鐵道では金剛山を紹介する意味から一般個人乘客に滿鐵二割、鮮鐵三割、學校教職員、學生、生徒には滿鐵五割鮮鐵四割として本月十五日からこれを實施することに決定した、但し各乘車驛から金剛山への往復乘車券に限るとのことである、なほ朝鮮總督府では金剛山を國立公園にする計畫であるが金剛山の方でも旅館その他總て多期も營業を繼續して探勝者のため便宜を圖ることになつた模樣である

吉林北平間直通

來七月から運轉決定

【吉林特電十四日發】過般天津における北寧、瀋海、吉海、吉敦等各鐵路聯絡會議で吉林北平間乘客直通列車運行について申合せたが右につき吉海側の發表する所に依れば、愈々來る七月一日より實行する事に決定したと

實業入りの中川選手

前大每外野手

本社主催の實滿野球戰も目前に迫り滿俱實業兩選手は連日猛練習に必死となつてゐるが、かねて實業團に新入の噂あつた大物打ち、前大每の中川金三選手が十四日二十時三十分着の急行で來連した、驛のプラットホームに喜色を浮べて出迎へた實業團安藤、岩瀨、中島其他多數の選手關係者等に包まれながら同選手は優しい聲で語る

明治大學では外野をやり湯淺投手時代に黃金時代を作り米國遠征を試みました、大連は明治時代に二回來ました、あこがれの地に來たことを喜んでゐます、實業團の一員として球界のために一心にやりたいと思ひます、私は一昨年末大每退社後大阪の自分の家にゐましたが、關西は矢張り中等學校の野球が一番盛んです、專門程度では目下洋行中の關大でせう

氏は下關中學では投手として中國に名を馳せ明治に入つては外野手となり、大每入社後も依然外野手として働らき大物打ちとして日本に有名な選手であるが氏は大連では三井生命に入社の豫定である

帝法第一回戰

法政先づ勝つ

【東京十四日發電】帝法野球第一回戰は午後三時天知(球)新田、三宅(壘)審判の下に帝大先攻にて開戰五A對四で帝大惜敗し五時九分閉戰した

バッテリー　帝大(古館、野本、小林)法政(若林、西垣、倉)

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
法政	0	0	0	1	2	0	0	0	2A	5A

新しい十圓札

【東京十四日發電】日本銀行にては今回新樣式の十圓兌換券を五月二十一日から流通せしむる事となつた

學術講演會

滿洲電氣協會が

滿洲電氣協會では住友電線技師長志田文雄氏、瑞西ブラウンボベリー會社技師ゼー・スチューダー氏の來連を機とし、滿鐵社員俱樂部で左記日割で電氣學術講演會を開催するが、一般來聽を歡迎すると

▲第一日 十六日(金)午後四時半から「動力用電纜特に特高用T・S・L型並超特高用油充塡式電纜に就て」志田氏▲第二日十七日(土)午後四時半から「電話用電纜、特に長距離用重信電話電纜並にアルミナム送電線に就て」志田氏▲第三日、二十日(火)午後四時半から「新デイスタンスクレイに依る送電線の選擇遮斷に就て」(通譯附)ゼー、スチューダー氏

連鎖商店運動會

十五日午前十時より市內連鎖商店街では大連運動場において聯合運動會を開催すると

モダーンな患者運搬車

大連醫院で購入

大連醫院では米國スチュード・ベーカ會社より六千五百圓で買入れた患者運搬用自動車が此程到着したのでいよいよ十五日より使用されることゝなつたが、同車は擔架併用の寢臺が付き頗るモダーンなもので、料金は遠近を問はず三圓均一である

內地畜産界視察

關東廳倉賀野技師は十九日から約一ケ月の豫定で東京及び岩手、山口各府縣に出張岩手縣においては同廳種馬所の種馬三頭、及び農事試驗場用小岩井農場産牡牛一頭を購入し山口縣では肉用種牛調査、東京においては農林省、陸軍省に於て種馬補給に關する打合せをなす由

善導大師法要

今年は淨土敎の高祖善導大師入滅後一千二百五十年に相當するといふので、大連明照寺住職吉武堯雨師を初め內地淨土宗の僧侶ら十九人が青島北平、奉天等を巡錫し遠忌法要を修する筈であるが、大連の明照寺にては十六日午後一時から法要を營むことになつてゐる

南高家族會

來る十八日午前九時から星ヶ浦ホテル前海岸において南高青年團主催にて同郡出身者家族會を催すにつき希望者は市內山縣通チェーリー商會吉田又藏氏宛(電七二一二番)に申込まれたいと、會費は一家族金一圓

■日活現代劇臺本より■

この母を見よ

畸面座同人構成

映畫キャスト

原作　エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色　八木保太郎
監督　田坂具隆
撮影　伊佐山三郎
父　桑木元　南部章三
母　倭子　瀧花久子
子　中子　松平千鶴子
街の女　靜子　入江たか子
乾氏夫人　英　百合子
おみつ　佐久間妙子
臼田夫人　津島ルイ子
娘瑠璃子　小西節子
婦人用品店主　常盤操子
よ　ね　島村靜子
滿村　等　大原仁美
大村書店主　村田廣壽

倭子はつッと横を向いた。愛兒中子のあどけない寢顏、その規則正しい寢息は、彼女の眠りの安らかであることを證據立てゝゐた。

二時過ぎ——

倭子は急に決心したらしく自分を取卷く心の痛みや恐れを拂ひのけるやうに強く頭を振つた。そして低いが力強い聲で呟いた。

新しい生活へ

雄々しく美しいその聲！

未來への第一日だわ

白い手、ふくよかな腕、しなやかな腰、彼女は亡き夫、桑木元の寫眞を掻き抱いた。

彼女の過去

嗟春の公園——

私達の或者は幸ひにしてその一生を正直に貞淑に幸福に過すがしかし、また多くの或者はパンのため、安息のために血みどろの足で地上を行き無量の涙を絞り苦しく喘ぎ痛ましく罪を犯し次第に汚濁の淵に沈み遂ひには饑餓に死んで行かねばならない

この一篇の物語りは世に入られざりし一女性の生活記錄の一斷想である

目立つものは屍不入の上の素燒の水差だけ、潔癖子は殆つて臘は汚れた見窄らしい部屋の內部、紙の傘をつけた電燈の光が薄暗い。

小さい眼覺時計は一時……

しかし若い母親倭子は眠れなかつた。黑い喪服をつけた膝、髮のほつれ毛を拂ひもせず掌に頰を支へて、ジッと膝頭に見入つてゐた。嚙むやうな心の痛みが彼女の白い額に幾筋かの深い皺を刻みつけ眼には涙が一杯で腕は切なさうに打ち顫ふてゐた。

一時半——

あでやかな花の咲き誇つてゐる花壇、美しい樺の林、秋には果實が見事に實るのであらう果樹園へ遠く刈り込まれた芝生のつゞき……。

若くて健やかな酬鯢な大學教授桑木元は、美しい妻子と共に樂しい一日を公園の芝生で過してゐた。

夕暮れ——

眞紅に染まつた西の空は幸福そのものを照らすやうに輝いて三人の影は長く地に落ちてゐた。

春の夜の情緒は大空に描くスカイサインの光にはじまる。

公園を出た三人の姿は賑やかな支那料理店の中に見出された。

ナ子ちやん、おいしい？

優しい美しい母親、教養に富んだ父の慈愛、曇りのない小女の快活、この一家程幸福な家庭はないかの如く見える。

樂しい我が家へ急ぐ親子三人。

玄關に出迎えた女中のおよねを加へた一家四人の笑ひは續けられた。

お父さま、有難うナ子ちやんは本當に嬉しかつたわ

桑木も嬉し相に微笑み乍らレコードをかけてゐた。

神の全ての祝福を受けてゐるかの如き一家ではあつたが

【寫眞は南部章三、瀧花久子、松平千鶴子】

滿日文藝

滿日俳壇

島田靑峰選

芦の芽

○　大連　永井　傘月
芦の芽や日溜りに寄る手長蝦
芦の芽や風に痩せたる澪標
魔の池の濁り怖ろし芦の角
芦の芽に引き上げてある小舟かな
芦の芽や入江の岸の沈み舟
芦の芽や日南暮れて孕鮒
芦の芽や欄干朽ちし浮見堂
汐痩せの汀の松や芦の角
亂杭にからまる水や芦の角
大澤や角ぐむ芦に夕小雨
○　大連　高木　春藹
芦の芽や春雨そゝぐ水の面
ひろ／＼と淀む河にや芦の角
池の水芦の角ぐむぬるみかな
○　大連　寛　鳴鹿
夕波や芦の芽そよぐ泊り舟
川下の欄の菅請や芦の角
○　瓦房店　冠滿　漁舟
流れ出る下水口なる芦の角
久方の出漁船や芦の角
芦の芽や湖水の空の夕燕
○　大連　吉元　汀雨
水嵩のふえし湖邊や芦の角
芦の芽やお玉杓子の日々太る
○　大連　岡部　紅花
芦の芽に又鶺鴒の啼れる
芦の芽のゆれて輪をかく池水かな
○　大連　西田　三峰
芦の芽に夕波立ちて暮れにけり
○　普蘭店　眞　砂路
濁り江に影のび／＼と芦の角
○　普蘭店　綠　葉
芦の芽や穴出し蟹の這ひ歩く

田螺

○　大連　永井　傘月
田螺取る兒の影長き夕日かな
里川や小雨の中の田螺取
三角田四角田かけて鳴く田螺
塗り立ての畔這ひのぼる田螺
障窓の灯し更けたり田螺鳴く
上げ泥の中に蠢く田螺かな
田螺鳴く田中の寺や夕木魚
田螺鳴いて夕雨煙る江川かな
鏡氣浮く山田の水や鳴く田螺
○　大連　吉元　汀雨
木母寺の灯籠なり田螺鳴く
温泉の宿の輕き靠飾や田螺和
錫泥に交りて居たり大田螺
○　大連　寛　鳴鹿
晴れし日や田螺這ひをる苗代田
○　大連　高木　春藹
田螺鳴く一軒茶屋の裏手かな
○　柳樹屯　富田　浪平
田螺取る水冷々と澄みゐたり
○　大連　岡部　紅花
水澄める底の田螺を數へけり
○　大連　西田　三峰

踏靑

○　大連　永井　傘月
踏靑に桃の小村を通りけり
踏靑や杜の彼方に鳩の聲
踏靑や行手に聞き山二つ
踏靑や昨日の雨の潦
踏靑や思はぬ方に光る湖
踏靑の渡舟に迫る暮色かな
踏靑や木蔭に憩ふ通り雨
踏靑や草に擱ぐる小風呂敷
踏靑の水乞ふ寺の積井かな
踏靑や輪を收めたる蒼冥色
○　大連　寛　鳴鹿
雨一過四山霽れたり靑き踏む
踏靑や空の彼方に海軍機
踏靑や楊の蔭に支那芝居
○　大連　高木　春藹
踏靑や野の涯にある一部落
黑雀野や靑きを踏める日傘人
靑き踏む野を一ぱいの日ざし哉
○　大連　吉元　汀雨
踏靑やつき纏ひ來る村の馬鹿
都人らしき群なり靑き踏む
踏靑や海見はるかす麥畑
　選者吟
靑き踏んで又現はれし一人かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「雷」「毛虫」「薔薇」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切五月二十日▲封筒に「滿日俳記」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田靑峰

滿日勝繼聯珠（十六）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜

第七回
勝　高橋　桂山
先番　高橋　聿月

▲七桂掘打六號新月
▲（十六）後「甲」の勝
【四段井村永治講評】

白（六）最強、之にて絕對後手勝ちである。黑（九）を（十一）に入れば次に、白（十二）「イ」で「ロ」の點三々である爲め圖の如く止めたのであらう——が然し結局獸目であるから一局を放棄するのは今である後は打て見る必要がないやうである。

白（四）は有力な策である。黑（五）惡い（十六）に打たねばならぬ

五月十四日

特別議會の[illegible]院式

徳川議長勅[illegible]拝受して 諸員最敬禮裡[illegible]しく捧讀

けさ十一時貴族院で

【東京十四日發電】濱口內閣が初めて施政の手腕を試した第五十八特別議會は會期三週間を盡し絶對多數の威力で波瀾重疊の難關を大した怪我もなく踏破して五月晴れの十四日午前十一時貴族院において閉院式が行はれた、この日聖上陛下親臨あらせられず兩院議員は通常禮裝にて午前十時頃より續々登院、連日の論戰に疲れた模樣もなく歳費三千圓の日當と旅費が貰へるので敵も味方も晴れやかな顏に喜色を漂はせて何となくなごやかな氣分が廊下に溢れた、定刻擬鈴を合圖に各議員は貴族院の式場に參入、濱口首相以下各大臣徳川、藤澤、蜂須賀、小山の兩院正副議長等整列、濱口首相は徐ろに正面玉座に參進勅命を奉じ茲に勅語を捧讀するの光榮を擔ひますと宣し議員最敬禮裡にいとも謹嚴な態度を以て恭しく勅語を捧讀終つて徳川議長參進勅語書を拝受滿場靜肅府委員等出席首相の挨拶に對し徳川議長謝辭を述べ呉越同舟で歡を盡した

閉院式勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ倂テ卿等闔精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉賞ス

議會の結果を委曲伏奏

【東京十四日發電】濱口首相は十四日閉院式終了後午前十一時半宮中に參內表御座所において天皇陛下に拝謁仰付けられ天機奉伺の後特別議會閉院式滯りなく終了の旨を奏上し且つ同議會における各法令案の審議協贊の結果につき委曲伏奏御下問に奉答して退下した

矢吹次官門司まで出迎

【東京十四日發電】財部海相は途中京城において齋藤朝鮮總督と會見の後十九日頃歸京する豫定であるので矢吹海軍政務次官は之が出迎へのため十四日夜東京驛發途中大阪に一、二泊して門司に向ふことゝなつた、矢吹次官の任務は政府の命を受けて海相に對し全權の請訓に對する政府の回訓發送當時並びにその後における政府と軍令部との關係及び議會中における政府の對軍縮態度等を詳細に報告して海相歸京後行はるべき加藤軍令部長との會見に對する豫備智識を與へるものである

海軍條約は斷じて國防不安を來さず

米國案に屈服したものではない

けさ東上の左近司中將語る

【ハルビン特電十四日發】財部全權と共に十四日內地へ向つた軍縮隨員左近司中將は語る
財部全權の當地滯在は全く靜養のためであつて、直ぐ歸京しても一週間位病臥せねばならぬから先づ當地に滯在してゐたといふ程度で別に態度を決定するといふやうなことはない、財部全權は歸京すれば閣議及び軍部元帥、參議官に會議の經過を

報告する

ことは當然である、條約の內容は批准を經た後でないと發表出來ぬが決して米國案に全部屈服したものではないことは何れ判明する時がある、が、日本の國際的位置及び國防に重大なる結果を來すとは全然思はれぬ、日本の態度は飽まで頑張ることも、一つの方法であるが其點の可否は誰も斷言することは出來まい、佛、伊が本條約に參加せぬことは遺憾で兩國とも不利であるから近き將來において參加するものと信ずる、然し、假令參加しなかつたとしても

三國條約

には影響はない一九三五年後の會議に主力艦全廢が提案されるかも知れぬが全廢は不可能だ、海軍の本體が主力艦である限り之を廢止するとせば根本から改革せねばならぬ英米とも之は出來なからう、幾分變化することだけは覺悟せねばならぬ、京城には十五日一泊十六日齋藤總督と會見の豫定、若槻全權は印度洋を經て六月十八日神戸着の豫定である

五年度豫算確定

十六億八百六十三萬圓

【東京十四日發電】政府が今期議會に提出した追加豫算は十三日貴族院を通過して愈々確定するに至つたが、その結果昭和五年度一般會計實行豫算總額は(單位千圓)

項目	金額
當初實行豫算總額	一、五六二、四〇〇
第一號追加豫算額	三八、六六九
同上實行追加額	四四、三四六
第二號追加豫算額	一、七五二
同上實行追加額	一、六八一
合計	一、六〇八、六〇八

となり昭和四年度成立豫算 一、七七三、五三七 に比し一億六千四百九十二萬八千圓の減額に當り又同年度實行豫算額十六億八千百六萬圓に比しても七千二百四十二萬一千圓の減額に當る

議場混亂の責任者

政民兩黨聲明

【東京十四日發電】民政黨並びに政友會は十三日夜議會散會後それぞれ議場混亂の責任は反對黨に有る旨の聲明書を發表した

濱口首相の議員招待

【東京十四日發電】濱口首相は十四日正午首相官邸に徳川、蜂須賀、藤澤、小山兩院正副議長以下兩院議員、書記官長以下關係官約七百名を招待して慰勞の午餐會を催し主人側からは濱口首相以下各大臣、政務官、鈴木書記官長以下各省政務官、政

請訓理由に疑義

軍令部首腦部の態度

【東京十四日發電】軍令部首腦者は十三日午前、午後に亘り同日朝歸朝した中村大佐の報告を聽取し更に十四日も引續き聽取することゝなつたが、十三日の報告に依り會議一般の詳細なる經過は大體明瞭となつたが、全權が七割を缺ぐ案を以て請訓した政治的理由にはなほ釋然たらざるものあり、この點何か重大事件潜み居るのではないかと見られてゐる

日比谷座特別興行

泥試合で終幕

傍聽人だけは眞面目

◆…【東京特電十三日發】「せめて最終日だけは紳士らしくやるだらう」さう考へるのは常識判斷だ、今の衆議院は却々どうしてそんな生やさしい常識などでは判斷出來るどころでない、第五十七議會最終の幕もその例に洩れず午前中一寸院內の空氣緩和を見たのも束の間午後にいたり空氣は俄然惡化し壇上壇下の醜態目もあてられず彌次の應酬、お互にあばきあひ、傷つけあひ、毆りあひ取組合ふ位はまだしも果ては肉彈と肉彈の團體的鬪爭ラグビー戰もかくやの壯觀さへ演じるんだから物凄い

◆…眞に擇尾の泥試合である曰く士屋、曰く生方曰く藤田、曰く津雲、曰く原、曰く工藤、それ等の諸君が或ひは小橋事件、或ひは越鐵疑獄、或ひは議事進行、或ひは一身上の辯明等々で交々登壇互に敵派を罵り自己辯護にこれ力め、毒舌の奔流は有實無實な罪惡のなすり合ひ惡口雜言果ては家庭の秘事まであばき出さうといふ有樣これが昭和聖代議政壇上での實情だからやり切れない

◆…與黨の横暴、野黨の狂暴、それがこの日は與黨も狂暴、野黨も横暴だからやり切れない、狂暴と横暴のこんがり合ひはどう考へても正氣の沙汰とは思へない「馬鹿ッ畜玉ッ動物ッ、默れッなぐるぞ踏み殺すぞ」なんとこれが選良樣達のお言葉だ、それにしても俗に議會ファンと稱する傍聽人の群の熱心には驚く、朝から飲まず食はず小便にも行かず長い休憩時間も身じろぎもせず頑張つてゐる人さへある、傍聽席は夜に入るもギッシリ滿員、更に院外にも依然列を作つて百名以上の人が入れ代りの機會を待つてゐる。その根氣よさそんなにまでしても見たい聞きたい衆議院の本態がこれだとすると世にはなんと興行價値の多い亂鬪劇もあるものだ、實に日比谷座の名に背かずか

ニコ／＼議員

悲哀の守衛

けふは歳費デー

◆…【東京特電十四日發】選れ天下の選良もチャンバラ役者と相近い醜態をさらけ出した衆議院も一夜明ければ歳費デー、院內會計課には閉院式の禮裝諸君が今日ばかりは呉越同舟前夜の騷ぎもケロリと忘れニコ／＼顏を並べる我ッ先きに金千二百五十圓の特別議會分歳費を受け取つたのが島田俊雄氏で午前八時半とある

◆…歳費受取所出口には院內食堂が出張して網を張つてゐるが最高セイ／＼五十圓、平均十圓で不景氣ですとコボしてゐる、受取つたばかりの歳費を早くも差押へを食つたのが降旗元太郎氏を筆頭に十數名、民政黨の某代議士もこの悲運に遭つて食堂の支拂も出來ぬ、ヤッと友人から二十圓を借りて貧乏人の悲哀を喞つてゐる

◆…哀れを止めたのは臨時守衛の五十四名、けふ限りクビになるといふので昨日までの威勢はどこへやらションボリしてゐる院內は嵐の後の靜けさである

財部全權、けさ歸朝の途につく

東京着は廿二日頃

【ハルビン十四日發電】財部夫妻一行十二名は十四日午前九時十五分二百餘名の日支官民の盛大なる見送り裡に特別列車にて愈々歸朝の途についた財部全權は途中京城に一、二日間滯在齋藤總督と會見し當面の重要問題につき協議する筈で東京着は二十二日頃の豫定である

石炭交渉は遂に決裂

川上日魯社長談

【ハルビン特電十四日發】日魯漁業社長川上俊彦氏は語る
今回の北樺太における石炭採掘權の對露交渉は不幸にして決裂した、漁業問題は田中大使を通じて目下ロシア政府と交渉中である

天津出入船舶臨檢

【上海十三日發電】國民政府は各國に對し十二日附公文書を以て左の如き通告をなしたが、日本へは上村南京領事を通じ送附して來た
國民政府は國內紛爭の折柄和平維持の見地から東北艦隊司令沈鴻烈に命じ天津港出入の內外船舶の臨檢を嚴重にし若し國民政府發給の護照なき武器彈藥を發見せる場合は戰時禁制品として沒收しその積載船舶は法律に徵し處理するに決せり、貴國關係業者にその旨傳達されたし

各種禁止令發布

【ショラプール十四日發電】戒嚴令下にあるショラプールにおいては午後七時より午前六時まで消燈する事、印度國民協議會々旗揭揚を禁ずる事、四名以上の集會を禁止する事等の禁止令が發布された當地商店の大部分は十四日より各工場は十五日よりそれ／＼開業す

全印度會議と絶縁聲明

【ボンベイ十三日發電】ボンベイ省內二十六地方よりの代表者の會議はインド總督の發表せる來る二十日よりロンドンに開催の[illegible]度會議に對し絶縁を聲明した[illegible]見込みである

シ市に戒嚴令

【ショラプール十三日發電】[illegible]運動惡化の爲め十三日朝より[illegible]に戒嚴令が布かれた

兩教徒衝突

【カルカッタ十三日發電】去[illegible]日以來印度の東北アッサム州に亘つて催された祭禮にて印[illegible]徒と回教徒との間に衝突起り[illegible]三名、負傷者九十餘名を出した

小切手手形法統一基礎案

國際聯盟で審議

【ジュネーヴ十三日發電】小切手及び爲替手形法統一に關する國際會議は十三日より開かれ國際聯盟專任の各國專門委員が十數ヶ月に亘つて研究作製した基礎案につき審議を開始した

日支關税協定は王正廷氏の成功

新任漢口領事坂根準三氏談

新任漢口領事坂根準三氏は十四日入港のばいかる丸で赴任の途來連したが語る
赴任前歐洲に行つてゐた關係で暫らく見なかつた滿洲を見て置かうと思つてこちらに迂回して來たので、支那に椅子を求めたのは今度が初めてだが本省に居る間こちらの方をやつてゐたので兩三回視察に來た事がある、奉天まで行つてそこから北平に拔け天津、濟南、青島を見て上海經由漢口に行くのであるが桑島財領事とは自分があちらに着いてから事務の引繼をやる事になつてゐる、丁度最近にいたり支那人の對日感情も柔らぎ關税問題の調印も濟んだので仕事はやり易くなるだらう、一部支那人間では王正廷氏の今度の協定に關する非難も聞くが大勢から考へ好い結果を得たと思ふ、まあウルさい土地だが出來るだけやるつもりだ【寫眞は坂根氏】

京都一中生歡迎會

京都府立第一中學校職員三名引率のもとに生徒一九五名十四日朝七時來連、三日間滯在の筈にて在連同校關係者は十五日午後六時より老虎灘千勝館にて歡迎會を開く出席申込は電話八六四六岡本に

人事

▲坂根準三氏(漢口駐在領事)十四日入港のばいかる丸にて來連
▲福田貞助氏(共保生命重役)同上
▲佐島仁左氏(住友伸銅所員)同上
▲志田文雄氏(同)同上
▲稻垣長止郎氏(長崎造船所參事)同上
▲佐藤總一氏(滿鐵工作課長)同上歸連
▲原正平氏(大連醫院婦人科醫長)[illegible]法事のため歸國中のところ同伴にて同上歸連
▲熊本阿蘇農學校生徒一行四名 同上來連
▲宮崎中學校生徒一行八十四名 同上
▲八幡商業學校生徒一行五十名 同上

大觀小觀

十四日、閉院式、勅語を拝[illegible]闔精克く協贊の任を竭せるを御嘉賞あらせられたるに對し兩院議員、果して恐懼せざるものありや。われわれ國民も、帝國議會の光榮を冒瀆し、恐懼の至りに堪へざるものあり。
◇
武勇傳は遂に告發事件をさへ惹起するに至つた。
◇
而して問題は、統治權の一[illegible]殘る。
◇
この問題、樞密院あたりを[illegible]つけるに都合よく、結局は、[illegible]老の說の如く、法規の改正か、または運用上に時例を開くよりあるまい。
◇
財部全權、けさハルビンを京城に向ふ。
◇
出でゝ外國に使する、すぐとも二重の難關あり。外にあつては對外交渉、國に歸らんとすれば統帥權問題などに引つ懸かる。た難い哉か。

走馬燈

記事輻輳につき本日休載

天氣豫報

十五日(南西の風)晴一時曇
滿潮 午前十一時四十五分 午後十一時五十分
干潮 午前五時五分 午後六時二十五分

南軍猛烈に總攻擊

隴海、津浦兩線とも北軍を壓迫

北軍は立ち遲れの觀

【天津特電十三日發】南軍は去る十日夜より總攻擊に移り津浦、平漢、隴海各線において猛烈なる攻擊を加へ隴海線では亳州、鹿邑に在つた孫殿英軍は劉鎭同、陳鑾承、劉時等の南軍の精鋭から包圍され潰滅の情勢に陷つたので鄭州の鹿鍾麟氏に援兵の急派を求め四苦八苦の防戰に努めてゐる、平漢線では漢口方面に在つた蔣鼎文、夏斗寅、趙觀濤等の南軍大擧して北上し十一日の郾城を陷いれ非常な意氣込で北軍を壓迫し津浦線では徐州の主力軍續々北上を開始すると共に飛行隊は開封、鄭州等の北軍司令部に連日爆彈を投下し氣勢を揚げ、蔣介石氏は徐州で全軍を指揮し士氣頗る旺盛、之に反して北軍は各軍の集結未だに終了せず、山東の占領を放棄してゐた爲め姿勢逆轉し南軍は外戰の姿勢に變つた、今日の戰況によれば北軍立遲れの觀がある、しかし馮玉祥氏は南軍勝つとしても黄河を渡ることは不可能であるとて前途を樂觀してゐる

阮肇昌軍寢返る

山東の中央軍に不利

【北平十三日發電】確實なる消息によれば濟寧にあつた陳調元氏部下の第五十五師阮肇昌軍は最近石友三軍に寢返り全軍を擧げて曹州に赴き石友三軍に合したそのため中央軍の山東における形勢は不利となつた

歐洲經聯の覺書

來十八日一般に公表

【パリー十四日發電】關税休止の歐洲經濟聯盟に關するブリアン氏の覺書は十四日又は十六日或は十八日に米政府、聯盟加入の歐洲の二十六國政府に送達され同時に一般にも公表せらるるはずである

反英總罷市

【カラチ十三日發電】反英運動の指導者テアビジ氏が逮捕されたゝめカラチ市でも十三日總罷業開始され、ヒンヅー人の商店市場は全部閉店してゐる、十三日朝市中に反英示威行進が行はれたが何等騷擾は起らなかつた

全部禁錮言渡

【ジャラルポーア十三日發電】當地裁判所はガンヂー氏の後繼者として反英運動の指揮に當れるアッバス、チャビジ氏に對し三ケ月の重禁錮を申し渡し部下の有力者ジヤガトラム氏に六ケ月の重禁錮その他には全部三ケ月の重禁錮を言渡した

支那內亂插話

中央軍の募兵

通行人に効能を吹聽 手數料一人に付五弗

◆…閻錫山氏との戰爭に躍氣になつてゐる中央軍では兵士の不足を感じて最近上海の中國街到るところで志願兵募集を始めた、街角や廣場の隅に白布に「招集、志願兵、中央軍官學校教導團」と書いた三角の旗を立て、鼠色の汚い服を着た兵が一人宛ボンヤリと街を眺めたり或は大道商人のやうに通行人を集めて志願兵の效能を吹聽してゐる、募集係りは一人の志願兵を得ると五弗になる由であるから、一日に一人や二人を集めれば至極結構な商賣となる、

◆…志願兵の應募規則は十八歳以上三十歳以下、無嗜好者、初等中學或は同等の學力を有する者、勞苦に堪へ得る者等の條項があり六ケ月間軍官學校で教育を受けて一人前の教導團員となることになつてゐるが、これ等は勿論表面だけの話、實際は體のいゝ拉夫である、應募したが最後殆ど教育は受けずに戰爭の最前線に送られるとのことだが、それでも志願兵とか教導團とかの名目に吊られて應募する無職者や野心家が相當澤山ある、

◆…寫眞班は閘北の公興路で募集官が盛んに誘惑してゐる情景を發見して無斷でシャッターをきつたところ、該募集官即ち中央軍官學校志願兵募集官李劍氏は眞赤になつて怒り出した、名刺を出して辯解しても聞かばこそ警察に訴へると大聲で騷ぎ出した、寫眞を撮つて訴へられるのは初めてだから面白からうと寫眞班は該募集官と巡警に護衛されながら上海特別市公安局第二分處に出頭した、

◆…訴への趣きを聞いた警察の係官は「寫眞に撮つてゐるかどうか寫眞機を見せろ」といふ、サックから出して見せると寫眞機のレンズに眼をくつつけて「何にも見えないではないか、寫眞は何處にあるんだ」といふ、恰も百年も前の人間と話してゐるやうで、こちらが面喰つたが「撮りはしなかつたんだ」と強硬に主張したら、係官も手古摺つてとう／＼第二分處々長に持込んだ、

◆…處長はさすがに珍訴へに驚いた樣だが係官を通して「寫眞を撮るのには覗いただけでは撮れないんだ、いろ／＼難しい技術が要るから相當の時間がかゝる、君が撮られたと思つたのは間違ひで日本人の主張するやうに撮つてゐないのが本當だ」と原告應募官に諄々と說明したら「彼はさうですか」と納得して困つた、後で係官は「若し撮つてあるにしろ新聞には出さぬやうに願ます」と處長の意志を寫眞班に傳達した、

【寫眞(上)志願兵募集の旗(中)寫眞を撮つたからと訴へ出た現代離れのした募集官李劍氏の誘惑振り(下)近所の喧嘩に面白がつてゐる募集官】【上海特信】

強風吹き荒む中に 奉天會戰の御研究

◇—城外の曠野に拜す颯爽たる 御乘馬姿の秩父宮

【奉天特電十四日發】昨日沙河奉天の兩會戰の戰史を御研究あつた秩父宮殿下には、今十四日も奉天會戰の戰蹟御研究の爲め午前八時奉天驛御發、特別列車の車窓より西方遙かに北陵の森を御望見あらせられつゝ八時二十分文官屯驛御着、御徒歩にて同三十五分、驛より西十丁の御講話場の小丘に立たせられ我が第三軍が迂回して敵の退路を斷ち、多數の敵部隊を降伏せしめクロパトキン將軍をして戰爭の前途に絶望させ露軍に致命傷を與へた有名な文官屯追擊戰の戰史につき栗屋砲兵大佐の講話を御熱心に御聽取あつた、本日も風強きため御豫定より早く御講話場を立たせられ颯爽たる御乘馬姿を奉天城外の曠野に拜し奉つた、驛にて牛島少將の御講話を再び聞召され十一時三十分文官屯驛御發、特別列車にて奉天驛に向はせられ十一時四十五分奉天驛御着、ヤマトホテルに入らせられた

各團體御親閱の後 壯烈な分列式台覽

醫大で御興深く各種說明を御傾聽

奉天に御滯在中の秩父宮殿下の御機嫌益々麗しく十四日は午前六時三十分に御起床、御假泊所ヤマトホテルを御出發、浪速通りを奉天驛に向はせられた、驛には鈴木少將、村田聯隊長、高木守備隊長、三谷憲兵分隊長、太田關東長官、森島領事、立川奉天署長事務取扱、小倉地方事務所長、鈴木鐵道事務所長、木下在鄕軍人分會長ら奉送裡に午前八時御發車一路

文官屯 へ向はせられ、別項の如く文官屯における會戰の跡を御研究の後午前十一時二十分文官屯御發車、同十一時三十五分奉天驛御着、驛構內停車中の裝甲車について草葉中佐の說明を聞こしめされた、同十一時五十七分奉天驛御出發、浪速通りを經てヤマトホテルに入らせられた、正午ホテルで御晝食を攝らせられた殿下には午後一時御出發奉天、醫大の傍らなる御親閱場に一同の

敬禮裡 に御到着遊ばされた、こゝにおいて殿下には直に石鋒（鹿毛）に御乘馬、此の日の風速十六米突奉天名物の黄塵をも御厭ひなく村田聯隊長御先導、本間御附武官、高木守備隊長、鈴木少將等扈從で總指揮官秋川大佐の指揮する在鄕軍人、消防隊、醫大、教專、奉中、青年訓練所生少年團の順に御親閱終つて在鄕軍人、消防隊、醫大、教專、奉中、青年訓練所、少年團約千三百名の學生々徒の

莊嚴な 分列式が行はれた かくて再び一同の敬禮裡に同一時二十分、殿下には醫大本館玄關より御休憩所へ入らせられ、稻葉學長より三階應接室にて大學の狀況等につき御說明申上げ、終つて二階參考品室に御案內、御待受けの守田教授は內科について、豐田教授は生物學について、都留助教授は微生物學について、寺田助教授は衛生學について、阿部講師は藥叢學について詳細御說明申上げた、この間殿下にはいと御興味深く御聽遊ばされ、かくて競技場へ向はせられた

太田長官赴奉

太田關東長官は秩父宮殿下奉送のため十三日廿一時三十分發急行で小林秘書官佐藤理事官を帶同して赴奉したが、十五日夜大連着の急行で歸旅の豫定

大巡「高尾」の進水式に 行啓の皇后陛下

皇后陛下には十二日午後一時十分東京驛御發、橫須賀に於て起工中の世界に誇るわが海軍の新威力大形巡洋艦「高尾」進水式に行啓遊ばされた【寫眞は東京驛御發の皇后陛下】

毆られた 賴母木代議士 自邸に歸る

【東京十四日發電】衆議院醫務室で手當を加へた賴母木桂吉氏は十四日午前二時ごろ夫人並びに細野主治醫等附添ひの下に警察自動車で淺草の自邸に歸つた

檢事院內檢證

【東京十四日發電】賴母木氏を毆打した志賀和多利氏を民政黨が告發したので東京地方檢事局では十三日夜松坂檢事院內に出張して實地檢證を行つたが、檢事局としては先づ十四日告發人を訊問したるうへ志賀氏を召喚取調べることゝなつた、なほ志賀氏は議會散會まで政友會幹部室に閉ぢ籠り午後十二時秋田清、土倉宗明、小野寺章氏その他數名に護衛され自動車で自宅に歸つた

東、庄司兩氏を 民政黨が告發

【東京十四日發電】民政黨の懲罰委員長土屋清三郎氏は十三日深更政友會の東、庄司兩氏を公務執行妨害として東京地方裁判所に告發した

鯛漁期に入る 龍口沖に日支漁船

入り亂れて漁撈に從事

龍口沖に漁船保護のため出動したる水上署還海丸より十四日午前本署に入つた無電によると今や同方面は鯛漁期を目指して日支漁船の殺到を見つゝあるが未だなほ早いうらみがあり龍口沖の北方十海里の地點に日支漁船が十四組、芝罘沖に五十組それ／＼漁撈に從事してゐる、なほ同方面には農林省の飛隼丸といふのが現場の保護旁々來てゐる、この月の末が眞實の漁期に入るらしい、しかし支那軍艦が日本船の引揚げを命じたとあつたが今のところ艦影を認めないと、ちなみに還海丸は十四日夕歸還の豫定

英波蘭に全勝 デ盃歐洲ゾーン

【ターキー十三日發電】デ盃歐洲ゾーン第二回戰英對ポーランドは英三勝の後を受けて第三日はシングルスを續行、結局五對〇で英國が全勝した

リー（英）六—四、六—二、八—六 ストラロー（波）

シャープ（英）六—二、六—一、六—一 ツロツインスキー（波）

日本大相撲 初日の取組

【東京十四日發電】日本大相撲夏場所はいよ／＼十五日から興行するが、初日取組左の如し

綾ノ瀨　若常陸　駒錦
吉野山　太郎山　若潮川
藤ノ里　大島　荒熊
晴ノ海　劍岳　伊勢ノ濱
常陸嶽　常陸嶽　和歌島
池田川　沖ツ海　幡瀨川
信夫山　玉碇　山錦
朝汐　清水川　若葉山
武藏山　綾櫻　天龍
眞鶴　能代潟　寶川
新海　常陸岩　出羽嶽
玉錦　雷ノ峰　豐國
大ノ里　外ケ濱　常ノ花
鏡岩　宮城山　古賀浦

休場力士　大蛇山、錦洋、星甲

拳銃密輸發覺

高松丸水夫長周管德（二五）が十二日午後人目をさけて埠頭構內に入らんとするのを水上署員に發見され逮捕されたが、身邊よりダントン拳銃一挺、彈丸二百發が飛び出した取調べにより同人は市內山縣通り市場二十八岩井新一郎といふものより芝罘の出口幸四郎なるものに便つて行く樣に命ぜられたと自白したので取敢ず關係者につき取調中

けふ入港のばいかる丸から ボロ船では 競爭出來ぬ時代

大汽が注文の新造船打合せに 稻垣三菱造船所參事來連

大汽の新造貨物船のうち二隻の註文を請負つた長崎の三菱造船所ではその後の打合せのため參事稻垣長止郎氏を大汽本社に向はしめたが、稻垣氏は十四日のばいかる丸にて來連サロンで語る

用件は 都合よく大汽の新造船を造る事となつたので細い打合せに來たのである即ちデーゼルの四千五百噸級二隻といふのみで內容に關してはよく解つてゐないから船型その他についてまあ研究がてら來たもので一週間位で歸る、長崎も今は不景氣に祟られ困つてゐる、今やつてゐるのは大阪商船の南米航路のリオデジャネロの一萬噸級でこれは

姉妹船 ベノスアイレス丸が評判が好いので氣持よくやつてゐる、これは同社のアトラスサントス丸の上のクラスで造船所でも馬力をかけてゐる、更に郵船の方では歐洲航路に就航する照國丸（一萬噸）がこの十五日に引渡すことになつてゐるし、引續き姉妹船靖國丸を建造しつゝある、そして更に米國航路に當てる貨物船四隻をつくる事になつてゐる何れにしても今後は

優秀な 船を持たなければ駄目だ、外國の古船を買つてゐる樣じあ競爭には打勝てない、不景氣といひながらも船を造るなら今で、不景氣で困つてゐる造船所では少し位の無理も聞くと云ふものだ、七、八千の職工を遊ばしておいては可哀想ですからなあ、この際大阪商船にも香港丸の代船を造る樣に運動してゐるよ、大汽の新造船は來年六月引渡す事になつてゐる

突然、高勇吉氏けふ來連

我がセロ界の權威高勇吉氏は何の前ぶれもなくけふのばいかる丸で愛用のセロを大事さうに抱へて來連した

いや突然來ましたよ、今度は青島、天津の方で演奏會を開くのが目的でそんな準備も要るので一ケ月位大連に居りますよその間に一度位集りを開きたいと思つてゐます、何れにしてもどこにもだまつて來たので驚かれたでせう

船疲れも手傳ひ 思はぬ不覺

遠征の滿洲柔道軍に別れて 急遽歸連した櫻井氏談

我滿洲軍の意氣を示すべく內地遠征を企てた全滿洲柔道軍は全福岡軍との一戰に不幸不戰二勝を殘し敗れたが、一行に離れ急用のため歸連した消費組合の櫻井弘之氏は語る

殘念でした、福岡軍はかねてより強いと聞いてゐましたが、こちらに今少し

頑張る 餘裕があればよかつたのに船疲れも手傳つて思はぬ不覺をとりました、こちらで引分けを取るのだつたらそのつもりで作戰したのでせうが點を取らうとしたのでむざ／＼勝てる試合に負けたものもありました、來年は滿洲に是非呼びますがその時はウンとやるつもりです、今度の試合では皆よくやりましたが殊に淺見君が足を挫いてゐたのにかゝはらず奮鬪したのは愉快でした、それにあちらは何といつても

滿洲軍 の樣に仕事片手の人が少いだけ勝味があるわけです、一行は京都に上りましたがウマくやつてくれゝばと祈つてゐます

さつき晴の下に 百花繚亂の美

參加女性實に六千餘名に達す 近づく五月祭り

新綠映ゆる昨年の……女達を集めていと……された第一回の五……に賑い大連グラウンドを數多の觀衆と參加者とを以て立錐の餘地なきまでに埋め盡し

＝白熱的＝ 盛況裡に大演藝女子の旺なる意氣を示したのであつたが、本年はその第二回をいよ／＼來る十八日の陽春麗なる第三日曜を選び大連市役所主催、我社後援の下に昨年にも增して華々しく舉行されることゝなつた、場所は昨年と同じ大連グラウンド、集る婦人乙女達は先づ市內各小學校の尋常五年以上高等科に至るかあいらしい女生徒達約三千名を始めとして各女學校生徒約二千名、特別出場の中華女學生五十名、それに多數の一般婦人を加へて總勢實に六千有餘名、當日午前の演技

＝種目は＝ 先づ全員の五月祭台唱歌に始まり、次に小學女生徒の目も綾なる旅體操、それに次いでは女學校生徒達の晴れやかな五月をどり、續いて中華青年會女學生五十名の珍しい支那の踊り、そのあとで小學生徒達のかあいらしい五月をどりがあつて樂しい晝食に移り、午後は昨年觀衆を完全に魅了したメーポールダンスよりも遙かに

＝美しい＝ 女學生のツウインクルダンス、その次は出場の一般婦人達が手具[illegible]いて待機へてゐた五月をどり、續いて昨年熱狂的大喝采を博した渦卷行進類似の矩形的旋回行進を婦人生徒達參加者全部それに觀覽者中の希望者をも加へて華々しく行ひ、最後に一同君が代を奉唱して樂しい會を閉ぢることになつてゐる、當日は日曜でもあり花見の季節も過ぎ各種團體の家族會なども大てい終りをつげた時期であるからピクニックを兼ねた家族連れの

＝觀覽者＝ は大連グラウンド目がけて潮の如く殺到すべく、場內に演ぜられる演技はいづれも小學生女學生、さては一般婦人達が練習に練習を重ね練りに練つたものであるから當日の大連グラウンドは朗かな五月晴れの空の下に百花繚亂の美を現出するであらう

氣の毒な位 不景氣

內地の車輛工場 佐藤恕一氏歸任

豫て上京中だつた滿鐵鐵道部工作課長佐藤恕一氏は社用を濟ませ同船で歸任したが語る

自分は社命により鐵道省で毎年開催される車輛研究會に出席が主な用件で上京したもので、今度は四月廿二日より廿四日まで臺灣朝鮮等からも集り製造所の人達、本省の專門家等約百餘名集り車輛に關する極く專門的な部分々々の研究をなした、例へば塗料に關するとか車軸に關するもの、車床に關するもの等々詳細に亘つて行はれた、富士號と云ふ

超特急 にも乘つたがかなり震動の劇しいもので滿鐵線に比較して驚かされた、然しレールが百ポンドと七五ポンドの違ひがあるのだから無理もいへまい、一體に內地の車輛は造り方が簡單で滿鐵の如く底を二重にするなんていふところまで手を入れてゐない樣だ、自分が上京するとき葫蘆島と問題に關しべラ／＼しやべつた樣な事が出てゐたがそんなに詳しくいつた覺えはない、なほ自分は各地の製作所や工場を見て廻つたが氣の毒な位不景氣だ、何んと云つても製作能力のあることにおいて滿鐵の車輛工場は世界一ですよ

遭難の支那船員着連

十四日入港ばいかる丸によつて遭難支那船員四名が送還されて來た右は去る九日大連を出帆したる第六原田丸が門司への航行中、午後九時半ごろ山東角附近において濃霧のため折柄出漁中の支那汽船李德順號と衝突これを沈沒せしめたが、その際同船は船長張應五ほか四名を救ひ上げ門司に入港し船側の依賴により定期船ばいかる丸にとり敢ず大連まで連れて來たものだと、因に船長は未だ門司で「この始末をどうしてくれる」と頑張つてゐるといふ

吉村に絡る 官有土地疑獄

昨十四日付夕刊既報官有土地疑獄事件記事中、田中大連市長らに波及か云々とあつたが吉村らが日華土地株式會社を設立するに當り當時の大連民政署長田中千吉氏の許に來り斯く／＼の如く諒解出來たのであるからとのことに田中署長も然らば土地貸下げの手續として相當の順序を踏むが宜しかるべく地元の有力者を聯ね適法に出願せよといふ意味のことを述べたるに對して提出したるものにて田中氏は當時、衛生會社にてもよろしいから有力者の名を聯ねよなどゝはいはなかつたとのことであり手續きも適法に取扱つたものだといふてゐる

極地探險家 ナンセン氏逝く

【オスロー十三日發電】極地探險家として有名なフリットヨーフ、ナンセン氏は十三日當地において死亡した、享年六十八歲、氏は一千八百八十一年以來數回の北極航海を試み地文學上種々の貢獻あり又クリスチャニア大學動物學教授に任ぜられ、ノルウエイ大使にも就任し、一千九百二十二年にはノーベル平和賞を授與された

自轉車電車に衝突

市內永樂街五義祥燒鍋店員張裕致（二七）は十四日午前七時半ごろ市內西崗街一八八番地先で沙河口方面より來た四號系電車の前方を自轉車で橫切らんとして跳飛ばされ、得意先きに配達する酒の一斗樽を破壞し、足部に擦過傷を負ふた

映畫小說

日活撮影臺本から 『この母を見よ』

興味ある場面のスチール 明日から本紙連載

本社連載の次回新小說に就き本社にては內容の充實と興味の刷新を圖り讀者に奉仕すべく種々講究の結果滿鮮新聞界の最初の試みとして優秀なる映畫小說を掲載すべく計畫し、今回日活が田阪具隆監督瀧花久子主演で現代劇部特作品として製作した未封切の新映畫「この母を見よ」の撮影終ると同時に日活より特に實際に使用した撮影臺本を得て、これを畸面座同人の手にてシナリオ風の映畫小說に構成し且つ日活が本社のために特に撮影したスチールと共にいよ／＼明十五日朝刊より本紙上に連載することゝなつた、この本社の新しき試みは一般讀者と共に全滿の映畫ファンから必ずや大喝采を博するであらう

艶色生膽

伊[illegible] 作 河[illegible] 畫

憂鬱症(一)

左近は憂鬱だつた。
三藏の言葉もあてにはならない
この幾日それとなし待つてゐた
「お仙の在所」——
つきとめることも叶はず、唯鐵誠庵の一室、だらけきつた身體をもてあましてゐるのみである。
カラツと晴れあがつた日が暮れかかると、何故かおちついてはゐられなかつた。
「どれ、久しぶりで歩いてくるか」
懐手して畦道を辿れば宵空に散らばる星、ボツと暈けた三日月、何もかもが淋しかつた。
「こんな時だな、亮之助めが口癖の汁斷り、さうした心持になるは……」
左近はニタリと笑つた。
「無理もない、俺でさへもそんな氣がされる、あゝ何事か起つてくれぬものかなア」
山下に出ると、雑沓の刻限はとうに過ぎたと見え、廣小路の兩側に建並んだ香具師の天幕小屋も、おほかたはヒツソリとしてゐた。
薄暗い灯にすかせば、曲獨樂、人形芝居、因果娘、水藝の俗悪な繪看板が、土埃を浴びたまゝションボリとしてゐる。
「ええ、いつそ薩摩屋敷まで伸すかな、相樂總三先生の御消息も知れてゐやう」
左近は乘物をさがす氣になつたその途端、向ふから急いで來る駕籠、ヒョイと眼をつけるや、その背後につき纏ふ人影、三つ、四つ、捕吏らしい身拵へ。
「ハテ」
左近はとつさの思ひつき、陽除け覆簀、その蔭へ身をかはした瞬間である。
「御用！」
「御用！」
喚き叫ぶ聲々。
「ワツ！」
息杖なげだして、逃げ足だつた駕籠屋。と、垂をかゝげて、
「なんだねえ、騒々しい！」
宵暗に浮く白い顔。
「あツ！」
左近は思はず聲をあげた。
「お仙——ではあるまいか？」
「御用！」
「御用！」
手先の一人がパツととびついたが、
「あツ！」
顔を押へてのけぞつた。
と、女は血に染んだあひくちかざして、セセラ笑ふ。
空に三日月、女は色も香も爛熟しきつた年頃、凄艶緋牡丹の精にも似て、冴へた瞳、剃りあと生々しい眉のあたりには一抹の殺氣が籠つてゐる。
「ソレツ！」
長太の聲に四の檻三きほいたつて銀棒ふり、その内懐へ……
が、女はサツと腰をおとすや、[illegible]とした。[illegible]かさず手にした[illegible]サツと繰だせば[illegible]ひくちかざした[illegible]先の鉛丸、グルぐと摑みつく。
「しめたツ、ソレツ、押へろ！」
餓えた狼群が餌食に競ひかゝるが如く、ドツと御用聲あげて迫る
そらどけした帶、燃える緋縮緬の裾先亂してグーツとひきよせられるを、身悶えしてふりほどかうとあせるお仙、さすがに息も亂れて、疲れて來たらしい。
「うーむ！」
左近は突如として叫んだ。
「お仙どの、助勢いたすぞ！」
他愛もなく權三の身體はドツと泳ぐ。
そこをすかさず逆すくひの腰車輕い氣合とともに、
「えいツ！」
モンドリうつて土埃の中へ叩きつけられた。
「うぬツ、お仙御用だ！」

◇◇この母を見よ◇◇

エリイザ、オルゼシユコ女史作、清見陸郎氏譯改造社文庫の「寡婦マルタ」より脚色した日活の現代劇撮影臺本より畸面座同人が構成して本紙に連載する映畫「この母を見よ」に於て、街の女辯女に扮する入江たか子

初夏の樂界を飾る 名手名人の訪れ

四家文子孃を皮切りに

藤原、伊庭、關谷、平間と續々樂壇の巨人を迎へて、大いに惠まれ初めた大連の音樂界は、又復ハイドの杉山長谷夫氏及びアルトの四家文子孃を皮切りに其の初夏を飾る可き數名の音樂家を迎へると傳へられて居る。杉山氏及び四家孃は伴奏者木村氏を伴ひ本紙既報の如く、來る二十日入港の定期船にて來連二十一日夜大連音樂學校主催の下に協和會館に於て音樂會を開催する事に決定してゐるが、其の他にもマンドリンの大家伊藤重五郎氏、琴の名手宮城道雄、聲樂家二村定一、佐藤美子、佐藤千夜子の諸氏で、伊藤氏は滿鐵音樂會が目下盛に盡力中で、來る二十六日協和會館に於て公演の豫定である。宮城氏は村岡樂童氏が交渉中であるが、來連の時期は未だ未定である。二村氏佐藤兩孃等の來連の噂は久しく傳へられて居るものであるが目下某方面諸氏の手によつて交渉が續けられて居るとの事で近日中に確實なる發表がある筈であると共かくも惠まれ初めた大連樂界の初夏をファンは期待してよからう

協和會館の改增築延期 六月中旬に着手

かねて本月早々改增築に着手する豫定であつた社員倶樂部協和會館は、其の後秩父宮殿下の御來連、その他の理由のため、約一ヶ月間延期し六月中旬より工事に着手する豫定となつた、なほ外部の工事を先にする關係上、工事着手後も約一ヶ月間は從來通り一般公開をなし得ると

協和會館映畫會

中等學生デーをかねて

滿鐵會員倶樂部に於ては、明十五日より協和會館に於て三日間左の日割によつて、中等學生映畫デー及び一般映畫會を兼ねて、日活春季超特作時代劇「大忠臣藏」全二十卷を上映する事に決したが、日割及び會費は次の如くである

▲日割 五月十五日(木)午後六時(商業、一中)十七日(土)午後一時半(女學校)同午後六時(一中其他)以上の外十六日(金)午後七時十五分より一般の爲開催保護者同伴の女學生の入場を認む映寫時間約三時間半

▲會費 學生二十錢十六日の分大人倶樂部會員五十錢、一般九十錢、女學生同伴の保護者五十錢

噂

最近洋畫に進出して大いに新らしい所も見せて居る帝國館では、此の六月で南興行部側始論一ヶ年になるので、松竹映畫か、洋畫か、とにかく大物を入れて華々しく記念興行をしやうと目下計畫中であるが▲其打合せの爲南館主は本月末內地におもむくとの事▲大忠臣藏は多分日延される模樣であるが▲此興行中に宣傳して居たテンピの割引券の發行高約一萬▲ドロンの名人と名をもつて演藝館の東が又飛んだ▲と同時に帝國館ボックスの西村も一緒にドロンしたが長春の森氏の下へ走つたとの說もある▲其かわりと云ふわけでもないが、常盤座の長谷川櫻邦が突然演藝館に入ることになり▲「泣くな小春」より新興キネ現代劇の解說を引受けるとの事

キネマと演藝

昇之助一行 四、五日目出し物

連日滿員の盛況を呈して居る、歌舞伎座の女義太夫及び浪曲、豐竹昇之助、東家燕太夫一行の本四日目及び明五日目の讀み物、語り物は左の如くである

▲四日目(十四日) 御祝儀寶の入舟(昇若)戀女房十段目三吉子別れの段(昇華)大岡政談續(燕若)忠臣藏六ツ目(昇光)阿波鳴門巡禮歌の段(小登昇)籔井玄意續(放駒)先代萩御殿政岡忠義の段(昇之助、新六)義士外傳梶川大力の粗忽(燕太夫)

▲五日目(十五日) 御祝儀寶入舟(昇若)由良湛千軒長者(昇華)大岡政談「續」(燕若)花雲佐倉曙宗五郎子別の段(昇光)三勝半七酒屋の段(小登昇)籔井玄意續(放駒)天の網島時雨の炬燵紙治内の段(昇之助、新六)天野屋利兵衛(燕太夫)

演藝日記

▲五月十二日、三業組合慰安日で花街はひつそりして居たが、街頭へ現はれたネエさん方が各常設館、歌舞伎座等の特等席にズラリと居並んで時ならぬ華やかさを呈して居た▲演藝館の竹井昌二郎「踊る幻影」解說中に客の下らぬヤジを舞臺でうまくヒニクル、客がむきになつてヤジればヤジル程竹井、あつさり皮肉を云ふ、客はとう/\默つてしまつた。竹昌の意氣やサカンなり

第六回 滿日勝繼碁戰(林氏三回勝 四回目)

二段 林 仁作氏
二子 井上 太市氏

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

—【6】—

○一〇一ヨ九
●一〇二カ九
○一〇三タ三
●一〇四ヌ十三
○一〇五ル十三
●一〇六ワ十一
○一〇七リ十二
●一〇八ヌ十二
○一〇九ヌ十一
●一一〇ル十二
○一一一チ十一
●一一二リ十
○一一三チ十
●一一四チ九
○一一五リ九
●一一六ヌ十
○一一七ル十一
●一一八ヲ十二
○一一九ヲ十一
●一二〇ヲ十三

ラヂオ

大連 JQAK

五月十五日午後七時

▲浪花節「召集令」京山愛三
▲尺八都山流秘曲「岩清水」草崎主山
▲常磐津「春舞豪霞猿聟」(靱猿)彈語り山下千代
▲支那唱坐「宮」唱陳銀子、師付王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京 JOAK

五月十五日午後六時廿五分

▲講演「塵埃の辯護」工學博士細木松之介
▲琵琶「伊藤公」神谷秀嶺
▲新内「彌次喜多道中膝栗毛市子口寄の段」淨瑠璃富士松富士太夫、同雪太夫、三味線同佐交、上調子同右太夫
▲放送映畫劇「江戸城總攻」帝國キネマ時代劇部、嵐璃德、其の他

非常に便利な税關金單位
當地輸入商間でも實施希望者が多い

輸入税金單位支拂ひに關し上海海關にては五月四日附告示にて從來通り金單位と銀價換算率を發表する外に、五月十六日から中央銀行の税關金單位小切手の受付を開始する旨を發表した、これが爲め邦人會社では去る五月六日より中央銀行との間に税關金單位當座勘定を設定せるものあり、右により商人側としては先物取引に對し豫じめ税金支拂に必要なる額の税關金單位を購入し得るわけであつて輸入商にとつては非常に便利となつてゐる、そこで吾が大連海關に於てもこれが實施されれば當地の輸入商にとつても多大の便益を齎すものと觀られるが、右に關し各方面の意見を徴せば左の如くである

非常な便宜
東洋棉花 奥田支店長談

税關金單位購入の方法が大連に於ても行はれるとになれば吾々の方としては非常な便利を蒙るわけです、該方法の實施によりて先物取引上に於ける危險を防止し得ることは先づ僅少だと思ひますが、現在の如く銀價換算率が其の日〳〵の相場によつて異りために税金支拂に當つて二重の手數を要することは吾々は全くその煩に堪えないのです、從つて上海海關が税關金單位購入の便法を設けんといふことは單に銀價の動きによる損得の問題よりも便利といふことを主眼としたものだと考へられるわけです

大して……期待せぬ
三井物産支店當事者談

該方法が大連海關に於て實施さるゝことゝなれば税金支拂に當つて豫て税關金單位を購入し置くことによつて銀價の低落による危險を免れ得ることになる、即ち先物取引に於て何等の危險を考慮することなく、安全なる取引が出來るわけである、然しながら滿洲輸入雜貨は大體高が知れて居るので吾々の方としては該方法の實施については大して考慮の中に入れてゐないし、期待もしてゐないわけである、即ち麥粉の如きは食糧品として無税となつて居り影響あるものとしては綿糸、綿織物の類であらう。兎に角該方法が大連海關で實施され得るとすれば寔に結構なことには違ひない

當地では不可能
上海と事情が異る
北代大連海關長談

税關金單位購入の便法を設けるなどについては何等の沙汰はないし且又當地に於ては銀價の動きによる危險を誰が負擔するかゞ先づ問題であらう、正金銀行でもやつて呉れるのであれば格別であるが上海とは事情が異るからそんなわけには行くまいと考へられる、但し現在の税金支拂方法が複雜であつて、輸入商が非常な不便を蒙つて居るといふのは果してどんなものであらう、或は資本力の乏しい小さい輸入商にはその點があるかも知れぬが然らざる限り大したことはないではあるまいか、即ち豫め銀行と圖つて供託金を納め置き、海關の税金納入告知書を受けると共に當該銀行に於てその額だけ捺印せしめる方法を講じておけば後に銀行と海關とで精算し得るのであるから、何等の不便はないわけである、現に埠頭國際なぞ此の方法を以て行つて居るのである

日本英貨債切賣れ
僅か二時間足らずで

【ロンドン十三日發電】當地で發行された年利率五分五厘の日本政府の英貨借替公債千二百五十萬磅の受附は今朝九時より始まつたが僅か一時間四十五分で賣切れとなり、午前十時四十五分受附を締切つた

商品信託の臨時總會
重役改選を附議

大連商品信託會社では十五日午後三時から同社において臨時株主總會を開き昭和四年十二月以降營業經過報告及將來の方針を報告し役員總辭職に付全員選任の件及び定款變更の件につき附議承認を求むる筈

油房振興(二)
―への科學的研究の輪廓
最近に於る業績

前回述ぶるところは現在の豆粕に對する用途發見と豆油抽出法の根本的改良に就いてゞあるが、次に考へねばならぬ問題は右の改良抽出法による豆粕と豆油をどういふ方面に使用し有用化するかといふことである、これについては豆粕や豆油が如何なる化學的構成をなしてゐるかを學術的に明にすることが先決問題であることはいふまでもない。

◇

先づ豆粕の利用法より述ぶれば各方面に於て大豆蛋白質を食料、營養品、調味料や更に進んでは化學工業の原料として利用することが熱心に研究されてゐる、假へばこれをメリケン粉の代用品として食料に使ひ、或は部分的に加水分解して味の素のやうな調味料として使ふやうなことは餘程研究が進んで相當の成績をあげてゐる、その他工業原料とする研究も熟し行はれてをり、その中二三示せば滿洲ペイント會社[illegible]でしてゐるビースとか[illegible]所で鈴木庸生氏に[illegible]されたアーライトとか[illegible]ものがある、これ等は大豆中の蛋白質を利用する一種の水性塗料である、更に進んでは大豆蛋白質にホルマリンやうのものが作用させて一種の不燃性セルロイドを作る研究もあり、例へば佐藤定吉博士の發明にかゝるサトウライトの如きものは餘程工業的に研究されたものである、[illegible]で至らない、とにかく豆粕[illegible]工業の原料にしやう[illegible]今日のところ十分進[illegible]ないが恐らく此の[illegible]そ油房振興のみな[illegible]價値增加を爲し得[illegible]ゐる樣に思はれる

[illegible]の主要成分たる油[illegible]方面に使用されつ[illegible]來はどうであるか[illegible]及してみやう、大[illegible]

豆油は古くから色々な事に使ふ減摩油とか燈油に一部分用ひられてゐることはいふまでもない、近年はこれを精製して天ぷら用の油として我々の食膳にのぼり、更に精製してサラダ油のやうなものにすることも相當行はれてゐる、殊に歐米諸國では早くからかやうな方面に於ける用途が尠くない。

◇

又大豆油に水素瓦斯を作用させると凝固して純白な硬化油になるが(油脂工業會社では既に生産を行つてゐる)硬化油は石鹸、バター、ラードの如きもの代用品、詰り人造ラードや人造バターの原料となる、この硬化油を分解すれば蠟燭の原料となるステアリンを製造することも出來れば副産物として必要なグリセリンを作ることも出來る、これらの生産は既に滿洲では一部分工業的に行はれてゐる。

◇

次に豆油はペンキやワニスの原料に用ふることも出來、この塗料工業は滿洲でも相當實際化されてゐる、元來ペイントの油としては亞麻仁油や滿洲産の蘇子油のやうな乾燥性のものが一般に使用されてゐるが大豆油はこれらに較べて乾きが遲い缺點はあるも一部分代用として使ふことは容易であり、又經濟的であるとされてゐる、歐米諸國でも滿洲大豆はこの方面に相當澤山用ひられてゐる、殊に將來は特殊方法によりもう少し乾き易い優良な油とすることが出來るやうに思はれるから代用品としてのみでなく大豆油單獨でペンキやニスを作れる時代が來るかも知れない。

豆信業務規定變更
關東廳に申請

豆信專務田中取引所副所長森田兩氏は昨十三日午後關東廳を訪問し滿鐵の米突法實施につき附報の如く現在一車四萬九千斤三百五十斤を四萬九千二百八十斤三百五十二斤に變更され、又賣買單位は從前の通りであるが、過剩斤たる二百八十斤は受渡し標準値段に於て受渡の際決濟されることに變更されたので、業務規定變更方を申請した

低落また低落 鈔票新安値
今朝安値は六圓十錢
金本位制採用入電に

昨日來地場鈔票は底知れぬ低落を重ねてゐた氣先、昨十三日後場安値は遂に六十六圓六十五錢と當市場開始以來の新安値へ辷り、今朝は六十六圓六十錢と弱氣配に寄り安値は六圓十錢を入れ、六圓四十五錢と止め、新安値を演出した、之れは海外材料として銀塊は別項の如く一齊に安値を入れ、又上海標金は別項の如く「國民政府財政部では十三日金本位制法律案を發表した」を材料として、これも亦市場開始以來の新高値五百二十六兩臺まで昂騰したこと等を材料とし、これに華商側の仕手關係も亦大いに影響したこと等が原因とされてゐる、倫銀は現在印度が少し買ひ進んでゐるが、これとて永く續く道理はなく、支那は銀の洪水に苦み、支那時局はかへつて、銀弱材料と見る向きが多く、爲替、標金共買ひ戻し多く、銀行の標金買ひ持ち相當多く、乘換鞘を大きく取るか、現物を取るか、又滙豐建値によるといふ態度を示して居るから尙標金は高見込みと報ぜられてゐる、從つて地場鈔票は目先き依然弱氣配と一般に觀測され、一部華商では五十八圓臺までの暴落がありはしないかと觀てゐる程である

誤電か
低落は仕手關係
德泰公司 加藤常務談

この暴落は大部分仕手關係に影響されてゐると思ふ、商通の入電たる國民政府の金本制發表云々は眞實とは思へない、もし眞に發表されたのなら、標金はもつと暴騰しなければならず、又滙豐の建値から考へても五百三十三兩に上伸せねばならない筈である、この電報は何かの誤電ではないだらうか、この六月一日が舊の五月五日即ち決濟期に當るから滙申はもつと下り、六月一日までは地場鈔票は弱氣配に推移するものと思ふ

金本位制案を發表

商通の入電によれば國民政府財政部では十三日金本位制法律案を發表したと

標金は此邊天井か
三井銀行出張所長 松本文彦氏談

銀價の暴落は勿論仕手關係である「金本位制云々」の入電は私の方には入らないが、市中で一寸耳にした、しかしもしこれが眞であつたら標金はこの位の急騰ではすむまい、しかしたゞ發表したといふだけなら差したる材料とはならないと思ふ、上海では標金現物が各銀行で攪援つて行き、拂底しきつてゐるから、買方のオプションだとは云へ、賣方もさして強く出られないから、この邊が天井ではなからうか、滙豐の建値からいへば標金はもつと高くならなければならない筈だらうが、だれも當にしてゐる人はない常に一兩位の差はある

仕手關係
目先回復難
正金支店長 西山勉氏談

今日の暴落はこれといふ材料もなく、華商側の仕手關係によるものである、銀價の回復は、世界的不況が回復されなければ、不可能である、從つて到底目先き回復されさうにもないと思ふ

滿鐵收入 四月激減
前年同期より百十萬圓

四月中に於ける滿鐵の鐵道收入は八百二十二萬二千四百八十四圓で之を前年同期の九百四十一萬五千六百七十九圓に比し百十九萬三千九十五圓の減收である、收入別に示せば左の如くである(單位圓×印減)

	四月分	前年比
客車	一、四四四、八二〇	×四六一、一六五
貨車	六、五三四、一七一	×六六三、一六九
倉庫	二六、一四三	八、一六五
港灣	九八一、一五六	五七、八九九
諸口	一三一、〇九九	×一〇八、〇三一
技研	三、一〇五	三、〇九九

尙輸送數量は乘車人員九十萬八千三百二十二人で前年同期より十萬八千五十七人を減じ、石炭五十五萬四百八十噸で前年同期より六萬四千五百二十二噸の減少、又その他貨物六十九萬八千三百八十四噸で前年同期に比し八萬八十四噸を減少した、更に收入は石炭二百三十五萬七千八百八圓で前年同期に比し四十五萬八千三百二十八圓減、その他の貨物四百十八萬三千四百六十三圓で二十三萬四千九百六十一圓の減少を示した

朝鮮運送設立
臨時株主總會も終る
愈十六日から開業

朝鮮運送會社臨時株主總會は十二日午後三時より鐵道局食堂に開催、本岡取締役の開會の辭に次いで河合專務新株募集に關する報告あり立石、杉の兩監査役より監査の報告あつて之れで資本金二百二十萬圓の會社設立報告總會を完了した譯である、檢査役選任說もあつたが結局物にならず、更に馬山の米田氏より定款變更要旨に關する說明を求めたが當時者にあつては席上說明を避け四時半散會し懇談會に移り同問題につき種々懇談した尙愈々十六日から開業するので鐵道局より十五日には指定運送人として正式に指命がある筈

直轄店は四十一驛

朝鮮運送會社の直轄店は四十一驛で內支店は十二ヶ所、營業所は十二ヶ所、出張所並に支店は本社直屬とし營業所は支店及出張所の監督を受けることになつてゐる、而して支店長、營業所主任並に出張所主任は大體現在の各驛に於ける運合參加店作業組支部長を以て就任を見ることになつてゐる、因に目下の處支店所在地は釜山、馬山、大邱、仁川、京城、平壤、新義州、群山、光州、元山、咸興、清津

五年越して漸く實現
河合專務語る

朝鮮運送會社設立につき河合專務は語る

運合會社設立については過去五年滿三ヶ年間に亘りて隨分曲折があり、種々なる難關を經、凡ゆる運合反對の宣傳、切り崩し運動も漸く切り拔けて終始一貫して運合に邁進した結果が今日愈々目的を達成して增資計畫も無事に總會を完了するに至つたのであるが、今後は更に實務の開始であるが之れとて今日迄に既に直轄店や各驛の作業組合支部に於て準備を進めてゐたので豫定通り十六日から支障なく營業は開始することになつてゐるのであるが、今日迄隨分苦心をなめた結果一致團結した、今後のこの會社は鐵道局の規定の方針に基き朝鮮の產業開發の爲め大に努力したいと思つてゐる

露領沿黑州の銀行と統一

露領沿黑龍州地方の銀行を統一しコルホーズ聯合銀行としてハバロフスク市に開設することになつたが、主として對外關係の金融と地方コルホーズの機關となつて活躍する由

油房聯合委員會

大連油房聯合會では十四日午後二時半より取引所樓上會議室に於て耳付粕規定變更につき委員會を開催すると

高橋正隆常務

上京中の高橋正隆常務は來る二十三日蒲ほんこん丸にて歸連の豫定なりと

東邦配當据置き

【東京十四日發電】東邦電力は十三日の重役會議にて當期配當年一割据置きを查定した

手形交換(十四日)

	枚數	金額
金	一、三二〇枚	三、一八〇、〇五一圓
銀	六六一枚	二、一二三、〇五二圓

黄塵

◇…當地油坊業は近來科學肥料硫安に壓迫され不況のドン底に低迷してゐたが最近內地における豆粕の需要が次第に擡頭しつゝあると傳へらる。

◇…これは母國農村において硫安が漸次飽かれ氣味となる一方豆粕宣傳の効果著るしく需要を換起したためであるが滿洲として何としても福音である。

◇…久しきに亘り豆の都の大連で油坊の疲弊が喚かれたが或は復活が出來る前兆かも知れない。

◇…ソコデだ當業者はこの機會を失はず油坊工業を合理化し化學的製產の工風を加へ輸出原價を引下ぐべく努力することが肝要だ。

◇…滿鐵會社としても內地における豆粕需要の增加は大豆輸送の運賃增加といふ間接的利益を齎すことであるから油坊工業に對しては一層の保護援助を與ふべきであらう

市況

今日の相場

▲五品 先物七圓六十錢
▲雜株 新豆錢鈔共同事
▲綿糸 十限一六〇圓臺
▲綿布 氣乘薄く見送り
▲麻袋 銀安で買氣無し
▲大豆 五圓限五錢方高
▲豆粕 現物强定期保合
▲豆油 出來不申の不振
▲高粱 出廻りなく强調
▲鈔票 六十六圓四五錢
▲大洋 九十七圓八五錢
▲小洋 百八十三圓二〇

特產
銀暴落に大豆昂騰

大豆は銀安に昂騰を示し豆粕現物は邦商の買ものあり强調しかし先物は添はず保合、豆油は出來不申の不申、高粱は出廻りなく强調を呈し大引

◇定期前場(銀建)

▲大豆(昂騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇四〇	七〇七〇	七〇四〇	七〇五〇
六月末	七一一〇	七一四〇	七一一〇	七一四〇
七月末	七二一〇	七二八〇	七二一〇	七二一〇
八月末	七二五〇	七二六〇	七二五〇	七二六〇
九月末	七三〇〇	七三〇〇	七三〇〇	七三〇〇
出來高	二百車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	三三〇〇	三三〇〇	三二九五	三二九五
七月限	—	—	—	—
八月限	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇
出來高	六千枚			

▲豆油(出來不申)

▲高粱(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	四四七〇	四四八〇	四四七〇	四四七〇
六月末	四三九〇	四三九〇	四三九〇	四三九〇
七月末	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇
八月末	四四五〇	四四五〇	四四五〇	四四五〇
出來高	五十八車			

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	七〇三〇	七〇七〇
出來高	百七十車	
普通(袋物)大豆(裸物)	六九四〇	六九四〇
出來高	三十車	
豆粕	二二八五	二二九〇
出來高	二萬枚	
豆油(出來不申)		
高粱	四五二〇	四五三〇
出來高	五車	
包米	四三〇〇	四三〇〇
出來高	六車	

定期喰合高(十三日帳入)(前日對比較△印減)

品名	喰合高	前日對比
大豆	二八七〇車	△四車
高粱	二二八車	一〇車
豆粕	一一四一千枚	△六一千枚
豆油	一七八五百箱	△六〇百箱

錢鈔
銀塊安標金高で鈔票新安値

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の三と(十六分の一安)先物は十九片八分の一と(十六分の一安)紐育は四十一留比八分の一と(八分の一安)孟買は五十六留比八分の七と(八分の一安)滙申は七十一兩四五、滙申は七十二兩七〇・大洋は九十七圓八十五錢 日米は四十九弗八分の三と(同事)米英は四弗八十六仙八分の七と(同事)米支は四十五弗二分の一と(四分の一安) 上海標金は五百二十二兩二と寄り二十三兩八と止め當市の銀價は新安値へ暴落した

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	六六六〇	六六六〇	六六四五	六六四五

出來高 期近 六百九十八萬圓

◇現物取引(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	六六四〇	一三三五	一〇三〇
十時	六六三〇	一三三七	一〇三五
十一時	六六三〇	一三三五	一〇三五
十二時	六六四〇	一三三六	一〇三〇
出來高	(銀對金)八萬二千圓	(銀對洋)一萬九千圓	

商品
前場

麻袋(不動) 產地連日保合と銀[illegible]なるも引け一圓五六十錢安を入れ地場銀票安に賣買双方共不氣乘閑散裡に散會した

銀

地場鈔票は昨後場六十六圓六十五錢の新安値へ低落したが▲今朝は海外材料としての銀塊は一齊安を入れ、又上海標金は國民政府財政部で十三日金本位制法律案を發表したとかで標金は有史以來の新高値五百二十六兩まで暴落した▲地場鈔票は以上の銀安材料を眺め又仕手關係も手傳ひて市場開始以來の新安値六十六圓六十錢と寄り一氣に急落し六圓十錢と安値を入れ六圓四十五錢で大引▲倫敦は印度も永の買みもなかるべく支那は銀の洪水に苦しみ時局も却つて銀弱材料と見られてゐる從つて地場鈔票も見先き依然弱氣配と觀られてゐる▲國民政府は金本位制法律案を發表したさうだが實施はとても出來さうもないことだ

豆

各品共に銀價の暴落にも影響されず歐洲の買氣なく弱氣配に推移してゐたが▲今朝は大豆は銀の新安値を眺め近物五錢方の昂騰を呈し出來高も旺盛を示した▲豆粕現物も內地方面の買氣旺盛に强調を呈したが定期は添はず保合▲豆油は昨後場も今朝も出來不申の不振であつた▲高粱は最近出廻り減少で强氣配を呈してゐたが今朝は出廻り一車もなく强調を呈した▲現物大豆は三井、三菱、福昌、建成、萬合公で百三十車油房四十車▲豆粕は三井、勝間、瓜谷で二萬枚の各手合はせがあつた▲今日の油坊生產高は五萬九千枚で操業工場は二十五軒である▲昨日午後豆信田中氏は關東廳を訪問し米突法により業務規定變更方を申請した▲今日午後二時半より油坊では耳附粕に關する委員會を開催すると

株

今朝北濱は諸株共小鞘り新東短期も昨後場に引續き强調を示したので當市現物の新東も六十錢高と引締つたが地場株は依然として動かず無味閑散の納會相場であつた▲內地主力株も激戰後の一服相場となり連日小浮動を繰返すのみで不透明な商狀を辿つてゐる▲從來のやうな放慢な安心買人氣はその跡を絕つたが相場に依然として力のないところから賣買双方共氣迷ひを深くしてゐるためであらう▲ただ今次の上げ相場で踏玉も可なりの分量に達したので中限などは急激なる玉整理が出來た模樣であるが當限は依然として解け玉遲々として進捗せぬ狀態にあるは買方としては重荷であらう▲賣方踏運後の相場は財界の實情に比して株價は人爲的テコ入れの爲めに眞價以上に買上げられた傾向もあり月末にかけては正株が重荷となつて意外の暴落を演じはせぬかと思はれる節もある更に銀價の慘落なども惡ひ影響を與へないでは置かないであらう。

市場電報(十四日)
銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一九片十六分三
同 先物	一九片八分一
紐育銀塊	四一仙八分一
孟買銀塊	五四留比八分七
英米爲替	四弗八六仙八分七
米日爲替	四九弗十六分七
米支爲替	四五弗二分一

棉花

◎米棉(換算十五錢高)

限月	相場
現物	一六仙五五
五月	一六仙六六
七月	一五仙四四
十月	一五仙三九
十二月	一五仙三二

◎印棉

品目	相場
ベンゴール	一八六留比
ヴローチ	二五八留比
オムラ	二三二留比

鈔票續落に買氣益々沮喪して全然氣配も釘付にて無味閑散裡に散會した

綿糸布(保合) 米棉當限七十五錢高先二十五錢安印棉休會明けは三四十錢高大阪三品は前場寄保合

株式
地場株變らず平凡納會

北濱前場寄は大株五十錢高大新七十錢高鐘紡鐘新二十錢高と小鞘り新東短期も四十錢高を報じ新東も六十錢高鐘新五十錢高に寄つたが引際ボンヤリとなり地場株は依然として釘付商狀で平凡な納會であつた出來高定期二百八十枚現物三百七十枚

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	八月限	一三九、四	一〇〇
同	十月限	一三〇、五	一〇〇
同	同	一三〇、七	一〇〇
出來高			三百梱

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	七四	—	七六
新豆	寄	三三五	—	三三三
	引	三三五	—	三三三
錢鈔	寄	—	—	—
	引	—	—	—
新東	寄	六六〇	—	六二三
	引	—	—	—
五品	中	七四	—	七六
	引	—	—	—

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三七	—	—	三七
商信	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	三七	三七	三七	三七
氷新	—	—	—	—

◇現物(乙部)

銘柄		相場
大新	寄	四八九
	引	—
鐘新	寄	八〇
	引	—
東新	寄	六六〇
	引	六六四

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代渡	日步
五品	七五	三〇	三〇	四
商信	—	—	—	—
新豆	三五	五〇	五〇	三
錢鈔	三五	四〇	二〇	—
氷新	—	—	—	—
東新	六五	—	渡一〇	四

滿鐵株(聢り)

銘柄	相場
△東短前場	—
滿鐵新株	三五圓
△大阪現物	—
滿鐵親株	六九圓十錢

後場(保合)

◇定期(當限落)

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	—	—	—
新豆	寄	—	—	三三
	引	—	—	—
錢鈔	寄	—	—	三三
	引	—	—	—
新東	寄	—	—	六二五
	引	—	—	—
五品	中	—	—	—
	引	—	—	—

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七三	七三	七三	七三
商信	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物(乙部)

銘柄		相場
大新	寄	四八四
	引	—
鐘新	寄	七六
	引	—
新東	寄	六二二
	引	—

株式出來高(十四日)

區分	出來高
定期	三一〇〇枚
現物	五四〇〇枚
合計	八五〇〇枚

上海爲替情報

【上海十四日發電】倫銀は支那賣り印度買ひ二安紐育は八安に高寄り寄り鼻より志豐永、恒興賣り大連筋物品筋買のボンド五月十片四分の一見高滙豐買ひ正金八分の一まで買ひたる爲急騰した、大連筋は爲替賣り標金買つた賣り物薄の折柄滙豐建値を再び引き上げ標金一段高かりしも銀行の買ひもの一服と志豐永、三菱二千本賣りに反落したるも安値賣物なく保合、又ト三井二千本、大德生、恒興賣りと滙豐の引き下げに引け下押す目先き此邊保合ふが少し反撥を見越されるも大いした下押はないと思ふ、倫敦先物閑散、十四兩五匁にての地銀割安なるも時局不穩なる爲五、六月物輸出期にさいし例年に比し輸出少なく從つて銀の移動なく銀塊のダブツキと安値は輸入の取り決めあり支那人の爲替入月物賣り越しの買ひ埋めをひかへこれ等の事情に變化なき限り各地に比し金の割り高はまぬかれず

上海標金

寄値	五二二兩七
高値	五二六兩〇
安値	五二〇兩八
止値	五二一兩六

爲替相場(正午十四日)

正金(銀勘定)

項目	相場
日本向參着賣(銀百)	六六圓〇〇
同 十五日賣(同)	六七圓三三
上海(向參着賣銀百)	七二兩五〇

正金(金勘定)

項目	相場
倫敦向電信賣(圓)	二志〇片三二分九
信用付二月賣(同)	二志〇片三二分三
米國向電信賣(百圓)	四九弗八分一
同 九十日拂賣(同)	四九弗八分一

鮮銀(金勘定)

項目	相場
倫敦向電信賣(圓)	二志〇片八分三
同 二ヶ月賣(同)	二志〇片八分三
紐育向電信賣(金百)	四九弗八分五
上海向電信賣(金百)	一〇八兩四分三
同 賣(銀百)	六八圓二〇
日本向電信賣(銀百)	六五圓八〇
同 十五日拂賣(同)	六七圓〇五

奥地市況(十四日前場)

特產

▲大豆

地名	限月	寄付	大引
開原	五月限	一〇七、〇	一〇七、〇
	六月限	—	—
	七月限	—	—
長春	五月限	—	—
	六月限	—	—
	七月限	—	—
公主嶺	五月限	二、一五	二、一五
	六月限	—	—
	七月限	—	—
哈爾賓	五月限	一、四〇	一、四〇
	六月限	一、三五五	一、三五五
	七月限	一、三五五	一、三五五

▲高粱

地名	限月	寄付	大引
開原	五月限	六六、〇	六六、〇
	六月限	—	—
	七月限	—	—
長春	五月限	—	—
	六月限	—	—
	七月限	—	—
公主嶺	五月限	一、二〇五	一、二〇五
	六月限	一、三一〇	一、三一〇
	七月限	一、三五五	一、三五五

▲小麥

地名	限月	寄付	大引
哈爾賓	五月限	二、一四〇	二、一四〇
	六月限	二、一五五	二、一三〇
	七月限	二、一八〇	二、一三〇

錢鈔

地名	種別	寄付	大引
奉天	(奉票)現物	六六〇〇〇	六六〇〇〇
奉天	(奉票)先限	—	—
大洋	奉天現物	六五、〇〇	六五、〇〇
大洋	票定期	一五四、三〇	一五四、六〇
開原	(奉票)現物	九三〇〇、〇	九三〇〇、〇
開原	(奉票)先限	九四〇〇、〇	九四〇〇、〇
同	(鈔票)現物	六三〇〇、〇	六三六〇、〇
同	(鈔票)先限	—	—

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一〇八、〇	一〇八、〇
東新	九四、三	九四、三
品 當	—	—
中	一一〇	—
先	七四、〇	七四、〇
豆新 當	一一、〇〇	一一、〇〇
中	—	—
先	一二、七	一二、七
同(短期)	東新	品
寄値	九四、四	—
引値	九四、三	—
高値	九五、〇	七〇〇
安値	九四、三	七〇〇

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六八、五〇	六八、四〇
新株	四八、九	四八、六
大新	一六八、〇	一六八、三
紡新	—	—
鐘紡	七六、一	七六、〇
日郵	五〇、〇	—
郵船	—	—
東新	六四、〇	六四、〇

大阪期米

限月	前場寄	前場引
當限	二七九五	二七八四
中限	二八一九	二八〇一
先限	二八四〇	二八二九

東京期米

限月	前場寄	前場引
當限	二七九九	二七七五
中限	二八〇八	二七九〇
先限	二八二三	二八〇八

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
五月	一五六六〇	一五四九〇
六月	一五六〇〇	一五五五〇
七月	一五八〇〇	一五五八〇
八月	一五九二〇	一五六八〇
九月	一五九五〇	一五九五〇
十月	一六〇二〇	一五九九〇
十一月	一六一三〇	一六〇二〇

大阪棉花

寄引 大引

神戸豆粕

限月	前場一節
當限	四八〇〇
先限	四七五五

横濱生糸

限月	前一節	前二節
四月	三四八五	—
五月	三四九〇	—
六月	三四四〇	—
七月	—	—
八月	—	—

印度麻袋

限月	前一節	前二節
限月	一一八〇〇	—
五月	一〇八〇〇	—
六月	一〇三〇〇	—
七月	一〇一六〇	—
八月	一〇一三〇	—
九月	一〇〇〇〇	—
十月	—	—

項目	相場
實物直積	二四留比十六分七
織物直積	二三留比〇分〇
爲替相場	一三七留比〇分〇

社說

支那中原の南北對峙
結局有耶無耶か

半身不隨意といふ病氣があるが支那の現狀と對照し果して如何。日支關稅協定の調印に對し四の五のといつてゐるかと思ふと一方、北方聯合軍は南京政府を根本から否認せんとしてゐる。蔣介石首席も例の奥の手を出し政治的に解決實は金錢を以て雜色軍その他を買收せんとしたが毎度のことに金の才覺が思ふやうにならず故鄕の奉化へ歸つたり漢口へ出かけたり又は漸く徐州の戰線に出て來たものゝ果して幾許の戰意が存するのやら掛聲ばかり大にして實力の伴はぬは支那芝居そのまゝの感がないでもない。こんなことで一體、調印の六日から十日間を以て效力を生ずると日支關稅協定を明十六日に至つて何とするのであるか。胡漢民の敵本主義は兎に角として政府の首席が金の才覺や軍閥との抗爭のため首都に不在勝ちであつては政務の程も思ひやらるゝ。

そは兎も角、中央政府軍は北方聯合軍に對して果して勝味があるであらうか。北方の閻錫山を中心とした馮、それに汪、李らの蔣に不快を懷ふてゐる連中が主義、思想(そんなものがあるとして)を異にしつゝ共同の反對目的のために政務は閻に黨務は汪に軍務は馮にと部下の策士連が勝手の宣傳、それが如何の結束力、如何の團結力を發揮するや否や南方では早くも烏合の衆と評してゐる。勿論、南方政府軍といへども烏合の衆たることにおいて五十步百步。ただ少し金錢といふセメントの分量が多いといふ程度に過ぎぬのであるから一つ何かに躓けば瓦落々々と倒潰するのは先づ當然。そこで吾人は正邪順逆は問題でなく實力如何と眺めるのであるが南方に少し飛行機が多く北方の蒙昧兵が文明の利器として驚くぐらゐのもので南方が必ず勝つとも限らぬ。

尤も矢は絃上にあり緊張に緊張を告げ滿を持して放つかと思はせるが支那の戰爭、何時ぐづ／＼に崩すくみ有耶無耶に尻古垂れるか知れたものでない。日本人が思ふやうな戰爭がテキパキ行はれたものなら今頃、大體の新舊軍閥は種子切れになつてゐたであらう。而して支那の統一、南北の統制といふことは遠い昔に實現せられてゐたかも知れない。が何事も右から左へと徹底せぬのが支那、愚圖愚圖してゐる裡に次ぎの時代へと形式だけは替へて行くから精神に至つては依然として舊態を保存することになり何時まで經つても統一どころか南北の對峙、軍閥の抗爭が年中の行事。青天に霹靂、霹靂後の快晴といつたやうな痛快味を滿喫することは不可能である。

南も北も同じ孫文の三民主義とやらを遵奉するところの軍閥が河南の平野を中心として東西數百里に亘る戰線を張る。苛斂誅求は年中のことながら尚かつ戰費、軍費と徵發され、その上に戰爭とあれば沒有法子で安き心もなく氣のきいたのは遠く北滿へ移住といふやうなことになるのである。それも乘るか反るかテキパキと戰つて勝敗をつけ戰爭を完了として[illegible]眞に統制の主人公とでもあるなら格別、數百里に亘る戰線を張つたもの〻結局これも有耶無耶で雲散霧消するのではあるまいか。如何に沒有法子に訓練されては居るもの〻善良たる民衆こそイ〻面の[illegible]

そこで吾人は常に南北の融和を說き同じ孫文の三民主義とやらの旗下にあるものが勢力抗爭、私利私慾から血で血を洗ふのは愚の骨頂だといふが支那の抗爭は勢ひといふべく理否を超越してゐるから或る意味では不可抗力。然らば思ひ切り爬羅剔抉し外科手術を施してと思ふが支那の國民性は五千年來の產物で帝力われに於て何かあらんやとダイオヂネスのやうに赤土の家の窓から差し込む天日に滿足するといふのであるから徹底味を缺くこと夥しい。民衆と軍閥とは世界が別であるから今日なほ內亂抗爭に餘念なきを得るのであらうが昨今のやうに南北對峙といふ風に戰爭を大仕掛にやられては民衆はたまつたものでなく近隣迷惑またこの上なしといはねばならぬ。ただ支那のことであるから必ず眞劍勝負をやると限らず北が勝つても南が勝つても第二、第三の軍閥は發生すべく役者は替るにしても舞臺は變らず依然たる內亂抗爭の支那で推移するものと觀測するの外なく吾人は東三省の軍閥が中原の禍亂に走せ參ぜぬを闕外の幸福を兎も角も味はひつゝあるを破壞せられざらんことに懸念し南北對峙の推移を眺むるより外に途のないことを遺憾とする。

特別議會の幕閉づ
議場混亂し休憩三たび
日程半で遂に散會す
十三日の衆議院本會議

【東京十三日發電】衆議院本會議は休憩三時間の後午後一時三十七分再開、傍聽席は相變らず立錐の餘地もない

藤澤議長 本日は會議終了日で議案も輻輳してゐるから發言者もまた議席に於ても議事進行を妨げるやうな言動を愼しまれたい、又去る十日の森本一雄君の最後の發言は不穩當と認めるから取消されたい

森本一雄氏(國) 潔く取消すべきと私も思ふが、そのために當時の私の心情を述べさせて貰はねばならぬ、當時の心情を述べさせぬなら取消すことは出來ぬ

とさつさと降壇すれば

藤澤議長 森本君は議長の命に服從せぬから懲罰委員に附する

と述べ、次で十日より持越の一瀨氏外九名を懲罰委員に附するの動議を上程、起立により採決の結果民政黨全部起立多數を以て成立、次で十日の尾崎行雄氏提出の小橋前文相奏薦の責任に關する決議案の討論に入り

廣瀨德藏氏(民) 小橋氏奏薦については首相自から衷心遺憾の意を表せるにこれを他人が責めるは可笑しい、政友本黨幹事長としての小橋氏のやつたことは何等首相の責任でない(更にはるべき人だ、政友會は小川君出し)尾崎君の演說及大浦事件を取り提案せず尾崎君の如き人の尻に附いて騒ぐとは譯が判らぬ

と逆襲、政友側は躍起となつて妨害し、民政またこれに應酬して議場騷然たる裡を代つて東武氏(政)登壇すれば大臣席には貴族院本會議のため濱口首相以下一人も姿を見せないので「總理大臣はどうした」と叫ぶ者あり

東武氏 苟しくも天下の野黨から問責決議案を提出されこれが討議に際し總理大臣が出席せぬとは不都合である、議長は直に總理の出席するやう取計らはれたい

と述ぶるや民政側こゝぞとばかり「出席するまで休憩々々」と逆手を取り東氏も依然首相の出席を强硬に要求したので藤澤議長休憩を宣す、時に午後二時五分

一松氏 東君は首相が三回虛僞の上奏をなしたといはれたが如何にしてその上奏を知つたか其の內容を知らずして虛僞の上奏等として一國の宰相を責むる東君を懲罰に附すべし

と結んで降壇、この時一松定吉氏(民)より東氏を懲罰に附すべしとの動議をなし趣旨辯明のため

東武氏 文敎の府に位置し得る人格高潔の人として奏薦した文相が被疑者であつた、これを虛僞と言はずして何ぞ、また文相の辭表には病氣の故とあるが疑獄に關聯したためである首相自ら知つて居た筈だ、次ぎに小橋君起訴のため上奏した際首相は始めて事件を知つたかの如く申上げたこれ虛僞に非ずして何ぞ

議長、一松氏の動議採決を起立に問ひ多數を以て可決よつて懲罰委員長

土屋淸三郎氏 只今より懲罰委員會を開きます

と議場に諮り民政側懲罰委員退席する

さんぐ津雲氏
民政に嫌がらせ

再び討論を續行

津雲國利氏(政) 昨年の疑獄事件の際政友會側の事件だと手を打つて喜び一度民政黨に關係して來ると之は政友會の陰謀だと惡宣傳をするのが明るい政治の遺方か、憲政會當時の越鐵事件について私は久須美東馬から直接聞いたから三大臣を告發したのだ

と越鐵事件を持出せば民政側頻りに大聲叱呼して妨害するが津雲氏「嘘と思ふのなら」と悠々久須美の豫審調書を讀上げれば政友「讓々」と大喜びで民政側嫌な顏をする、津雲氏更に若槻前首相に對する嫌疑の事實を擧げ更に當時憲政會代議士が久須美から饗應を受けた事實を指摘し「それに臭い關係があつたに違ひない」と斷ずれば名を擧げられた川崎克氏(司法政務次官)「無禮を云ふな」と怒號する、更に津雲氏さんざん憲政會內閣時代の嫌疑事實を發き民政側を嫌がらせた末漸く小橋問題に觸れ

津雲氏 民政黨の反對論は尾崎君の過去を云々するばかりである、これこそ尾崎君非難の空氣を利用し國民を誤魔化すものだ、首相自身は貴族院で恐縮して承認してゐるではないか、首相は小橋問題は判決が確定せぬから答辯し得ぬと云ふが何時まで決定せぬ決定せぬで延ばして行くのか强くも明るくもありはしない、小橋の行跡は新聞紙上に明白なことで首相がこれを知らなかつたとは云へ、そういふ人を文相に奏請して敎化總動員をやらせた責任は斷じて免れ得まい

と新聞記事を讀み上げ、演壇一杯に取散らされた書類を打振つて次から次へ當り散らし敎化總動員より更に失業問題に論及し又書類を讀み上げんとして議長の注意を受くるや眞赤になつて最近の頻々たる某重大事件を擧げさんざん當り散らして發言を終るや、無產の淺原氏壇上の津雲氏に「津雲何故それを讀まぬ、卑怯者讀めないのか」「失業者のテロリズムのため讀んで置け」と叫ぶや津雲氏「讀みたいが議長が許さぬ」と應酬して降壇

「總理大臣を出せ」
野黨、議長席に突進騷ぎ
傍聽席からはビラ撒布の合の手
收拾困難に陷つてまたも休憩

この時議事進行につき

原惣兵衛氏(政) 貴族院は終了せるに首相のなほ出席せぬは如何、次に首相に東君を懲罰に附したり討論に對する質疑を許したりするのは在野黨の決議案を阻止するものと思はれる、第三に議事の進行を圖るなら何故民政黨の妨害を中止させぬ

藤澤議長 首相の出席に對しては通告してある、討論への質疑は許した先例がある、議長は民政黨と通謀してはゐない

藤田若水氏(民) 先程津雲君の述べられたことは全部虛構である、小橋氏は起訴される前に辭表を捧呈してゐる、小橋奏薦に當り小橋事件を知らなかつたことを過失といはれるが知らなかつたことゝ過失とは違ふ、それを責任呼ばはりはもつての外だ

と政友側の罵々たる彌次の裡に反對討論を述べ、次で議長は津雲氏の懲罰に對する工藤鐵男氏(民)の質疑を許し、工藤氏登壇すれば政友會殺氣立ち「總理大臣はどうした」「貴族院は三時半に散會してゐるではないか」と叫び青木、藤井氏等議長席に押掛け野黨森幹事長、島田、秋田氏等「總理大臣を出せ」と呶鳴れば

議長 總理大臣には通告してあります

と答へる、與黨は「休憩々々」を連呼し演壇下には野黨數名驅けつけ熊谷直太氏も議長に何やら交涉してゐる、工藤氏發言せんとするも野黨側喊聲を擧げて速記臺を包圍する斯くて混亂に議事進行を全く妨げられ五時四十一分遂に休憩となる、議場には「首相行方不明だ」といふので與黨、野黨なほ去らず、猛者連互に罵聲を擧げ物凄い空氣を示す、午後八時二十分より四度開會

議長 十四日貴族院にて閉院式を擧行する旨仰出された

と報告し議長は工藤鐵男氏を罷くと野黨側の森恪氏「總理大臣はどうした、總理大臣を出せ」と怒號すれば

議長 通告してありますから工藤君の質問演說が濟むまでに出席されることゝ思ふ

と云ふや森恪氏を先頭に原惣兵衛、岡田宇一郎ほか十數名議長席に突進し議長の措置を詰り開會劈頭より議場大混亂に陷り、工藤氏又も立往生、この時左側正面の傍聽席より「失業者に職と パンとを與へよ」とビラを政友席上に撒布した男あり、この者は建國會東京府支部長で深川區古石場二ノ一石井常吉(三七)といひ直に守衛に捕へられた 政友會は「議長これは何だ」とますます激昂し到底收拾すべからず遂に藤澤議長は八時二十九分休憩を宣し、午後十一時半四度再開したが、政民兩派議員より一身上の辯明を求むる者續出し議場混亂に陷つたので遂に藤澤議長は本日中に日程を終了し得ぬのでこれで散會する旨宣し茲に特別議會は終了した、時に十一時三十八分

懲罰委員會

【東京十三日發電】衆議院懲罰委員會は十三日午後八時三度開會せるも政友側の依然たる騷擾のため議事進行し得ず又休憩室に入り流會となつた

正道を辿り議會を突破
成績は先づ良好だ
＝濱口首相談＝

第五十八議會も愈十三日を以て終了した、總選擧後特別議會は從來やゝもすれば混亂狀態に陷り或は會期延長となり、或は議案の審議未了となつて不體裁の儘閉會せられた事例が尠くないが、今回はそんな事も起らず政府提出豫算案及び法律案は昭和三年度決算案を除くほか殆んど全部議了した事は先づ好成績といつてよい

兩院に 於いて主として論議せられた問題は法律案又は豫算案に非らずして海軍條約統帥權、小橋事件、失業救濟問題で野黨も精銳をすぐつてこれ等の問題に對し政府に肉薄したが、政府は誠意を披瀝してこれが答辯に當つたのでその內容或は不充分であつたかも知れぬが結局われ等の誠意を諒とされた事と思ふ、今や現內閣は天下の廣居に居り正位に立ち天下大道を行つて居るつもりである、しかして大道の前に橫はる一切障碍はこれを踏み破つて進む外はない古い言葉であるが行くに徑によらず廻り道をしても大道を通るのが現內閣の方針であり民政黨の信條である、今回の議會においても徑により軌道を踏んだならば今

少し樂 に議會を突破する事が出來たかも知れぬが私共にはそれが出來ぬ、或は馬鹿正直の非難があるかも知れぬがそれを覺悟の前で正道を辿つたのである、それにしても斯る好成績を擧げ得たるは大體に於いて議會及び國民が政府の政策を是認したものと認めても差し支へないと思ふ

議場の混亂
眞に遺憾
藤澤議長談

この特別議會に於て追加豫算案並に義務敎育費增額案を初め政府提出案を議了し議會開會の目的が達せられたことは喜ぶべきである、只最後まで議場の混亂を釀したことは立憲政治のため眞に遺憾に堪へぬ、次期議會からはかゝる事なきやう努めたい

閉院式
十四日擧行

【東京十三日發電】第五十八議會は十三日會期滿了につき十四日閉院式擧行の旨仰出されたので、政府は十三日午後四時これを貴衆兩院議長に通達した

『濱口首相よろしく骸骨を闕下に乞ふべし』
東武氏盛に毒づき懲罰に附さる
依然、泥試合の醜態

再度休憩の後を受けて午後二時二十分開會、先づ

藤澤議長 總理大臣の出席を求められたのでその旨傳へたところ只今貴族院本會議中で出席出來ないとのことでやむを得ず會議を續けます

と宣し東氏を罷く

東氏 貴族院本會議のためとならばやむを得ない、併し苟しくも在野黨が首相問責案を提出しこれに討論をしてゐる[illegible]相が出席しないことは[illegible]破壞するものである、小橋[illegible]につき首相は文相就任前の[illegible]事と辯明してゐるがこれが我々の糾彈する理由である、又小橋文相の辭職理由について首相は病氣と稱してゐるが眞の理由が病氣以外にあることは天下周知の事實である、小橋に對する司直の手が次第に延びて來たのでこれが陛下のお耳に入るを虞れて倉皇として辭任せしめたのであらう、大浦事件の際大隈首相は骸骨を闕下に乞ふたのに濱口首相は自己の監督下から刑事被告人を出し恬然としてゐる、知らなかつたからと云ふ民法的無過失論では政治上の責任を免れ得ぬ、小橋は在任中國務大臣として公式令に副署した以上御親書を汚し又輔弼に遺憾があつたことになる、首相は小橋について奏聞辭任詔訴と三回に亘つて上奏して陛下の宸襟を惱まし奉り而もなほ濱口首相獨り平然たるは聖旨に反くものである、公明な政治を高唱しつゝ[illegible]をなし或は緊縮を看板[illegible]回し金解禁を初め經[illegible]り財界の根柢を覆し[illegible]國務大臣に[illegible]被告人[illegible]ふべきである

と結んで降壇、この時議事進行について發言を求め人氣者

生方大吉氏(民) 東君は首相の出席がないから演說せぬと云ふので休憩しながら休憩後首相の出席なきに東君に演說をさせた、何故前言を取消さぬか

と議長に迫れば議長「首相出席の機會を與へるため休憩して待つは至當と考へた」と答へ討論を續ける

土屋淸三郎氏(民) 小橋君が公判の結果有罪になるか無罪になるか尙決定してゐないしまた問題の事件は政友本黨時代であつて濱口內閣とは無關係である、且つ起訴されたのはその辭任後である、濱口首相が衷心より遺憾の意を表明されてゐるのは正しい、なほ一言したきは尾崎君は本案の說明に當り皇室と云ふ言葉を三回、陛下といふ言葉を二十回もいはれたが、尾崎君こそ皇室の名に隱れて徒らに現內閣を傷つけんとするものである(土屋君は鉾を轉じ賣勳事件に及べば與黨は拍手を送り野黨は「それが決議案の討論と何の關係があるか」「泥淸にそんなことを云ふ資格があるか」と彌次る)提案者の名譽のため議會の信用のため本決議案を多數を以て否決されんことを望む

日支關稅協定
警告附で立法院承認す

【南京十三日發電】日支關稅協定第五條の效力發生問題に關し立法院は今日更に連席委員會を開き協議の結果左の如き警告附で協定を承認する旨外交部に通告して來た

警告文

日支關係協定第五條は國民政府の指令を仰いで協定せられしものなるも手續上違法の點あり、將來同樣の違法を繰返さゞる樣警告を附して之れを承認す、但し今回の違法行爲に就いては其の責任を糺かにすべし

失業者救濟建議案
義敎費案通過す
政府の大看板も目出たく成立
最後の貴院本會議

【東京十三日發電】貴族院本會議は午後二時四十分再開、直ちに日程に入り

第九 昭和三年度第一豫備金支出の件

以下第[illegible]まで七件(何れも承諾[illegible]報告通承諾に[illegible]院送附)

[illegible]敎育費國庫負擔法[illegible]案(政府提出衆議院[illegible])日程を變更して[illegible]を緊急上程する事を諮り異議なく承認、委員長柳澤保惠伯(研究)報告し、委員長報告通り可決確定、斯て差しも大問題たりし政府の大看板も遂に成立を見る、次で三度日程を變更し

一、中小產業者並びに失業者の救濟に關する建議案(林伯外十六名發議)

を緊急上程し

林博太郎伯 本案の骨子は勤勞主義に基いて國家のため有用の人物たらんとする者を救濟せんとするものであつて斷じて遊民を救濟するものではない

と各國と我國の失業狀態を比較しつゝ提案理由を說明し、これに對して

阪谷芳郎男 提案者は遊民は救濟せぬといふが結局これは惰民を增加する事になると思ふ、本案の中に國民の發奮を促す樣な文字を入れては如何

林伯 入れない方が穩當と思ふ

これより討論に入り

藤村義朗男 本案は失業問題に對する政府の失政を責め將來を戒飭する意味であると思ふが故に贊成する

と述ぶるや「ノーノー」の聲が頻りに起る、藤村男構はず金解禁と失業問題とを結びつけて政府の施政を攻擊し

政府が斯る政治をしてゐる以上本案に反對する者は一人もあるまい

土方寧氏 政府は失業救濟をやるといつてゐるではないか故にこれに對して建議するなら具體案を示めさねばならぬ、ところが本案には具體案が無いこんな無意味な案は貴族院のやる事ではないから反對である

と簡單に述べて滿場を笑はせる

竹越與三郎氏 やるといつても政府は眞劍ではない、阪谷君は惰民を作るといふが今日は働かうにも働き口がないのである、我々は働き口を作つて遣らうと云ふのであるそれが何故惰民養成となるか

菅原通敬氏(金解禁の效能を說き立てゝ政府の肩を持つた) 本案は政府問責の意味があるものではないから贊成する

と述べて討論を終り、贊否を起立に問ひ大多數を以て可決、次で日程に戻り、日程第十九より第三十六に亘る請願を一括議題に供し委員長報告通り可決これより日程第一國務大臣に對する質問を續行す

池田長康男 先日陸相に答辯を要求したが當日の首相との問答の速記錄を見ると「憲法第十一條と第十二條とは互に作用をなす場があり微妙な關係がある」といふ字句があり、これは第五十議會で[illegible]本法制局長官がなした答辯と一致するものであるから陸相への答辯要求はこれを取り消す

花井卓藏氏 陸相に直接質疑し度いのであるが缺席して居り病氣でもあるから遺憾ながら形式の上では質疑取り消しの手續をとる、然し斯くの如くにして議員の職責を行使し得ざるに至つたのは立憲政治の上より不合理と確信せねばならぬ、而してこの議會に於いて一つの重大な問題に對し適切有效な解決を得なかつたが、これはこのまゝ政府に廻送するから政府はこの問題の明確なる解決の義務を負ふべきものである

とて憲法第十二條の編成權は明かに政府の專管事項なる事を明かにし且つ政府の本問題に對する解決を迫る、最後に濱口首相起つて前日の金杉英五郎氏の質問に對する答辯をなし、これに對し金杉英五郎氏感謝の意を表し斯くて議案全部を終了したので德川議長散會を宣す、時に午後三時二十八分

重要政策の實現と
遊說宣傳に着手
民政黨が政府を督勵

【東京十四日發電】民政黨では政府提出の豫算案、法律案が全部特別議會を通過したのは一大成功であると爲し今後は益々政府と[illegible]し腰を落つけて國產振興を始め[illegible]されたる重要政策の遂行に着手することゝなつたが、これが爲め先づ近く政務調査會を開き至急これ等政策の具體化を圖ると共に全國的遊說並に文書宣傳に努むる筈

南軍爆彈投下に
鄭州大混亂
西北軍の意氣は旺盛
滿鐵情報課新田氏の視察談

【北平特電十四日發】南京軍は蔣介石氏自ら戰線に出でいよ／＼總攻擊を開始し歸德、馬牧集間にて南北兩軍正面衝突し、隴海線が戰ひの中心となり北方軍もこれに對抗することゝなつた、鄭州よりの歸途北平に立ち寄つた滿鐵情報課員新田氏は戰線の狀況に就いて語る

今月四日鄭州に着いた、彼の地は既に混亂の眞最中で軍隊は七萬位入り込んでゐるが、六日以來、南京軍の飛行機も數臺飛來して停車場司令部に投彈し、六日などは鄭州の市街だけでも二十四名投彈により斃れた程で戰々兢々たる有樣です、住民は家を疊んで黃河の南岸にぞく／＼避難してゐる、北軍は東明、蘭封、開封各方面から續々前進をつゞけてゐる、軍隊は山西、西北、山西、西北と云つた順序で魚鱗の構へといつたやうな風に進んでゐる、軍隊の內容は西北軍が粒が揃つて意氣頗る盛んであるが軍器の點ではかなりひどいものがある、この點では南京軍に劣つてゐる、私は八日最後の列車だらうと思ふが、それに乘つて歸途についた、鄭州も石家莊も太原も宿屋は各派代表で滿員の光景で戰雲漲つてゐる

吉林北平間直通
來七月から運轉決定

【吉林特電十四日發】過般天津における北寧、瀋海、吉海、吉敦等各鐵路聯絡會議で吉林北平間乘客直通列車運行について申合せたが右につき吉海側の發表する所によれば、愈々來る七月一日より實施する事に決定したと

閻軍財政處長
汪士元氏を任[illegible]

【天津[illegible]】[illegible]北軍の軍費捻出に努力するであらう因みに氏は孫傳芳氏と共に目下太原に在る(寫眞は汪氏)

辭令

【東京十三日發電】

旅順工科大學助手 內藤傳一
任旅順工科大學助敎授(七等)

旅順工科大學豫科助敎授 茂木善作
兼任關東廳中學校敎諭(七等)

瀨谷佐次郎
任關東州公立實業學校長(五等)

人事

▲山本滋雄氏(日本商業通信社副社長)十四日社務視察のため來連天滿屋ホテルに投宿したが、一兩日滯在のうへ奉天に赴く筈

安眼鏡子

飛ぶ鳥も落す程に勢威を振つた西太后の夏の宮殿といへば豪壯華麗、淸末宮廷史の有力な材料を提供するものだがその豪奢な宮殿に「かしや」札が貼られたとは如何に時勢の推移とはいへ正しく支那でなければ見られぬ事實▲その文面は貸邸、夏の宮殿內、周圍眺望絕佳、丘上に數軒、湖畔にも若干その儘居住差支へなし、希望者は北平市政府に申込みを請ふ

西太后といへば四十餘年間攝政として實權を振つたが夏の宮殿は特に彼女が得意の鼻をうごめかした建築物▲それもその筈、時の政府が折角大海軍を建造すべく集めた莫大の金をスツカリこの宮殿の造營に費したのである▲これが爲めに支那は日本との[illegible]爭に敗北したとさへ歷史家は傳へてゐる▲兎に角西太后がこの宮殿に夏を過ごし贅澤三昧の日を送つたことは有名な話

國際聯盟代表

【東京十三日發電】國際聯盟總會第十一回會議に參列すべき帝國代表は十三日の院內閣議に於て左の通り決定した

特命全權大使(駐英) 松平恒雄
特命全權大使(駐佛) 芳澤謙吉
貴族院議員子爵 井上匡四郎
帝國代表被仰付(各通)

堀本小四郎
陞敍高等官一等
年功加俸七百圓下賜
依願免本官

關東廳觀測所技手 草間茂登
東京神奈川及靜岡各府縣へ出張ヲ命ス

特電

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 六十七車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千枚

▲豆油 出來不申

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 十六車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

品目	寄付	大引
混保(袋込)	七〇七〇	七〇五〇
普通大豆(袋物)	六九三〇	六九三〇
豆油	一九九〇	一九九〇
高粱	四五四〇	四五四〇

大豆(裸物)出來高 二十車
普通大豆(裸物)出來高 二十車
豆粕 出來不申
豆油 出來高 三千五百箱
高粱 出來高 一車
包米 出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近百九十九萬圓

現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金二萬五千圓 銀對洋七千圓

商品

後場

麻袋(保合)

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延五月末	二六、五	一〇

出來高 一萬枚
綿糸布、麥粉 出來不申

神戶特產(十四日)

銘柄	値
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	六三六〇	[illegible]
鐘紡新	四八四〇	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
郵船	不申	[illegible]
東新	九四〇〇	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
新品	[illegible]	[illegible]
中	不申	不申
先	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
信 中	不申	不申
先	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
中	不申	不申
先	[illegible]	[illegible]

大阪期米

銘柄	五品	東新
寄値	不申	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

神戶期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

撫順

秩父宮殿下 けさ九時御着撫

炭礦を御視察、戰蹟を弔はせ給ふ

奉迎送者の心得事項

久しく撫順市民がお待ち申し上げた秩父宮殿下には今十五日午前九時十分撫順驛に御到着遊ばされ古城子露天掘、製油工場、孤家子戰蹟等を御視察遊ばされる御豫定であるが、當地における奉迎送者の心得は左の通りである

一、豫て通知を受けたる列立踐謁者は午前八時四十分(御召列車着三十分前)迄に奉送の場合は午後零時四十分迄に撫順驛「プラットホーム」各所定の位置に整列のこと

二、在鄕軍人分會員、中學校生徒青年訓練所生徒及工業實習所生徒は奉迎の場合は午前八時三十分(御召列車着四十分前)迄に奉送の場合は午後零時二十六分迄に驛前廣場所定の位置に參集し引率者及指揮者の指揮に依り整列すること

三、其の他一般奉迎送者は驛に向つて西側所定の位置(線ひ曳きて示す筈)に整列すること、其の要領は東に向ひ最前線に丈低き幼稚園兒、小學校兒童等其の後ロに女學校生徒其の他の團體其の後ロ一般奉迎送者と謂ふ如く整列のこと、尤も驛員は仕事上の都合もあるべきを以て柵外欄に面したる位置とす、右の内團體の參集は奉迎の場合は午前八時三十分迄に奉送の場合は午後零時廿六分迄に又一般者は遲くも奉迎の場合は午前八時五十分迄に奉送の場合は午後零時四十分迄には現場に到着のこと、

四、以上二、三項所載奉迎者は御召電車が中央大街に進入する迄は整列場所を移動せざること(時別なる通知を發せず)

五、礦市街の幼稚園兒、小學兒童普通學校兒童其の他の奉迎送者は露天掘事務所前に參集整列するを便とすべし其の要領は幼稚園兒小學校及普通學校兒童は車道の事務所に寄りたる側に其の他の一般奉迎送者は其の後ロの步道に在りて高砂町停留所に面し整列すること、右の內團體は午前十時三十分迄に參集のことと其の他の一般奉迎送者も可成右時刻迄に參集のこと、然らざれば交通遮斷に遭遇することあり

午前十時三十三分御發の豫定なるを以てそれ迄待てば奉送申上ぐることを得べし

六、奉迎送は隨所に散亂孤立するは交通其他にも不便あるを以て成るべくは以上三、五の項に述べたる箇所に參集整列のこと、若し萬一時間等の關係にて已むを得ず沿道にて奉迎送をなすの外なき者は係員の指示に依り步道又は之に準ずる適當位置に集合整列すること

七、驛前より炭礦事務所前迄の間電車沿道は凡そ午前八時五十分より及午後零時四十分より、又榮橋より高砂町に到る間の電車線路に併する行道路は凡そ午前十時前後より又午前十一時二十分前後より各二十分間交通停止さるべく其付其の際は他の道路によること、其の他御沿道を横行する箇所も御召電車御通過前二十分間亦同じ

八、撫順驛御發着約四十分前より驛前廣場には諸車馬を停車又は乘入れざること、故に客待及來往者の爲に待つ諸車馬は一條通の東、西の差支なき位置又は永安大街、千金大街等の兩側に待避するこ と(御發着御通過の際車、馬上に居らざること)

三人組の强盜 把頭を襲ふ

拳銃を突きつけ威嚇 金品を强奪して逃走

十二日午後七時三十分頃撫順に於ても三人組强盜事件が突發した被害者は本籍河北省現撫順萬達屋四十三棟四號華工八百人位を使用する大把頭郭萬順(六〇)で同日午前九時老虎臺採炭事務所より賃銀金一千九十圓を受取つて來た事を嗅ぎつけた年齡二十七、八歲身長五尺五、六寸のモーゼル拳銃所持、三十七位五尺一寸のブローニング拳銃所持、三十歲丈五尺五寸位ローヤル拳銃所持、何れも山東訛りの三人組怪盜が襲ひ、郭萬順外家人に各拳銃をつきつけ高飛する旅費を貸せと强要するので、抽斗內より鮮銀十圓紙幣七枚を渡したるに、未だ大金がある筈だと强要したが鑿頭苦力に賃銀を支拂つたからもうないと言ふや、衣類雜その他をかき廻し水晶眼鏡その他を强奪、被害者を日支境界線まで連行し、訴へると殺すぞと威嚇して逃走した、屆出と共に司法主任以下現場に急行したが犯罪後一時間十分を經過したる後なので何等手掛を得なかつた

加藤院長榮轉

公主嶺滿鐵病院長加藤榮氏は今回營口に榮轉、後任として遼陽滿鐵病院醫長新井博士近く來任加藤院長は十五日赴任の豫定である

公主嶺

兒童愛護デーの盛況

十三日の兒童デーには午前十時學校幼稚園でお伽噺會、午後一時校庭集合、旗行列、公園集合神社參拜、寶探し、男子相撲、女子ボール遊び、支那手品、高足をどり、おみやげもの分配等あり盛況を極めた

公取上旬狀況

公主嶺取引所の本月一日より十日に至る特產物先物取引狀況は依然硬軟の材料滿に相場は凡化し、就中大豆相場の灰汁拔けに惰氣滿々不振商狀を續け、唯高粱は小市下押し安値狙ひの思惑筋の買浴びせ硬派の嫌氣投げの商內に軟弱氣配に在りしも、案外頭重く伸び惱みの商狀に推移、旬末は兩品共商狀釘付け銀安を他所に先ボンヤリと越旬した、本期間中の取引高を示せば

大豆百八十七車、高粱八百三十六車の合計一千三十三車、大豆五月十五日限最高最低調大洋建二八、最低二、一〇二五(六月十五日限)最高二、一五〇〇、最低二、一一九一(七月十五日限)最高二、一七七五、最低二、一五三五、高粱大洋建五月十五日限最高一、三〇三五、最低一、三二五〇、最低一、二七七二四八〇(六月十五日限)最高一八(七月十五日限)最高一、三五一八、最低一、三〇八四

稅捐局員が 亦も不法を働く

奉天署で一名を逮捕 支那側に嚴重抗議

奉天

十三日午後零時半頃宮島町丸一運送店取扱ひの角鐵馬車三臺を貨物ホームから信濃町三番地に運搬中北七條通りの境界道路に差掛つた際支那側稅捐局員二名が突然檢査要求をなし通行を阻止した爲め牛島同運送店主人がその筋へ屆け出たので、係官は現場にかけつけその不法局員を逮捕せんとした處、一名は逃走したが一名を逮捕の上本署に連行し目下取調中である、奉天署では行政權侵害として支那側に嚴重抗議をなす筈である

陸大生の動靜

秩父宮殿下と共に牛島少將に引率され來奉した陸大生五十一名は奉天驛に到着と共に別行動をとり市

哈爾賓

吾等の町を語る

更生に惱む人々

支人間に資本主義が瀰蔓

商工會議所會頭　加藤明氏談

現在の支那人は、封建的な思想、封建的な組織の殼を破つて資本主義的な思想の渦の中に、資本主義的な組織の流れに捲き込まれ、吾人の想像以上の惱みを續けて居る樣だ、嘗て見たとのない勞働爭議が此の哈爾賓にも俄に多くなつて來た、絕對的なりし主從の關係は單なる雇傭關係へと變りつゝある、彼等が堅守し來たつた家族に對する觀念も時代思潮に抗し難く遂に緩みを生じて來た、彼等を經濟戰場に於て强者たらしめた相互扶助的精神も崩壞の徵が見え、此の精神の下に生れ出でたる合記、聯號の組織にも龜裂を生じ始めた、斯くて新らしく現はれたる事實は資本主義的な思想と組織である、

◇

從來　家族中心なりし彼等は轉じて個人主義的傾向を帶て來た小規模なりし彼等の商團は殼を脫して大資本大組織のものに變つて來た、同記、同發隆、公和利、恒順昌、双合盛、阜和昶の如き大商社が出現し、中小商社は夫が壓迫に惱んで居る、油房の如き又製粉の如き企業も、小なるものより漸次大なるものへと轉移し、大資本家に獨占せらるゝ傾向顯著なるものがある、農村に於ては自作農減じ、小作農增加の傾向があり、大地主は年と共に增加して行く、支那人社會の主從關係は、頻發する勞働爭議は、彼等の誇りし商組織は、彼等の美德たる相互扶助的精神は、如何なる方向に、如何なる形態を以て進み且つ變つて行くか、

◇

それを知るは吾々にとつて興味深いものではあるが、彼等にとつては大きな惱みである、露人も亦別な意味に於て支那人以上の惱みを持つて居る、白系の露人は赤色化した東支鐵道との關係が從來の如く圓滑に運ばざるが爲めに東支鐵道を中心とする取引に於て企業に於て便宜を受け得なくなつた、一面支那人の侵出に依つて彼等の活動場面は押狹められて來た企業は壓迫され、勞働者は支那人苦力の爲に職を失ひ、手工業は支那人に奪はれて行く、赤の政治的壓迫の手は伸びて來る、斯くして彼等は精神的にも亦物質的にも惱みを續けて居る、

◇

赤系　露人の活動は露奉協定より東支鐵道問題を中心とする今回の露支事件の勃發までは目覺しいものがあつたが、爾後に於ては彼等自らが支那人との協調を叫ぶやうに、北滿侵出は困難となつた、彼等は既得權益の保持に、自國勢力の扶殖に努めては居るが、現下の一般情勢は彼等の努力を容るゝには餘りに地盤が堅い、彼等は伸び得ざる惱みを抱いて居るやうだ、歐米人は優秀なる商品と完備せる組織を以て日支兩國の商品を壓迫して來たが、日本品の向上支那商の進展により年と共に既設地盤を食ひ荒され、今は商品も漸らぎ、組織の誇もなく、要するに彼等を特徵づけるものが少くなつた、彼等は今何處に新活路を求めるかに惱んでをるやうだ、

◇

日本　人も支那の政治的壓迫支那人の排外運動、支那人の經濟的進出によつて活動力を殺がれ、手足が伸ばせない現狀にある、日本人も亦歐米人と等しく新活路を求むるが爲めに惱んで居る、斯くの如く哈爾賓の人々は夫々立場を異にして互に惱んで居る、即ち支那人は時代思潮の爲めに、白系露人は生存の爲めに、赤系露人は權益保持と再進出の爲めに、歐米人は新活路探求の爲めに、日本人は行詰打開の爲めに惱んで居る、かうした哈爾賓人の惱みを如何にして救ふべき乎は識者の考究を要することだと思ふ(寫眞は加藤氏)

長春

上海戲院の捕物 共產黨一味か

奉天方面と連絡の模樣 長春署に九名を引致

十一日午前八時に長春警察署高等係り井上警部始め特務刑事數名は日本橋通り上海戲院に踏み込み、場經理外八名を引捕へ何事か取調てゐたが、彼等は共產黨の一味らしく證據物件が擧がつたので調査した處、奉天方面の一味と連絡をとつて何事か畫策しつゝあつた形跡があるので引續き嚴重取調中

町の便り

張學良氏の病氣はその後經過良好で九日省城內南門に出かけ初夏の散步氣分に浸り北陵の別邸に引揚げたと

◇

十一日西塔大街で逮捕された附屬地荒しの自動車强盜李明德(二二)は奉天署で取調べを終へ十二日支那側に引渡した

人事

▲小倉地方事務所長　十三日遼陽往復

▲古仁所滿鐵奉天公所長　十二日夜歸奉

▲高柳本社々長　十二日來奉十三日歸連

中見學の上午後二時からヤマトホテルで開かれた講演會に臨み、同夜は大丸、大星の兩旅館に投宿した

四家孃獨唱會 廿五日高女で

奉天高等女學校同窓會では來る廿五日午後七時半から同校講堂に於て四家文子孃(杉山長谷夫氏ヴァイオリン伴奏)の獨唱會を同校講堂にて開くことになつた、プログラムは近く決定、入場料大人一圓學生半額

哈爾賓

發疹チブス 既に百九十餘名

約二割は死亡した ＝益々猖獗の模樣＝

發疹チブスの流行で本月に入つてからの隔離所に入院患者は百九十餘名に達し其のうち百名はロシヤ人であるが、この調子で盛夏に入ると病人は益々增加し死亡者も激增する危險あり、市の中央病院、市政局衞生課は消毒に努めてゐるが然し隔離所に對する經費五千圓は既に消費し且つ財源は何處からも得られぬので十二分の豫備設備もできない狀態で非常に危險である死亡率は約二割見當になつてゐる

濱江雜俎

長春室町小學校で來る廿二日行はれる兵役關係者の壯丁體格檢査にハルビンからは十八名出所

◇

十七日午後一時から公會堂でハルビン輸入組合總會を開催するが、附議事項は昭和四年度の收支及組合の事業報告と本年度の計畫其他である

◇

軍人會館建築のため寄附した人々に對し十日一戶在鄕軍人會長からハルビン分會に褒狀と築島、前田廣瀨、楠市の三氏に木盃及感謝狀が到着した

◇松江餘滴◇

シベリー線で盜難に遭ふた財部全權の會計官湊少佐▲昨夜は十二時前に寢られると思ふたがまたそれを過ぎてネ▲と連日連夜の全權一行の公館會議を漏らした上▲僕は慾もとくもない、歸つたら三日程ブッ通して湍鬪を徹いた儘眠りたいばかりだ▲山高帽をふりかへつこみて「帽子まで盜れたのでこのカンカンを買つたのだが東京へはまさか冠つて行けまいネ」と山本清さんに相談▲湊のやつヨーロッパへ行つたと思つてカンカンを冠つてやがると同僚から冷かされるだらうと今からカンカンの心配▲時計も一つは買はなければならぬがと言ふ▲山本さん懷中から時計を出して君これでよければどうかい▲英國で十圓で買つたのだが五年間のガランテーがすつかり金箔が剝げて眞鍮の地金でネとニタリ▲湊少佐神經衰弱であゝ急がしいこと

鐵嶺

罪の呵責から 警察で悶死す

國境を荒し廻つた ＝兇暴な不逞鮮人

去る七日鐵嶺業畔地警部補尹巡査張巡捕の三氏は午後八時頃鐵嶺縣下高家駕棚に赴き、潜伏中なりし不逞鮮人林元順(三七)の所在搜査に着手せるも林は當日縣下小青堆子金興拂方に赴き不在と判明直ちに小青堆子に赴き金方に踏み込んで難なく逮捕八日午前一時鐵嶺西方四十五支里双樹子に到着、同地公安局分所の一室を借受け

犯罪事實　訊問の結果同人は今より十年前興京縣の不逞鮮人團統義府の團員となり彰武拊安臨江吉林等國境附近に於て軍資金募集の爲め兇行を擅にしたもので、八年前彰武縣大靑溝に於て同樣軍資金募集に從事中同地居住の鮮農白炳賢(三七)を絞殺し金二百圓を强奪し、同地池某を射擊負傷せしめて同人の妹を掠奪結婚し其他數々の罪を自白したが、旅疲の爲休憩してゐる中午前四時頃突然

奇聲を發し頻りに苦悶をはじめるので一同極力看護に努め手當を盡したが五時頃遂に絕命したので止むなく假埋葬に附し一先づ歸署し十一日醫師李讓求氏を臨へ再び現場に出張屍體解剖の結果死因は腦溢血症と判明した、平素から罪の爲めに苦悶懊惱を續け居たる旨しみぐ述懷せるより見て自白後安堵の餘り急に異狀を呈したものと思はる

伊豆田巡査に謝電

警務局長から

既報、去る十一日日之出町に於て前科數犯の强賊と格鬪し逮捕した停車場派出所勤務伊豆田巡査に對して警務局から謝電を寄せて功績を表彰した

公園貸ボート はけふから

昨今西公園の散步客がめつきり增加したので名物の貸ボートは去月十五日から開始すると、尙魚釣は六月早々からだと

空巢狙が增えた

戶締其の他に御注意

昨今市民の戶外散策が多くなつたので例に依つて空巢狙ひがめつきり殖えた由であるから各自に注意が肝要である

瓦房店

春季大祭協議

瓦房店神社春季大祭も旬日の間に迫りたるを以て之が方法に付十三日午後一時より社員俱樂部に於て各所屬長及び氏子總代等協議會を開いた

秋森助役着任

瓦房店保線區樽木助役は先般熊岳城に榮轉したが、其の後任として大連より秋森勇助役着任した

○一寸閑○隨筆○

落し文を拾ふて見ればば「若葉青葉の時候となりました、此の次の日曜日には炎陽なる旭山公園あたりにてアナタ樣の佩白き腕をニギルのを樂みに致し參らせ候云々」變な手紙だ▲瓦房店の東三里のヶ所に東小古廟と云ふ結構壯麗を極めた神廟がある▲此處の廟主は當年取つて六十歲し老愛未だ嘗て穀類を食した事なく八卦で精神を統一し幾多の病者を治する事限りなしと云ふ▲そこで鄕人相率ゐて此の大廟を建立したとの話

開原

財部全權一行 十四日通過

財部全權一行は十四日午後八時二十六分當驛通過南行した

兩視學挨拶

滿鐵の大久保、小田兩視學は新任挨拶の爲め十三日來開し地方事務所、小學校、公學堂、普通學校等を訪問し同日昌圖へ向け出發した

大石橋

けふは春祭り

神輿の渡御はないが 奉納試合を盛大に

今十五日は大石橋神社の春季大祭であるが、本年は娘々廟祭と同日となつた關係上、神輿の市中渡御を廢し、相撲、柔劍道、弓道等の奉納試合を盛に擧行する事となり既に準備に取りかゝつた、殊に北町の神社通りではしめ繩を張るやら幟を樹てるやら既に御祭氣分が漲つてゐる。

湯崗子で兒童デー

小學校と社會課との主催で ◇十七日の朝出發◇

大石橋小學校並に社會課主催となり來る十七日は大石橋兒童デーとして湯崗子に赴き左記の通り實行する由

△期日十七日△場所湯崗子溫泉△出發及歸着午前七時十五分午後三時十分△行事入浴、宮殿下御居間拜觀、ドロ湯見學、水田見學、釣魚、寶探し

因に社員兒童の乘車券は學校で纏めて請求し、社員外兒童の乘車賃錢は學校で用意してあるから各自には支拂ふ必要は無いと、又社員外父兄の方で同行希望者が二十名以上になる時は五割引となるから十四日午前中に社員外の方は金八十一錢を添へて主催者側に申出でられたしと

營口

營口、新民屯間の 直通貨物減稅案

あすから暫行辦法施行

營口の海關監督公署は營口新民屯間に於ける直通貨物に對して左の暫行的減稅辦法を制定し、十六日から施行する旨を布告した

一、貨物は種類の如何を問はず每噸の收稅を二元とす但一噸に滿たざるものは一噸として計算す

二、大豆豆粕は奉灤減稅法に准して每噸收稅四角半とす

三、田莊臺より瀋陽通遼に至る直通雜穀は營口と同樣に辦理す

四、新民屯以東馬三家子、興隆店巨流河各地より國有鐵道を以て輸送する雜穀の納稅辦法は新民屯と一律とす

安東

營林署員と結託し 木材を盜賣す

國際運輸の惡社員 檢擧されて取調中

新義州國際運輸の木材部員が元營林廠員と結託して營林署の木材を密賣せる事を新義州署で探知し嚴密裡に取調べ中である事は既報の通りなるが探聞するに、新義州國際運輸出張所の木材部係員根本淸二、太田盛雄、伯正廉、金時澤の四名何れも(假名)が營林署仕譯係員五十山仁男、看視古田某(何れも假名)と結託し營林署材の小鬪に共營木材會社の印を捺し工擬(營林署の拂下げの事)として賣拂利益を分配してゐたもので、檢擧の動機は右の小鬪の講買者が該捺印に不審を抱き同會社に照會したので同社から、警察署に取調方を依頼したものである、前記六名の外賣拂きを仲介した眞砂町元吉木材店員元英三(假名)も留置されてゐる、犯罪は本年一月頃よりで總額五千餘圓に上つてゐる模樣である

春季競馬終る

豫想以上の大盛況

安東春季競馬大會最終日の十二日は高尾探公理事長カップ、宇佐美領事カップ並びに安東競馬俱樂部等の附加賞あるが爲人氣益々沸騰した、當日の成績は左の如くで、大盛裡に大會の幕を閉ぢた

第六日目

▲第一競馬　新抽千二百米、一着若駒二分二七秒三、二着眞力、三着雲龍、配當三圓二十錢

△第二競馬　各抽千四百米、一着十兩一分五五秒二、二着扇城、三着勝姬、配當四圓

△第三競馬　新抽千四百米一着藤島二分二八秒、二着老櫻、三着富士、配當五圓十錢

△第四競馬　新古呼馬千六百米一着紀伊二分一七秒三、二着稚美、三着白蓮、配當十一圓四十錢

△第五競馬　新抽千六百米一着鳴戶二分三八秒、二着滿天、三着神風、配當五圓八十錢

△第六競馬　各抽千八百米一着生駒二分二九秒、二着白駿、三着飛鳥

△第七競馬　新抽千八百米一着榮飛二分五五秒、二着放駒、三着清美、配當三圓四十錢

△第八競馬　新古呼馬二千米、一着觀覽山二分四六秒四、二着金剛、三着比叡、配當七圓八十錢

△第九競馬　各抽優勝競爭二千米一着津駒二分四七秒、二着三笠、三着淀、配當二十圓

二人殺の小野は 懲役十年の判決

被害者の實父から減刑願も出た

新義州府內旭町カフエー豐樂の二人殺し犯人小野正一(三〇)の判決は十二日新義州地方法院に於て言渡しがあつた、本件に就いては被害者の一人今田行夫の實父嘉吉氏は小野の爲めに減刑の嘆願書を裁判長に提出するなど淚ぐましい人情美の挿話が織込まれ其の成行は世間の注目する處となつたが檢事の十五年求刑に對し懲役十年を言渡され其の儘判決に服した

安東醫院の 屍室

七月末竣工

滿鐵安東醫院の屍室が從來其の規模狹小にして兎角批難の聲あり醫院當局に於ても之れが增改築を必要とし本社に申請中の處漸く認可となり目下起工中であるが、遲くも來る七月までには竣工の見込であると、尙工費約五萬圓を投じて新築される傳染病棟も近く起工の筈であるから、九月末には完成するであらう

軟式野球大會

廿日頃より

鴨江日報社主催の國境軟式野球大會は來る二十日頃より開催に決定したが具體的方法は近々主將會議を開き協議の結果決する筈で、尙本春よりは試合球を角一ボールを廢し實體ボールを使用する事となつた

海軍記念日

祝賀會の準備

安東縣在鄕軍人分會に於ては來る二十七日は恰も日本大海戰の二十五周年記念日に相當するを以て當日は陸軍記念日と同樣の祝賀會を開催すべく目下準備中である

吉林

警官語學試驗 成績は良好

吉林總領事館警察署では十二日午前九時より昭和五年度外務省警察官語學獎勵試驗を行つたが受驗者は支那語六名、朝鮮語二名で何れも成績良好であつたと

臨時列車 十四日から十七日まで

營口驛では十四日より十七日まで四日間大石橋娘々廟祭に際し臨時列車を運轉し割引乘車券を發行し乘客の便宜をはかると

人事

▲堀井覺太郎氏(吉林居留民會副會長)十二日大連に向ふ、同地より內地へ往復約三週間の豫定

▲峰旗良充氏(滿鐵囑託)十二日午前八時五分發大連に向ふ

▲久爾田孫兵衞氏(吉林燐寸專務)歸省中の處十日歸任

▲細野喜市氏(吉林居留民會長)上京中の所十五日頃東京出發歸途に就く筈

平北の統計

平北保安課の調査したる昨年中管內變死者は內地人二十六人、朝鮮人九百六十九人、支那人二十七人合計一千二十二人の多數に上り、其のうち自殺者は內地人六人、朝鮮人百六十三人で、他は誤つて死亡したもの災害で死亡したもの殺人強盜の犯罪關係によるもので何んと言つても鮮人が第一位を示してゐる

鞍山

鞍中の開校記念

けふ體育館で學藝會

鞍山中學校では十五日が開校記念日につき午前十時より體育館に於て學藝會を開催し一般の來觀を希望すると

印度の暴動は大部分は突發的

大都會に著しい反英思想

立法議會長は辭表提出

ガンヂーは遂に逮捕された、小規模の暴動が各所に續々と起つて居る、然し日本を十數倍したほどの大インドの事であり、所謂對英不服從運動に共鳴してゐる者が三億に餘るインド人全部といふわけでもなし、その上、精鋭な武器を携ふるイギリスの正規兵が駐屯してゐる事だし、今日の勢を以てしても將來大事に到るものとは、先づ考へられない

多くは突發的

暴動とはいへ、計畫的のものは殆どない、大抵は官憲や軍隊の彈壓行動に對する突發的反抗らしく見える、平素尊敬してゐる人々が逮捕された直後、或は官憲が賣國的政策を制止した場合などに起つたものが多い、最初に暴動、乃至反英行動の起つたのは、ボンベイ州、ベンゴール州と言つたやうな海に接近した地方であつた、その中でもボンベイ市とその附近、カルカッタ市とその附近などに起つたのが皮切りであつた、カルカッタは人口(百三十三萬)の點から觀てインド最大の都市である、ボンベイ(人口百十八萬)はこれに次ぐ大都會である、反英感情の鋭いものも比較的多い、然し今日では奥地の北西部から斜に東南部へかけて、點々と反英の火の手が揚げられた形になつてゐる、而して是等は何れも鐵道連絡のある、その地方々々の大都會である、尤も火の手が今猛烈に燃え立つてゐるのは外國織布のボイコット位のものである、其他はいづれも勢が弱い、終熄したものもある、小競合は別として、最近暴動らしいものゝ起つた地方とその日時とを順次に列擧すれば左の如きものである

四月十一日ボンベイ(ボンベイ州)、十五日カルカッタ(ベンゴール州)、十六日カラチ(ボンベイ州)、十八日夜チッタゴング(カルカッタの附近)、二十三日ペシャワール(北西國境州、アフガニスタンの東隣)等

飛行機で威嚇

右の中チッタゴングに起つたものは稍計畫的らしく、五六十名の暴徒が鐵道及び警察用の武器彈藥庫を襲ひ、イギリス人警部外巡査五名を射殺して、旋條銃一挺、短銃二十挺、歩兵銃五十五挺、彈藥若干を掠奪したといふ事である、而して一味の中逮捕されたのは十四五名、他の大部分は同地北方の密林の奥深く姿をくらましてゐる模樣である、この事件はカルカッタ警察を極度に刺激し、その翌朝は全市に亘つて封鎖的警戒が行はれ、數臺の飛行機が絶えず市の上空を威嚇的に飛行した、シムラにあるインド政府は特別閣議を開き對策を凝らすといふ騷ぎであつた

ペシヤワールで起つたものは慘狀に於いて、今日までの中最も著るしいやうである、暴徒が警戒のため出動した裝甲自動車に石油を注いで放火し、イギリス兵二名を燒殺した、又一名のイギリス人警部をオートバイから引摺り卸して手斧で慘殺した、暴徒側では十二名の死者と多數の負傷者を出した、右のやうなのは特別であるが普通暴徒の武器となつてゐるのは石片煉瓦片、石油などである、放火では去る十五日カルカッタで示威行列の一行が電車二臺を燒き拂つた事もある

インドの軍隊

インドの警察官は警視、警部といつた上役はいづれもイギリス人であるが、巡査は殆ど英印混血兒やインド人ばかりである、軍隊は總數の三分ノ一がイギリス人、三分ノ二がインド人といふ割合で、將校株は殆ど全部イギリス人である、インドには歩兵三、四十聯隊のほかに、騎兵、砲兵、航空兵などの聯隊も置いてある、而して是等はいづれも常に戰時編制となつてゐる、インド人の政治家は多年軍隊のインド化を主張してゐるがインド人にインドの國防は任せられないといふ口實の下に拒否されてゐる、インド人は今日でも砲兵隊や航空隊の將校に採用される事を絶對に許されてゐない、尚インド立法議會議長ヴイ・ジエー・パーテル氏は二十四日辭表を提出した、理由はインド政府の政治犯人に對する處置に關し政府と意見が合はないためらしい

廿一個條々約

無效論の再檢討

中華民國國恥記念日に當つて

法學士 渡邊龍策

【上】

廿一箇條問題は既に充分討檢濟であるに拘らず、毎年今頃所謂國恥記念日前後になると大正四年の該日支條約無効論が蒸返される、條約問題に就ては何かと喧しい折角、國際法的秩序維持の一鎖として、この際該條約無效論を再吟味して見たいと思ふ

(一)無效論の第一理由

無效論の第一の理由とする所は大正四年の日支條約は支那の議會の協贊を經て居らぬが故に無效であると云ふのである。

併しこれは支那の現狀に於ては遺憾ながら、決して國際間に堂々として通用されるべき筋合のものではない。勿論、元首の條約締結權能に關する國内法上の制限、即ち議會の協贊を得べしとされてゐる國は多々ある。フランスにおいては講和條約及び通商財政等の一定の事項に關する條約は、議會の同意を得ざれば大統領は之を批准し得ないことゝなつて居るし、又ドイツに於ては、大統領が條約締結權を行ふも聯合國家の立法事項に關する條約はドイツ國議會の承認を要するのである。アメリカ合衆國に於ては、總ての條約は大統領が出席議員の三分の二以上の表決を要する元老院の同意を經たる後に非ざれば締結する事を得ないのである。さうしてそれ等の國々に於ては、さうした事を規定した憲法は儼然と國民を拘束し實施されて居るのである。然らば支那に於ても全く、アメリカの如くフランスの如くであると云ふ事が出來るであらうか。

假令支那に於ても憲法にさうした事が規定されて居やうとも、一般の國際的觀念を以て律せられることは不可能である。抑も元首の條約締結權能に對して國内法上の制限あるに拘らず、元首が勝手に條約締結を爲した時は、その條約は國際法上無效であるとされるのは、國内法上の規定が當然國際法上に於て效力を有するが爲ではなくして、國際法が國内法規の規定を以て國際法上の事實と認むるが爲めである。支那の當時の憲法の規定が國際法上の事實として承認さるべきものなりや否やは、華府會議に於てイタリーの委員をして「支那とは何ぞや」と云ふ問を發せしめたといふ事を考へる時、思ひ半に過ぎるものがあらう。

元首の條約締結權に關して、支那當時の規定を探せば、民國三年五月一日公布の中華民國增修約法(所謂新約法)第二十五條

「大總統は條約を締結するを得但し領土を變更し又は人民の負擔を增す時は立法院の同意を經るを要す」

と云ふのに當らう。この新約法の成立經過をみると、それ以前の臨時約法(即ち舊約法)第五十四條「中華民國の憲法は國會にて制定す」の規定に基き、憲法制定の手續たる憲法起草委員會を組織せんとし、民國二年四月三十日起草委員の選擧を行つた結果、政府黨二十六名に對し反對黨三十四名、七月二日の補選による委員三十三名も大多數は國民黨に屬して居つたので、袁世凱は頻りに之を壓迫し要して十月五日大總統選擧法を公布に至らしめ、六日正式に大總統にされた。が更にクーデターを敢行し民國三年一月九日約法會議組織條例を公布し、この新約法を制定公布せしめたのである。だがこれも十二年憲法によつて代へられるに至つたのであるが、要するに斯の如くにして出來たものを、南北兩派共之を國家の基礎法として協力尊法の精神を發揮するなんてことは藥にしたくもないのである。憲法の條文が如何に立派な文字に依つて綴られ、其の内容が如何に整備されて居つても、國民に憲法擁護の精神なく、僞政者亦その實施の誠意無ければ、それは一片の空文に等しい。ましてや國際法上の事實として認められることは望み得べくもない。

臨時約法出でゝ間もなく廢され新約法之に代り、たゞ南北抗爭の下に蹂躙されるが如きものが、どうして儼然と國民の上に立つ國家の根本法而も國際法上の事實として認められ得べき憲法と云ふ事が出來ようか。それを議會の同意の有無を論じて、恰も往年國際聯盟加入問題で米國上院がウヰルソンを苦めたのと同樣の議論をなしてもそれは的はづれである。だが併し吾人は支那には永久に眞の意味の憲法なしと云ふのではない。今や五權憲法制定の機運漸く興りつゝある。法律尊重觀念の增進と相俟つて必ずや光輝ある制定の道を辿ることを望むものである。

反將標語

蔣中正正ならず 宋美齡美ならず

蔣介石反蹟の際は全國的となつて來た、流石は文字の國、反對にもいろいろの方法があつて最近次の様な蔣介石側要人連を皮肉つた口頭禪が流行り出して來た

蔣皇帝(中正)正にして正ならず――中正は號

宋娘々(美齡)美にして美ならず――蔣介石夫人

胡大臣(漢民)民にして明ならず――民と明は同音

戴大臣(傳賢)賢にして賢ならず――戴天仇氏

王大臣(寵惠)寵にして寵されず

この外「賣國的蔣介石を打ち倒せ」「南京蔣家政府を打ち倒せ」「一切の蔣家走狗を掃除せよ」などといふ標語はザラに街頭に貼り出されてある

△―新刊批評―△

▲めでたき風景(小出楢重著) 畫家楢重の隨筆集である、「めでたき風景」「夏の都市風景」「グロテスク」「觀劇風景」「洋畫ではなぜ裸體畫を描くか」「やゝこしき漫筆」「現代美人風景」等々…何れも長くも數頁にまとめられた隨筆である、その觀察眼の古いやうでの新らしさ、畫家らしい感傷、さうしたものが言ひやうのない柔か味となつて溢れ出てゐる、所々に得意の谷崎か里見の文章を思はせるやうな筆畫を加へてゐるは勿論、多方面な氏の面目が全面に躍如としてゐる、何れにしても最近また得難い好著たるを疑はない、裝幀、活字、用紙また本の内容の感を充分に現はしてゐる(定價一圓五十錢、四六版二百七十五頁、大阪西區靱上通一創元社發行)

海◇外◇消◇息

相手の顔が見える 新發見の電話

米國で實驗に成功

テレヴイジヨンも段々進歩して今日では電話をかけながら相手の顔が見えるやうにまでなつた、先日ニューヨーク市で新聞記者が二哩離れた所からアメリカテレホーン・アンド・テレグラフ會社製のイコノホーンと稱する機械で實驗して見事成功した、この機械は電話をかける時に薄暗いオレンヂ色の燈をつけた電話室へ入り、燈のさしてゐる所へ顔を[illegible]と電話線を通して相手に[illegible]るやうになるのである、[illegible]な機械があ[illegible]が專門家[illegible]これが實用化されるのは[illegible]先のことであらうと

英[illegible]

家庭とコドモ

尊き母性愛

(中) 『母の日』の教訓

高崎能樹

然しながら人生の實狀より見ますと、親心子知らずの例が餘りに多く、親は常に孤獨を感じつゝ子供の愛を求め行く有樣で、此の哀れな姿を見受けられるのは、むしろ悲慘であります。然しながら親心に徹底せる母のみは、例へ子供の心が如何あらうとも猶も變らざる愛をもち、むしろ一層煩惱の火を燃やすのでありまして

永遠不變の 熱愛に生きてゐるのであります……今此の消息を最もよく驗してゐるウオルズオースの「白痴兒」と云ふ詩の梗概を申上げて見ませう。一人の貧しい寡婦がありましたが、たつた一人の男の子が生來の白痴兒で、寡婦の爲めには一層それが重荷となりました、近隣の人々はあの馬鹿息子さへ死んで仕舞へば、氣の毒な寡婦も重荷が無くなるものをと母親に同情してゐましたが、然し

母親の身に 取つては天にも地にもかけ替への無い、大事な大事な愛し兒でありました。或る日白痴兒は一疋の馬を連れて何處へか出懸けたまゝ夕刻になつても歸りませんでした。母親の心配は一通りではありません、全く狂人のやうになつて探し廻りました。聲をからして子供の名を呼び、町と云はず、野と云はず、森と云はず疲れも忘れ足の傷も厭はず探し歩きました。やがて母親は山奥の大きな瀧壺の下まで參りましたが十六夜の月はほのかに瀧壺の上の森を離れて、清い光を照らしました。見れば瀧の落ちくる岩の上に一人の人影と一疋の馬の影とが見えるではありませんか

母親は夢中 になつてよぢ登つて見るとそれは正しく我子でありました。不安と悲しみと絶望とに正氣を取亂してゐた母親は、この危機一髪の場合に、而も無難で我が子を發見し得た喜びのために嬉し泣きしながら白痴兒をしつかり抱きしめました、けれども子供は全く無頓着で「お陽さまが寒さうに光つてゐる」といふだけでした。

以上が[illegible]ますがウオーヅオー[illegible]を加へて「此の寡婦が[illegible]し得た喜びは全世界を我[illegible]とした喜びよりももつと[illegible]びである」と申してゐます

即ち母親に 取つては例へ白痴兒であつても、我が子は世にも替へ難い寶であり己が望みの一切であり、生命であるといふことを申してゐるのであります、たとへ子供よりの共感はなくとも、己が眞心のありつたけを子供に注いで生きてゐるのであります、即ち酬いらるゝ事無くも滿足し切つて、只子を愛する愛にのみ心を燃やしてゆくのであります。

乳母車と搖籃

搖籃は癖になり易い

乳母車は赤ん坊を伴つて外出する時にも勿論用ひられますが、むしろ赤ん坊を時々清新な空氣に觸れさせ、日光に當たらせる爲めに用ひるものと云ふべきでありませう 赤ん坊を乳母車に乘せるには大概生後二週間位經つてからが適當であります

=乳母車= に赤ん坊を乘せるには夏の強烈な日光に直接當らせる事も好ましくないし、冬の寒い風の吹く日や塵埃の多い時とか濕り氣の多い日、或ひは霧の深い日もよろしくありません、乳母車の構造としては窮屈なものを避ける事、又通風の良いものを擇ぶべきであります、なほ特に内側をば洗滌出來る樣に拵へたものは理想的と云へませう、

=赤ん坊= を乘せて搖すつて寢かせたりします、これは赤ん坊の發育の爲めに良くないと云ふ說が稱へられた事がありますが、その確實な證明はされて居りませんたゞ赤ん坊を搖籃で寢せつけると、それが癖になり易いので、一寸面倒を感ずる場合があります次に赤ん坊がはひ歩く時代になると手が埃のために汚れ、それがために傳染病に感染しやすいものであります、殊に結核に對する注意が肝要であります、西洋では這ひ歩く時代の

=子供は= 欄の中に入れる事が行はれて居ります、欄の下部には車が付いて居り、赤ん坊が動く方面に移動するやうに出來て居ります、これは西洋風の屋内では當然必要でありませう

注意を要する 子供の食量

食事の時における食べ物の量についてはお母樣方は平生よく注意していて下さい、御飯の量の增減は子供の健康のバロメーターになります、身體の具合が惡くなりさうな時、運動不足なとき、心配事のあるときなど必ず御飯の量が減ります、これを放つておくと病氣になるものです、この時母親はよく注意して運動をすゝめたりする事にすればいつも子供の健康を保つてゐることが出來ます、病氣になつてしまつてからはもう手遲れです

新刊兒童教育書紹介

▲愛兒と家庭(五月號) 各小學校が一年生を迎へた月の編輯であるだけに一年生に關する記事が多い、「入學の日」を最も面白く讀んだ、尋常一年生の家庭への希望も一年生の兒童を持つ父兄の心得なければならぬ數々である、家庭で思ふの「入學後の長女を見る」は同じやうな思ひを持つ父兄が少くなからうと思ふ、其の他讀むべき記事が多い、毎號のことであるが校長連がさつぱり筆を執らないのはどうしたことか、少壯教育家を啓發する上からも父兄を導く上からも、こうした自分達の言論發表機關を活用しないのは大いなる矛盾だ(二十五錢大連奬學會)

▲子供の教養(五月號) 母のための育兒雜誌として優秀なものである、母は職業が使命か、子供の運動について、兒童の宗教、子供の喧嘩の善導等いゝ記事が滿載されてゐる(三十錢東京市杉並町子供の教養社)

大チャンノ モウジウガリ (102)

ハルミチ作 ジラウ畫

「ウワバミダ!」ドジンドモノ ケタタマシイコヱニ 大チャンハ ナニゴコロナク ウシロヲフリカヘツテミルト セメントダルホドモ フドサノアル オホキナ ウワバミ ガ キ ノ ウヘカラ ジドウシヤ ノ マドヲ ノゾキコモウトシテキマス、

「アツ!」大チャン ハ ビツクリシテ テツパウ ヲモツタママ ジドウシヤノ ウヘ カラ トビオリマシタ、ヲヂサンモ ツヅイテ トビオリマシタ、ウワバミ ハ ナガイ シタヲ ペロペロ ダシナガラ ダンダン オリテキマス、

これは意外……◇ 農村生活者は都會住民より不健康

内務省衞生局調査

内務省衞生局で大正七年以來十ケ年間に亘つて農村の衞生狀態を調査中であつたが、その結果によると、從來農村は健康地であると一般に信ぜられてゐたのであるが、事實は全くこれを裏切つて

◇…**不健康者が** 寧ろ都市の住民のそれよりも多い事が判明した、即ちその健康診斷を行つた結果一人平均一・五五の疾病を持つてゐて、農民は誰しも一疾病以上の病氣を持つてゐると云つた狀態である、内務省が直接調査した靜岡縣宇刈村、山口縣平川村、福井縣粟田部村、秋田縣富根村、愛媛縣清水村、佐賀縣佐留志村、群馬縣鄕谷村の七ケ村のみの成績によつて見ても

◇…**農村住民で** 何等の異常疾病のないものは農村の約一割に過ぎず、他の七割強は不健康者であつた、就中農村民の病氣の最も多いのは寄生蟲で七割三分を占めてゐる、又口腔及咽喉の病氣も可なり多く四割二分がこれに冒されてゐる、その他トラホーム、呼吸器、消化器、皮膚、循環器、畸形不具癈疾、神經系統の疾患の順序であるが、此の外に花柳病、精神病等も相當多く農村民の大いに心すべきところである

カメラ遍歴

大連郵便局の巻 ―その一―

「行く年よ京へとならば狀一つ」元祿以前の俳人北村湖春が思ふやうに便りも出來ないまゝならぬ世を嘆つたのも往時の夢、今はたつた一錢五厘で臺灣の果から樺太の果まで思ひのまゝの通信の出來る便利な世の中である、現在大連郵便局が日々呑吐してゐる郵便物は通常郵便物だけでも其の數十數萬、其の他各種の郵便物を合せれば實に夥だしい數に上る、これら多數の郵便物が如何なる人々の手を經如何なる經路を辿つて發着しつゝあるかは我々文化人の知らねばならぬ常識の一つである

日本橋畔の一角に堂々たる巨軀を横たへて四邊を威壓してゐる四層樓のモダーン新局舍は満般完全に工事を畢へ目下内部の設備を急いでゐるが、そのお隣にこれは赤貧鄙にも黒く煤けたロシヤ時代の遺物、これが今日まで滿洲に於ける通信機關の神經中樞であつた大連郵便局なのである

◆ ◆

監部通りに面したトンネルのやうな入口を入つて左に折れ、お化けの出さうな薄暗い階段を上りつめると三階の一隅が局長の室である、早速和多野局長から郵便に關する話を聞く

◆ ◆

先づ通常郵便物はポストからスタートを切る、現在市内には九十四個のポストがあるが九名の通信夫が夫々受持ち區域を定めて一日六回集めに行く、市外はぐつと回數が減つて一日僅に一回だから集めて行つたすぐあとにでも投函しやうものなら完全に二十四時間はポストの中に逗留せしめられる譯である、そこへ行くと局前のポストは一日三十回で流石に回數が多い、しかし今度出來た新局舍内のポストは絶えず回轉してゐるベルトによつて係員の机と連接し、投函と同時に手紙は自働的に係の手許に送られやうといふスピード時代にふさはしい施設である

◆ ◆

さて大連局に蒐集された之等の郵便物は係員の手によつて重量、種別の認定、料金の適否、切手類の正否、封緘及包裝の適否、禁制品封入の有無等を一々檢査し、それが濟むと宛先によつて自局配達のものと他局に送るものとを區別し、それと同時に引受けの證として日附印を押す、從來は一々係員がコツ〳〵スタンプを手で押してゐたのであるが今はアウトマチックスタンプを用ひ自働的に一分間六百餘通の素晴らしいスピードで消印を押してしまふ、大連郵便局には此のアウトマチックスタンプが二臺備へられてゐるから年末年始のやうに通信が輻輳する時でも餘裕綽たるものである、斯くて押印を終つた郵便物は宛先によつて内地は縣別に滿洲朝鮮は更に小區分されて所定の棚に一旦納められるのであるが、これからの仕事が大變だ

寫眞説明

上=自働的にスタンプを押すアウトマチックスタンプ器
下=郵便物を縣別に區分けする棚
人物寫眞=和多野大連郵便局長

探偵小説 女妖 (89)

江戸川亂歩作　横溝正史　伊藤幾久造畫

古塔の老婆 (九)

その翌日浪子は小夏を伴つて巴里へ歸ることとなつた。他に寄邊とてない小夏を、浪子はこのまゝ捨て歸ることが出來なかつた。殊にこの小さな少女も、河內兵部の子孫とあつては、何時、例の恐ろしい毒手が振りかざされて來ないものでもない。

さう考へると、浪子は一層彼女をこの村に捨て行く事が出來なかつた。

村の人々は一も二もなく喜んだ。殊に當の本人小夏は、まだ幼いながらにも華やかな巴里へ行けると聞いて、有頂天になつて喜んでゐた。おかげでお利枝婆あんの死も、彼女には何でもないやうに見えた。

急に小夏を連れて行く事になつたので、浪子の出發は何やかやと忙がしかつた。が、やがて、總ての打合せをすませて、愈々馬車に乘らうとした時である。

浪子を始め一同は、ふと小夏の姿が見えない事に氣がついた。

「おや、小夏ちやんはどうしたのだらう？」

浪子は他の人を振返つて訊ねた

「小夏ちやん——小夏ちやん——もう行くんだぞ。巴里へ行くんだぞォ」

側に居合せた人々は口を揃へて呼んで見た。然し、あどけない小夏の姿は何處からも出て來ない。

「どうしたんだらう。たつた今迄其處いらにゐたのに……」

「おかしいな。一寸待つてゐておくんなさい僕が探して來ませう」

宿屋の若い給仕はさう言ひ捨てると人々を殘して表へ出て行つた。

浪子等は暫くそれを待つてゐたが、仲々歸つて來る模樣はない。汽車の時間は刻々に迫つて來るしこの汽車を逃せば、又明日迄一晩この村に過さねばならないのだ。

浪子はだん／＼と不安と焦燥にかられていら／＼して來た。

其處へ給仕が郵便配達を伴つて歸つて來た。

「小夏ちやんはこの邊には見えませんよ。この郵便屋さんがつい今しがた街道の方で見かけましたつて？」

「え？街道の方で……？」

浪子は思はず息を喘ませる。

「一體、何處へ行つたんだらう。一人でしたか？」

「いいえ、一人ぢやありません。若い、美しい紳士と二人でした。紳士は小夏ちやんの手を引いて、急ぎ足に河內莊の方へ歩いてゐましたよ」

「え？若い紳士と河內莊の方へ？」

浪子はハツと胸をつかれた。若い紳士と言へば、今日河內莊を訪れたあの紳士の事ではなからうか。お利枝婆さんの臨終の言葉によれば、彼女を殺したのもその若い紳士らしいのである。その紳士が、今小夏を引連れて河內莊の方へ急いでゐる——浪子は急に恐ろしい戰慄を體內に感じた。

彼女は急いで馬車に飛乘るや否や大聲で叫んだ。

「河內莊へやつて下さい。一刻も愚圖々々してはゐられません。さアどなたでも勇氣のある方はこの馬車に乘つて下さい。小夏ちやんの身が危い。大變です！」

ぐるりに居合せた人々は、浪子のその言葉をきくと、一瞬間ためらつた。が、例の宿屋の給仕が「ぢや、僕が行きませう」と飛びのつたのを最初に、數名の男がバラ／＼と馬車に飛びのつた。

馬に一鞭！

馬車は疾風のやうに河內莊さして急ぐ。

行く手は雨か風か？

浪子は蒼白い、緊張し切つた顏で、凝つと前方に眼をすえてゐた

奉天に於る秩父宮

……を御視

……十六日の御日程

……午前七時五十分ヤマトホテル御出發▲同八時奉天驛御出發▲午後零時五十分公主嶺驛御着
……謁（驛ホーム）▲同一時十分農事試驗場御成▲同三時五分將校集會所御着（寺内中將御講話）▲同三時四十分守備隊兵營御見學（守備隊司令官御誘導）▲同五時五十分將校集會所裏庭に於て守備隊司令官御招宴御台臨

御道筋

一、ヤマトホテルより浪速通を經……

（上）奉天神社御禮拜の殿下（下）忠靈塔へ御會釋の殿下

二A―一で慶應捷つ

對明決勝戰に

【東京十三日發電】今春六大學リーグの覇權を決定するものとして全國ファンの血を沸かせる慶明決勝戰は十三日午後三時五分より三萬人の觀衆を前にして池田（球）淺沼、藤田（壘）三氏審判の下に明大先攻で開始、結局二A對一で慶應優勝した得點

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
慶應	1	1	0	0	0	0	0	0	A	2A

バツテリー（明大）田部、井ノ川（慶大）宮武、岡田、明大打數三〇、安打六、三振六（慶大）打數廿八、安打七、三振二失策二

興行場の改築命令

愈よ本月末を期して發令

三期に分け明年夏迄に完成さす

違反せば興行停止

大日活、常盤座を除く帝國館以下大連市内に於ける全活動常設館劇場の改築命令は既報の如く過般來關東廳保安課當局と當業者側と折衝の結果興行場側も既に當局の主旨を諒とし約束通り最近夫々その陳情や條件つきで改築時期を回答して來たので、同課ではいよいよ本月末を期し目下秩父宮殿下御警衞のため沿線出張中の中谷警務局長の歸任を俟つて直に右改築命令を發することとなつた、而してその

順序は　先づ第一回に於て帝國館、歌舞伎座及び支那劇場の永善茶園、次に右各館の改築完成後第二回に浪速館及び高等演藝館を、最後に比較的優良なる寶館、大連劇場の兩者と前後三期に分ちおそくとも明年の夏迄には全館の改築工事を完成させる豫定で、當局では先年の例もあり今回は命令に違反する館ある時は興行を停止するといふ斷乎たる處置に出づる筈であるといふ、殊に

第一期　の各館は何れも去る明治四十年頃の建築に成るもので防火、換氣、便所その他興行場たるの條件を殆ど具備せず、また第二回の兩館も前者は第一位置が惡く危險極まる常設館、後者は天井低くまるで穴藏同然の不良館であり、五館は一日も早く大改築を要するものとされてゐる、また第三期の寶館は周圍、便所、映寫室等、大連劇場は

非常口　その他一部を改造するだけに助かる模樣であるが、更に寄席の遊樂館は頗る變態的な存在であるので現在の階上を階下に變更させる方針であると

お待ちかねの滿鐵慰安車

愈よけふ大連を出發

娯樂物を滿載して

一切の都會的な娯樂機關と慰安の機會から遮斷されて荒涼たる沿線の中間驛に働いてゐる幾萬の日、支沿道現業員とその家族達を年に一回訪れる滿鐵社會課の慰安車……わけても現業員家族の少年、少女達が待ちこがれてゐる本年度第一季の慰安車は十五日十三時四十五分大連驛を發して十六日文官屯を

振出し　に約四十日間の豫定で全線中間驛現業員慰問の途に上ることとなつた、慰安車はラヂオ、活動寫眞、蓄音機、圍碁、將棋その他の慰安、娯樂器具を滿載した娯樂車、營養品を除いた一切の雜貨、日常生活品、食料、野菜魚類まで積込んだ消費組合の販賣車、事務室を兼ねた子供服販賣車の三輛よりなり係員として社會課の慰藉係員は總動員で七名乘込みこれに消費組合員六名が加はり毎日朝までに次の開催地に移動し八時頃から買物に殺到する現業員

家族達　と應接し、夜は十二時頃まで日、支人それぞれ向きの活動寫眞の映寫に奮闘するわけであるが、巡回中に賣切れた商品魚類等は電報で新鮮なのを次から次へと補充する計畫で、映畫も本年から邦人向と中國人向と區別し中國人現業員並に家族達を出來るだけ多く觀覽せしむるため野外にスクリーンを張つて中國人向漫畫、喜劇等を見せる筈であると

賴母木氏毆らる

十三日衆議院休憩の際

【東京十三日發電】十三日午後八時三十五分衆議院休憩の際政民兩黨より議長席に押掛け島田俊雄氏より首相の出席なきにつき面詰したに對し、賴母木氏は「我黨の工藤君の發言中だから首相の出席なくとも差支へないではないか」と反駁交渉中、突然背後より志賀和多利氏はものをも云はずいきなり椅子に腰掛けてゐた賴母木氏の後頭部を强打したので賴母木氏は不意を喰つて「病人に何をするか」と充血し飛びつかんとして守衞が驅けつけ賴母木氏は醫務室にて應急手當を加へたが、氏は豫て腦溢血を患つた病後のこととて輕症ではあるが目下口が利けず絶對安靜を保つてゐる

志賀氏を告發

【東京十三日發電】賴母木氏を毆つた政友會志賀和多利氏を民政黨原、小久江、一松の三氏が告發人となり十三日夜東京地方裁判所に傷害罪として告發の手續きをとつた

愈よ取調開始

【東京十四日發電】民政黨の賴母木桂吉氏を毆打負傷せしめた志賀代議士に係る傷害事件につき、東京檢事局市原檢事から十三日臨場取調の結果を鹽野檢事正に報告したので、鹽野檢事正は松坂次席檢事と協議の末松坂次席檢事を主任として取調べを開始するに決した

ジヤズの影に狂ふカフエーの火の車

チツプは驚く勿れ一晩二十錢也

電燈料も拂へない

ジヤズ狂燥時代とお手輕安直に享樂を追ふ社會的要求に煽られて、二三年來大連のカフエーは雨後の筍のやうに簇生し現在、婦人子供まで入れて人口九萬の大連市内に約七十のカフエーが三百人の女給を擁して夕闇に脂粉を漂はし酒とジヤズのカクテルを歡樂の壁に吹き飛ばしてゐるが、表面の華やかさに比べて裏面の經營の困難は可成り甚だしく

お臺所は　火の車がジヤズと踊つてゐるのが多い、現に最近商賣に最も肝腎な電燈代が拂へず電燈會社から送電停止されやうとしてゐるカフエーが五、六軒ある普通のカフエーで一ケ月の電氣代は百八、九十圓で、不況の今日、賣上げが電氣代にも及ばぬところがあり、ビール代が支拂へず雜貨屋から差押へられたりする慘狀で、ソバ屋その他の飲食店が競つてカフエーに仕替へ

競爭者が　多くなつた結果今やカフエー凋落の悲境時代に入り、水商賣の字の如く次から次へと經營者が變り、店の名を變へて何かと切拔け策を講じてゐるが一向に目も吹かず、從つて女給の收入等もお話にならぬ程で、惡い時には一晩に三人の客を持つて漸くチツプ二十錢といふこともあるとはカフエー女給の打明け話

體力測定會の入賞者決定

十三日發表さる

健康週間

健康週間に於ける體力測定會の入賞者は、關東廳體育研究所に於て愼重審査の結果、十三日左の如く決定發表されたが、入賞者中住所不明の向あり、至急申出でられ度いと

第一組（十一歳より十三歳迄）被測定者二四一內男一三六、女五）男子一等渡邊俊雄（旅順一中、握力左三八、右四二、肺活量三六三〇、背筋力一〇〇）二等小野原繁（旅順一中）三等、大平修（旅順一中）女子一等、濱田……

第二組（十四歳より十六歳迄）被測定者二〇六名、內男一九一女一五）男子一等浦島卓雄（大連會社員、握力左六〇、右六〇肺活量四二六〇、背筋力一九六）二等柿野宏夫（大連二中）三等竹內大三郞（大連生徒）女子一等次原滿洲子（旅順高女、握力左三〇、右三四、肺活量三七三〇、背筋力一二六）二等田中キヨ（關東廳……）信子（旅順高女、握力左一七、右二〇、肺活量一九八〇、背筋力六〇）二等佐藤淑子（大連大正校）三等熊谷トシ子（大連大正校）

第三組（十七歳より十九歳迄）被測定者一七六、內男一六八女八）男子一等山田源市（柳樹屯學生、握力左五七、右六八、肺活量五一三〇、背筋力一七五）二等忍川力（旅順工大）三等西村政平（大連會社員）女子一等守屋龍子（旅順高女、握力右三二左三〇、肺活量三七〇〇、背筋力九九）二等堀井とみ（旅順）三等佐々木末子（大連）……（大連生徒）

第四組（二十歳より二十九歳迄）被測定者數五六六、內男五五九、女七）男子一等山田胤雄（大連西通、會社員、握力右五一左五七、肺活量五七〇〇、背筋力二一九）二等西澤豐行（旅順）三等佐々木昇（大連）女子一等山本クニ（大連汐見町、事務員握力右四〇、左二六肺活量二、九三〇、背筋力一一三）二等長濱洋子（大連）三等坂本タミ（大連）

第五組（三十歳より三十九歳迄）被測定者數三七〇、男三六六、女四）男子一等有田志朗（大連西通、會社員、握力右七三左五三肺活量五三六〇、背筋力一八六）二等宮崎金三郞（大連）三等早川八十吉（不明）女子一等石田多子（大連月見町、握力右三三、左二六、肺活量二五三〇、背筋力八二）二等佐々木高子（大連）三等人見キヌ（旅順）

第六組（四十歳より四十九歳迄）被測定者數一八六、內男一八五女一）男子一等松原斧吉（大連市山吹町、聖德小學校長、握力右六七、左五四、肺活量四、七〇〇、背筋力一九二）二等加島勳（旅順）三等川本又雄（大連）女子一等橫山カツ（大連北大山通、握力右二八、左二七、肺活量二、二六〇、背筋力七六）

第七組（五十歳より五十九歳迄）被測定者數四八名、內男……女一）男子一等玉城平次郞（大連大神町、會社員、握力右……左四四、肺活量三、七六〇、背筋力一九二）二等最上登一（……順）三等佐々木敏（大連）女子一等山本ヨ代（旅順松村町、握力右三二左三一、肺活量一、四〇〇、背筋力九二）

第八組（六十歳以上の者、測定者一八名、內男一六、女二）男子一等平塚巳之吉（大連德街二丁目、水道備人、握力四六、左三九、肺活量三、九〇、背筋力一三六）二等川越之助（大連）三等山中勝太郞、女子一等小島シズ（大連久方町、握力右二九左二七、肺活量二〇六〇、背筋力五七）二等山口とよ（旅順）

（備考）右記錄に於ける各項の單位は握力を瓩、肺活量を立方糎、背筋力を瓩にて表現した

金剛山ゆきの乘車賃割引

朝鮮および滿鐵兩鐵道では金剛山を紹介する意味から一般個々乘客に滿鐵二割、鮮鐵三割、學校教職員、學生、生徒には滿鐵五割鮮鐵四割として本月十五日からこれを實施することに決定した、但し各乘車驛から金剛山への往復乘車券に限るとのことである、なほ朝鮮總督府では金剛山を國立公園にする計畫であるが金剛山の方でも旅館その他總て多期も營業を繼續して探勝者のため便宜を圖ることになつた模樣である

愈よ三分時計

沿線電話局に

遞信局で注文中の市外通話時間監視用の「テレホノメトター」俗に三分時計といはれてゐる時計百個……

……た、この三分時計は奉天局自働電話およびその他中央電話局に使用されて好成績をあげてゐるので、前記各局で取付完了のうへは通話時間の打切も正確となり市外電話回線の能率に好影響をもたらすであらうといはれてゐる

四平街驛貨物係きのふ遂に罷業

貨物連絡不能となる

【四平街十四日發電】四洮鐵路局四平街驛貨物係員全部十四日朝より罷業をなし連絡貨物の取扱ひ不能となつた、原因は十三日午後三時頃同驛貨物係員と荷主側店員との間に爭ひを生じ貨物係員一名警察に拘引されたのによる反感らしいと

田山花袋氏逝く

十三日代々木の自邸で

【東京十三日發電】危篤を傳へられた文士田山花袋氏は十三日午後四時四十分代々木山谷の自邸で逝去した享年六十歳

同文書院記念式へ

十三日出帆天津丸で奉天盛京時報取締役染谷保藏氏奉天新聞社長佐藤善雄氏、滿鐵學務課囑託岩間德也氏、滿鐵參事三浦義臣氏、哈爾賓成發東主席宗像金吾氏の一行は南支政狀視察旁々來る十八日上海同文書院の三十周年記念式に出席のため上海に赴いた、同院第一期院長根津氏の銅像除幕式にも參列すると

モダーンな患者運搬車

大連醫院で購入

大連病院では米國スチユード・ベーカー會社より六千五百圓で買入れた患者運搬用自動車が此程到着したのでいよいよ十五日より使用さることとなつたが、同車は擔架の寢臺が付き頗るモダーンなもので、料金は遠近を問はず三圓である

滿洲内公學堂長會議

滿洲内公學堂長會議は來る十六日から三日間……公學堂に於て開くと

見學本社

長春公學堂生徒二十名は北川……教諭に引率され十四日午後本社を見學した

故神田男の長男に準禁治產の宣告

【東京十三日發電】我國語學界の先驅者故神田乃武男の長男神田金樹（四七）氏は、家產を蕩盡し三十二萬五千圓の負債を生じたので叔父高木勇吉氏の申請により十三日東京區裁判所野田判事より準禁治產の宣告を受けた

一千八百年もたつた完全な古墳發掘

蓋平河で滿洲考古學會員が斯界に得難い資料

◇…滿洲　考古學會では高麗古墳及び貝塚研究のため去る十一日、會員一行十六名が蓋平に赴き古墳發掘に從事したが、附屬地接壤地たる蓋平河の斷崖にて二つ發掘した古墳のうち、南側の一つには圖らずも埋葬せる狀態その儘の完全な古墳を發見した、同古墳は漢代なもので尠くとも千八百年以上經過せるものであるが、發掘せるものは

◇…人間　の腰骨、大腿骨上下顎骨、及び齒、婦人土偶、馬上盃、水甕二つ、石炭を彫刻した騎犬、素燒きで造つた木履の模型、香盒、陶棺の模型、家屋の屋根、その他鳥骨、獸骨もあつた、しかもすべてこれ等のものは埋葬狀態のままの位置を完全に持してゐたので當時の生活狀態を知るに得難い資料となり、家屋の屋根の狀態から當時の建築樣式も判明し、また當時木履を使用したことは

◇…文献　にはあつたが今回初めて木履の模型の發掘によつて右の事實が確められたほど考古學研究上、貢獻するところ大いなるものといはれてゐる、なほ同發掘物は全部、山城町の鞍山中學の梅本教論が主として當り綿密に寫眞にとりましたが滿鐵調査課の八木氏の鑑定によつていよいよ貴重なものと判明しました、人骨は婦人のものらしいですが、とにかく埋葬したままであつたことは

◇…當時　の生活樣式等の研究にとつて非常に益することがあり、こんな完全な古墳が發掘したのは初めてです、蓋平河のあの近所には未だ珍らしい古墳が澤山あるので今後時々發掘をやりたいと思ひますが、史蹟保存とかで喧しくいはれ仕事がやり難くつて困ります……今回の發掘は……養源館に藏せられてある……について一行中の石田貞藏氏は語る

第十期決算報告
自昭和四年十月一日　至昭和五年三月卅一日

貸借對照表（昭和五年三月卅一日現在）

資產ノ部		負債ノ部	
建物	[illegible]	株金	[illegible]
機器	[illegible]	法定積立金	[illegible]
營業費	[illegible]	特別積立金	[illegible]
製品	[illegible]	使用人退職手當基金	[illegible]
積送品	[illegible]	滿鐵勘定	[illegible]
委託品	[illegible]	假受金	[illegible]
貯藏品	[illegible]	未拂金	[illegible]
現金	[illegible]	社員身元保證金	[illegible]
銀行預金	[illegible]	當期利益金	[illegible]
未收金	[illegible]		
受取手形	[illegible]		
假拂金	[illegible]		
振替貯金	[illegible]		
滿鐵供託金	[illegible]		
貸借	[illegible]		
前期繰越損金	[illegible]		
合計	[illegible]	合計	[illegible]

昭和五年五月　大連窯業株式會社

父永松源次儀豫て滿鐵醫院へ入院加療中の處養生不叶相本十四日午前一時永眠致候に付此段辱知諸氏へ謹告仕候
追而葬儀は來る十七日午後三時自宅出棺葬列を廢し西本願寺に於て告別式執行可仕候
昭和五年五月十四日
男　永松克己
妻　永松ライ
親戚友人一同